平成 20 年度卒業論文

既存建築を活用する設計手法に関する研究

指導教員

坂牛卓

信州大学工学部社会開発工学科

坂牛研究室

05T3024F 加藤光

目次

第 1 章　序論 ・・・・・・1
1.1.　研究の背景
1.2.　研究の目的と意義
1.3.　既往研究
1.4.　研究対象

第 2 章　既存建築を活用する設計について ・・・・・・9
2.1.　既存建築を活用することの意義
2.2.　建築雑誌『新建築』からみる変遷と傾向
2.2.1.　1970 年代前半～
2.2.2.　1980 年代前半～
2.2.3.　1990 年代後半～

第 3 章　分析対象の選定 ・・・・・・20
3.1.　選定方法
3.2.　言語の変遷と考察
3.3.　分析対象の絞り込み

第 4 章　分析方法 ・・・・・・26
4.1.　設計手法の分析について
4.2.　関係の類型化による分析方法
4.3.　質料・かたちによる分析方法
4.3.1.　[質料]について
4.3.2.　[かたち]について

第 5 章　分析と考察 ・・・・・・33
5.1.　関係の類型化による分析と考察
5.1.1.　関係の類型化
5.1.2.　傾向把握による考察
5.2.　質料・かたちによる分析と考察
5.2.1.　質料・かたちの組み合わせ
5.2.2.　傾向把握による考察

第 6 章　結論 ・・・・・・55
6.1.　結

参考文献
謝辞
データシート
梗概

第 1 章

序論

1.1.　研究の背景
1.2.　研究の目的と意義
1.3.　既往研究
1.4.　研究対象

1.1. 研究の背景

建築の設計分野において、既存建築の活用に関する概念は、人間にとって本質的なものであり、欧米ではこの概念に基づき、これまでに多くの建築がつくられてきた[1,2]。

日本においても、昭和 40 年代末にドルショック・石油危機が起こり、その後、高度経済成長が終焉を迎えた頃から[3]、既存建築を活用した建築作品は増加し始め、近年では、様々な設計手法の試みがみられる。

したがって、昨今の建築の設計分野において、既存建築を活用する設計と、その概念の把握は、避けて通れないものとなっている。

1.2. 研究の目的と意義

本研究は、建築の設計分野において、既存建築を活用する設計手法を捕捉することを目的とする。

とりわけ本論では、先ず、これまで発表された既存建築を活用した建築作品において、既存建築と新設部分の関係を類型化する。さらに、その類型化をふまえ、新設部分に活用されている既存建築の性質を、質料・かたちに着目し、通時的に把握・分析を行う[4]。

このように、既存建築と新設部分の関係を把握・分析することで、既存建築を活用する設計における、過去から現在に至るまでの設計手法を把握する。それにより、今後、既存建築を活用する、新たな設計手法を創造するための一助となり得ることが、本研究の意義である。

1.3. 既往研究

建築雑誌や文献等を分析対象として、既存建築を活用する設計手法や、それに関連する内容を明らかにすることを目的とした研究は、(1)新旧の関係とその性質を分析項目としている研究、(2)新旧の関係を分析項目としている研究が挙げられ、これらを概観することによって本研究との差異を明らかにする。

先ず、(1)新旧の関係とその性質を分析項目としている研究には、(ｉ)「建築の増改築における[新]と[旧]の関係　―建築家の言説からみた増改築(1)―」(田中浩貴(他), 2004 年)[5] と、一連の研究である、「建築の増改築における[新]と[旧]の要素　―建築家の言説からみた増改築(2)―」(田中浩貴(他), 2004 年)[6]、(ⅱ)「建築家による増改築建築の設計論における新旧要素の関係性」(奥山信一(他), 2004 年)[7] が挙げられる。

(ｉ)「建築の増改築における[新]と[旧]の関係　―建築家の言説からみた増改築(1)―」(田中浩貴(他)『日本建築学会大会学術講演梗概集』9315, 629－630 頁, 2004 年)
「建築の増改築における[新]と[旧]の要素　―建築家の言説からみた増改築(2)―」(田中浩貴(他)『日本建築学会大会学術講演梗概集』9316, 631－632 頁, 2004 年)

これら一連の田中らの研究では、建築雑誌の作品の解説文を分析対象として、増改築の設計行為において建築家が思考する空間的な概念を、新たな建築部分の[新]と既存建物の[旧]による関係性と、[新][旧]それぞれの要素を分析することにより、その一端を明らかにすることを目的としている。

ここでは、新旧の関係を{対置／差異／均衡／呼応／調停／同調}とし、その性質を要素と呼称し、{材質／色／装飾／様式・作風／形態／構成材／構造／平面構成／立面構成／空間構成／機能}として設定している。そして、これらを用い、分類化や各項目における通時的傾向の分析、新旧の関係と性質の対応関係、割合により分析している。

(ⅱ)「建築家による増改築建築の設計論における新旧要素の関係性」(奥山信一(他)『日本建築学会大会学術講演梗概集』9317, 633－634 頁, 2004 年)

奥山らの研究では、建築雑誌の作品の論説を分析対象として、現代の建築家による増改築建築の設計論において、既存部、増改築部という新旧の関係性を分析することにより、異なる要素を関係付ける建築家の思考の一端を明らかにすることを目的としている。

ここでは、新旧の関係を{同調／対比}とし、さらにその内容を{環境／伝統／時間／機能／

空間／設計方法}としている。また、新旧の部位(＝建築の構成単位)が示す性質を属性と呼称し、{材質感／装飾・ディティール／光・色／配置・配列／形態／スケール・尺度／技術・構法／なし}とし、その部位と対応させて用いている。そして、新旧の関係と性質の対応関係を、割合により分析している。

次に、(2)新旧の関係を分析項目としている研究には、(ⅲ)「用途変更を伴う増改築建築の設計手法に関する考察」(浅井佳(他), 1999 年)[8] が挙げられる。

(ⅲ)「用途変更を伴う増改築建築の設計手法に関する考察」(浅井佳(他)『日本建築学会大会学術講演梗概集』9323, 645－646 頁, 1999 年)

浅井らの研究では、建築雑誌の作品事例を総合的に分析対象として、用途変更を伴う増改築建築の、操作部位と操作方法に着目して手法を抽出・分類化している。そして、それらの手法により充足される性能や、保持または付加される空間性を把握することにより、それぞれの手法の特性を明らかにすることを目的としている。

この分析において、既存部分と新設部分の関係を手法として、{平面分割／断面分割／連続化／吹き抜け／入れ子／ひな段／平面拡張／中庭室内化／断面拡張／連結／スキップフロア}に分類し、示している。

これら 3 種類の関連研究を概観すると、先ず、(ⅰ)(ⅱ)においては、新旧の関係の内容が概念的な表現に終始しており、実際の建築設計からすると具体性が低い表現であった。この原因としては、(ⅰ)(ⅱ)共に、分析対象が建築雑誌の作品の解説文・論説のみであり、視覚的な情報を扱わないため、実際の建築の設計手法とは結び付けることが難しくなっていることが挙げられる。その結果、新旧の関係の内容が概念的になっていると考えられる。そこで本論では、建築雑誌の文章・写真・図等を総合して分析対象とし、新旧の関係を具体的なものとして、設計手法と結び付け易くする。ただし、(ⅰ)の要素、(ⅱ)の属性で示されている性質の項目内容は、本論において、建築の構成単位である部位の性質を表す、質料・かたちの項目内容を設定する際の参考とする。

また、(ⅲ)においては、写真・図等も含めて分析対象としている。しかし、その選定においては、完全な保存、完全な復元(復原)、完全な移築、内装の変更、外観の保存(外壁保存)による事例が分析対象から除かれている。そのため、既存建築を活用する設計手法に対する概念を狭くしてしまっている。

そこで、本論では、分析対象の選定において、既存建築の活用に関する言語が使用されていれば建築作品・言説問わず分析対象として扱うため、設計手法を狭くする状況を避けることができると考える。

（ⅰ)(ⅱ)(ⅲ)の全ての研究においては、基本的に通時的な分析は行っておらず[9]、分析項目の単体やそれらの組み合わせを対象とした、割合の傾向分析等に終始している。そのため、既存建築を活用する設計手法の、過去から現在までの変化を把握することが困難である。したがって、本論では、設計手法の分類結果を通時的に分析することにより、過去から現在に至る設計手法の傾向・変遷を把握できると考える。

また、分析対象の対象期間に関しては、最も古いものを対象としている(ⅱ)でも、戦後(1946 年)からの『新建築』を研究対象としており、本研究では創刊年(1925 年)からの『新建築』を研究対象としている点に差異が存在する。それにより、通時的な傾向がより顕著にあらわれてくると考える。

1.4. 研究対象

建築雑誌は、建築関連図書等の資料とは異なり、一定期間内に定期的に刊行されているため、様々な思考・視点により構成される建築作品・言説を、通時的に把握することができるものである。また、建築雑誌は対象の期間において発表された建築作品・言説を、その都度掲載しているものであるため、その時代の最新の情報を得ることができ、その時代の傾向を把握することができる。

そこで、本研究では通時的な分析により、既存建築を活用する設計の、過去から現在に至るまでの、設計手法の把握を目的としているため、建築雑誌を研究対象として扱う。ここで対象とする建築雑誌は、現在刊行中の一般的な建築雑誌の内、最も古くから刊行されている建築雑誌『新建築』[10]を選定し、1925 年(創刊年)から 2008 年まで[11]の記事 83 年分を研究対象とする。

【1 章注釈】

1　中川武「記憶と創造が出会う場所」(『新建築』69. 2, 127-128 頁, 1994 年)

2　三田村哲哉「諸外国における建築コンバージョンの動向と特徴」(小林克弘, 三田村哲哉, 橘高義典, 鳥海基樹編著『世界のコンバージョン建築』鹿島出版会, 11-17 頁, 2008 年)

3 村松貞次郎「心象に写す　―近代建築保存の原点―」(『新建築』54. 5, 155－158 頁, 1979 年)

4 坂牛卓『建築の規則　―現代建築を創り・読み解く可能性―』(ナカニシヤ出版, 2008 年)

5 田中浩貴, 山田深, 佐々木夕介, 丸山友士「建築の増改築における[新]と[旧]の関係　―建築家の言説からみた増改築(1)―」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9315, 629－630 頁, 2004 年)

6 田中浩貴, 山田深, 佐々木夕介「建築の増改築における[新]と[旧]の要素　―建築家の言説からみた増改築(2)―」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9316, 631－632 頁, 2004 年)

7 奥山信一, 四ヶ所高志, 横山天心「建築家による増改築建築の設計論における新旧要素の関係性」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9317, 633－634 頁, 2004 年)

8 浅井佳, 藤木隆男, 小栗克己「用途変更を伴う増改築建築の設計手法に関する考察」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9323, 645－646 頁, 1999 年)

9 (ｉ)においては、部分的には通時的な分析を行っているが、それは各分析項目の単体しか扱っておらず、その先の、関係性と要素を組み合わせての通時的な分析は行っていない。

10 新建築社出版で、1925 年創刊の建築専門誌。1944 年に一度休刊するが、翌年 1945 年から復刊して現在に至る。

11 分析の際、年間の平均値等を扱う項目があるため、本研究の研究期間内の 12 月(2008 年 12 月)までに刊行されたものを対象とした。

第 2 章

既存建築を活用する設計について

2.1.　既存建築を活用することの意義
2.2.　建築雑誌『新建築』みる変遷と傾向

2.1. 既存建築を活用することの意義

既存建築を活用する際に用いられる思考とは、既存建築のなにを活用するべきかという「価値の判断」と、既存建築を活用する設計を行うための「技術」との間に存在するものである [1]。そして、それらの思考は、設計者が建築の構成要素である「物（＝物体）」と「間（＝空間）」を操作し、設計を行う際に [2]、重要な設計指針になるものであるといえよう。

そして、既存建築を活用するべき「価値の判断」における前提条件は、既存建築が既に存在していることにより、どのような理由による設計であれ、必ず過去の時間軸を含んでいることである。そして、既存建築を活用したほとんどの建築作品において、この前提である既存建築に対し、選択的に新しい設計がなされている [3]。

また、この前提条件に関して、エルネスト・ロジャースは、エイドリアン・フォーティーの著書『言葉と建築　語彙体系としてのモダニズム』[4] の中で、「プレシステンツェ・アンビアンタリ」（preesistenze ambientali）＝環境に先在するもの、という言葉を用い、それに伴う「歴史」的な連続性に対し、建築における絶対的な重要性を置いた。したがって、「プレシステンツェ・アンビアンタリ（環境に先在するもの）」と「歴史」という 2 つの概念は、解き難く結び合わされたものであるといえる。

さらに、ロジャースは、以下のように述べる [5]。

> 「歴史を理解することは、建築家の形成の上で不可欠なものである。なぜなら、建築家は、自身の作品をプレシステンツェ・アンビアンタリ（環境に先在するもの）に取り込み、弁証法的に考慮することができるに違いないからだ」［エルネスト・ロジャース, 1961 年］（エイドリアン・フォーティー, 2006 年, 191 頁）

つまり、プレシステンツェ・アンビアンタリ（環境に先在するもの）を前提条件として設計を行うことは、すべての設計分野において行われていることであり、特に、既存建築を新たな建築作品に対する価値として扱う設計は、建築の歴史的な連動性において明確に表現される、意義のある設計手法であるといえよう。

2.2. 建築雑誌『新建築』からみる変遷と傾向

建築雑誌『新建築』によると、1970 年代前半（昭和 40 年代後半）の高度経済成長期が終焉を迎えた辺りから、既存建築を活用した設計が活発に行われ、それらに関する建築作品や言説が扱われている記事も増加したことがわかる（図 2-1:記事総合）。そして、それに伴う建築作品の増加傾向は、現在まで継続しているといえよう（図 2-1：建築作品）。

さらに、その増加傾向のなかでも、特徴的な時代背景や新たな思考による建築作品・言説等により、既存建築を活用した建築作品の事例数は変動し、傾向がみられる。

したがって、ここからは既存建築を活用した建築作品の事例数の変遷において、増加傾向が顕著に表れている 1970 年代前半～、1980 年代前半～、1990 年代後半～という 3 期間に着目して論を進めたい。

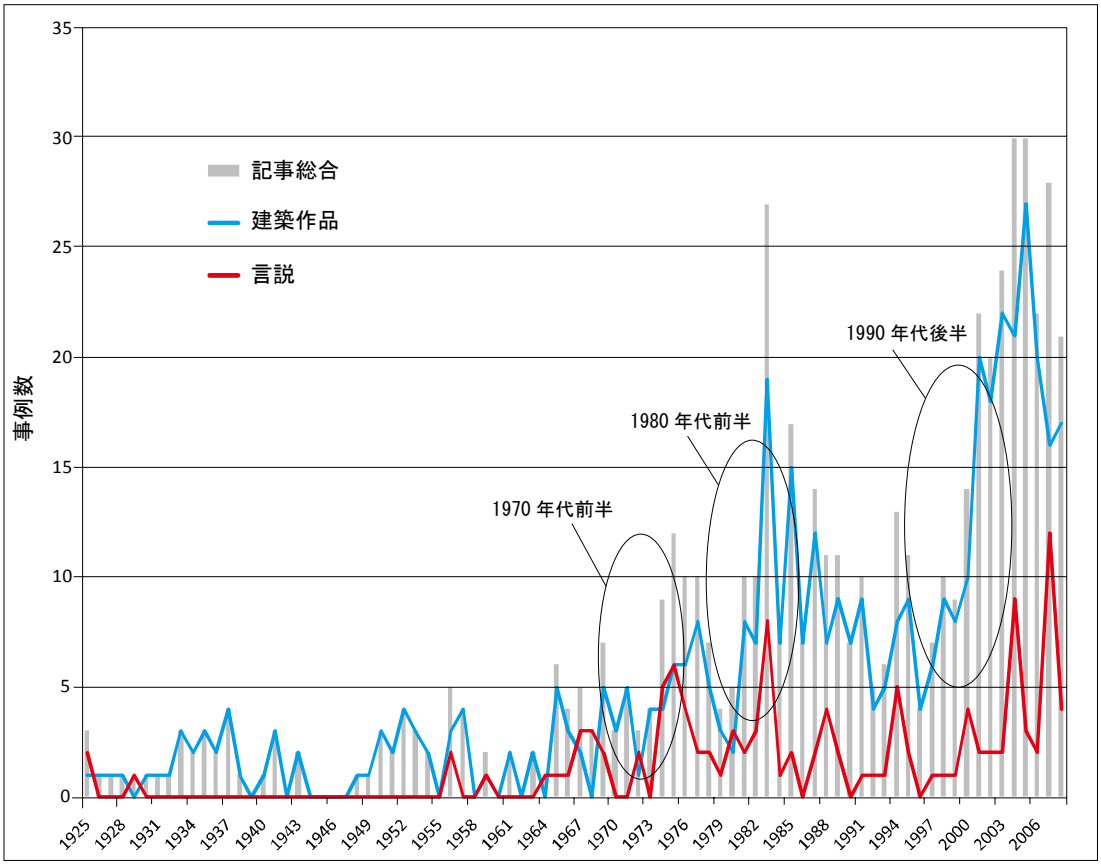


図 2-1　記事・建築作品・言説の事例数の変遷

2.2.1. 1970 年代前半～

1970 年代以前において、既存建築を活用する設計に関して重要視されていた点は、旧いもの（既存建築）と新しいもの（新設部分）という、2 つの要素の調和と統一であった[6,7]。

> わたくしたちの意図は、限られた裏手の敷地の中でこの要求を解決することと同時に、旧いものと新しいもの、この二つの要素をどのように調和させ、統一させるかという問題であった。（丹下健三, 1961 年, 14 頁）

> ここにも建築のひとつの運命の象徴がある。それはもとの建築のデザインをきわめて尊重して、しかも新しい時代の感覚を持った外観が連続しているのである。もちろん平面計画も設備も新しいし、意欲的な内容であるが、やはりこの増築でいちばん心うたれるものは、その外観であり、新旧の統一と調和である。（村松貞次郎, 1966 年, 214－215 頁）

そして、1970 年代前半（昭和 40 年代後半）の高度経済成長期の終焉以降、既存建築を活用した設計が活発に行われるようになり、この調和と統一という、設計の際に重要視される点も変化し、様々な試みがなされるようになった。

その傾向に伴い、『新建築』で扱われるコラム・レポート・論文等の言説も、既存建築を活用する設計に関するものが増加し（図 2-1：言説）、その先駆けとなるのは、1974 年の長谷川堯「ルポタージュ：歴史的空間の現在」シリーズの連載であった。ここで長谷川は、既存建築を活用する設計に関して、以下のように述べている[8,9]。

> 今日の保存問題の緊急性は、そのような上からふろしきかビニール袋をかぶせるような、私のいう“パッケージ保存ではなく”、下からの保存というか、それまで日本であまり成熟していない部分での保存のための思惟の熟成のほうなのだ。（長谷川堯, 1974 年, 267 頁）

> 日本の保存問題がヨーロッパやアメリカなどの場合ほど軌道に乗っていない理由の大きなもののひとつは、「歴史的空間とは何か」といった問いの基本になる、歴史的感覚とでも呼ぶべきものの内容の特殊性があるのではないだろうかと私は思う。図式的にしていえば、今日の一般的な日本人の歴史的感覚の中では、〈過去〉〈現在〉〈未来〉の 3 つの時制が、大きく 3 つに輪切りにされた大根のように、バラバラに切り離されている。〔中略〕
> この〈過去〉〈現在〉〈未来〉の、私がここに現に生きている、という〈現在〉を基盤にした有機的複合を目ざしてはじめて、保存は軌道に乗り、そしてそのような時点ではもはや保存といった言

葉も不要になるのである。(長谷川堯, 1974 年, 268 頁)

つまり、既存建築を活用する設計において、旧いものをそのまま残すだけではなく、旧いものと新しいものの関係に対する思考を、より熟成させることが必要であるとしている。さらに、それをふまえ、これら新旧 2 つの要素を、現在の状態を基盤とした、様々な関係により扱うことが重要であるとしている。そうすることにより、建築の設計分野の中で、既存建築を活用する設計を、より一般的なものとすることができると考えられる。

このように、既存建築を活用する設計における旧いものと新しいものを、調和と統一だけでなく、様々な観点により扱うという意識は、1970 年代以降高まっていく。調和と統一以外の観点による設計に関して、さらに木島安史は、長谷川の「ルポタージュ:歴史的空間の現在 4」のなかで [10]、

なにもかも保存というのはぼくはついていけない。だから極端な言い方をすれば、もし仮に保存すべき価値のあるものがレンガの外壁だけだとすれば、外壁だけを残して、あとは新しいもの変えてもいい。〔中略〕／保存の中にも“とりかえ”の論理があってもいいはずだ。(長谷川堯, 1974 年, 281 頁)

と述べており、既存建築をそのまま残し、その既存建築と調和させた新設部分を付加させるだけではなく、既存建築の残すべきところを判断し、新設部分としてとりかえるという、新旧のとらえ方の可能性を論じた。特に、既存建築を活用する設計において、とりかえの論理を用いた手法は、既存建築の一部を保存して残りは新設部分としてとりかえる手法や、外壁のみを保存して内部を新設部分としてとりかえる手法が挙げられ、後者に関しては、以下に記す『新建築』の時事であるしんけんちく・にゅーすにおいても、述べられている [11]。

外壁を残し、内部を改造するという新しい保存のかたちに先鞭をつけたのは倉敷アイビースクエア(1974 年)[12] である。(新建築社, 1974 年, 137 頁)

2.2.2. 1980 年代前半～

1970 年代後半に、既存建築を活用した設計は一度鎮静化するが、1980 年代に入り、再び活発に行われるようになった。そのきっかけとして考えられるのは、1981 年に行われた建築基準法施行令の大改正[13]であり、ここでは新耐震基準が新たに導入された。これにより、構造的な補強の必要性が発生し、耐震構造に関する意識が高まることによって、耐震改修や、建て替え等を含めた既存建築を活用した設計が活発に行われるようになったと考えられる。このような時代の中で、長谷川は[14,15]、

> 記憶を継承するために、ひとつの建物の完全な保存かそれとも取り壊しか、といった二者択一ではなく、記憶を引き継ぎ得る限度を考えながら、建物の再生のためにかなり自由な手術を行うケースが増えてきている。（長谷川堯, 1983 年, 150 頁）

> 外壁を構造的な重圧から解放し、カーテンウォール化して新しい躯体の皮膚とする方法は、近年、煉瓦造の建築の保存・再生にしばしば用いられるようになっている。（長谷川堯, 1983 年, 151 頁）

と述べ、既存建築を活用した建築作品には、様々な設計手法が用いられる傾向にあったとしている。そして、その一部として移築保存、記憶保存、一部保存、外壁保存、復元等を挙げている。その中でも、1970 年代に主に論じられ始めた、外壁保存により既存建築を活用する設計手法に関しては、この時代においても、たびたび用いられている設計手法であるとしており、既存建築を活用する設計において、この手法は、今後も頻繁に用いられると推測することができる。

2.2.3. 1990 年代後半～

1990 年代後半から、既存建築を活用した設計は、再び活発に行われるようになり、建築作品の事例数は増加することとなった。そのきっかけとして考えられるのは、1995 年の阪神・淡路大震災によって制定された、建築の耐震改修に関する法律（耐震改修促進法）[16] である。これを含め、田中雅美らは [17]、

> 1995 年の阪神・淡路大震災を期に、既存不適格建物の耐震改修が、公共建築はもとより民間建築まで展開されるようになった。この間、耐震改修は構造設計領域の課題であるとの認識が一般化し、建物全体を俯瞰した建築計画からの包括的な提言、設計は皆無であった。〔中略〕一方、日本の建築形態はスクラップ・アンド・ビルドといえる世界でも希に見る消費型である。これは、地球環境の重要なキーワードでもある「持続可能性」に対し、大きな負荷を与えている。今日、環境共生型への社会構造シフトが重視されるなか、建設携帯にあっても従来の「スクラップ・アンド・ビルド」型から「ストック・アンド・リノベーション」型への移行は避けて通れない課題となっている。（日本建築都市診断協会/田中雅美・岩本弘光・白江龍三・宮崎均, 1999 年, 162 頁）

と述べており、既存建築を活用した建築作品の増加傾向に関して、2 つの要因を挙げることができる。先ず、1 つ目は、既存建築を活用する設計において、耐震改修促進法により生まれた、既存不適格の建物を対象として扱う必要性が出たことである。そして、2 つ目は、「スクラップ・アンド・ビルド」型である日本の主な建築形態を、「ストック・アンド・リノベーション」型という既存建築を活用する建築形態へと移行させることが重要であるという認識が広がったことである。

2000 年代に入り、既存建築を活用した建築作品の増加傾向はさらに進み、それに伴い、言説も増加し、既存建築の活用に関して、様々な思考の基で論じられた。そのなかでも、馬場正尊の言説 [18] と、田島則行の言説 [19] を取り上げる。

> リノベーションやコンバージョンといった作業は、研究や実験の段階を終えて一般化のモードに入った。これはリノベーションという行為が市場として社会に認知されたことを意味する。〔中略〕
> このターニングポイントにおいて、建築設計に対しても発想の転換を求められたような気がする。もちろん古いビルの改修や再生の仕事は、日本でも昔から存在していた。しかしこの数年で起きたリノベーションは目的も性格も大きく違う。実体経済との連動性も違う。建築設計に求められたのは維持・修復ではなく、<u>価値の置換</u>と<u>流動化</u>だった。（馬場正尊, 2006 年, 178 頁）

既存の空間という器を使いながらも、必ずしも既存のプランに拘束されずに、その用途や目的、あるいは使われ方を再構築し、建築に新しい命を与えることが重要になる。つまり、既存の要素や条件を最大限利用しつつも、まったく違った文脈に沿った、新しい空間のあり方を創造することが、再生であり、リノベーションである。（田島則行，2008 年，184 頁）

馬場による言説では、「価値の置換と流動化」を軸として既存建築を活用する現代の設計行為は、一般的な建築の設計手法になったとしている。つまり、「価値の置換と流動化」による建築とは、「既存建築の価値を経済的側面から変化させ、活用し、既存建築に縛られ過ぎることなく設計を行うこと」による、用途変更を伴った建築と言い換えることができる。

一方、田島による言説では、既存建築を活用しつつも、「まったく違った文脈」により、新しい空間を設計することの重要性を述べている。つまり、これは、既存建築を活用する設計において、用途を変更することにより生まれる、「新たな用途や機能」に則した設計を行うことの重要性を述べていると言い換えることができる。

したがって、両氏の言説により、現代における既存建築を活用する設計に関して、用途変更を伴い、機能的な必要性により、新たな要素を既存建築に加えて設計を行うことは重要であり、社会に対しても一般的な建築行為として認識されたということができる。そして、実際に、用途変更を伴って既存建築を活用した建築作品の事例数は、2000 年代に入り急激に増加し、各年代の、既存建築を活用した建築作品全体に占める割合も、約半数近くまで高くなっていることがわかる（図 2-2）。

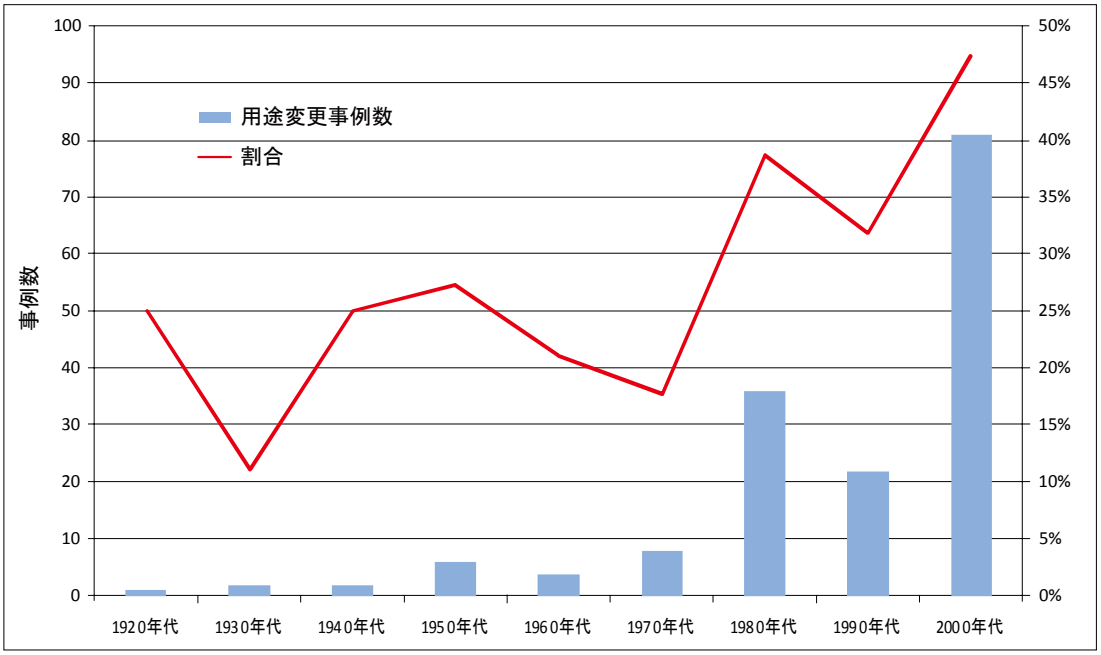


図 2-2　用途変更した建築作品事例数の変遷

以上より、既存建築を活用する設計について、以下のような知見を得た。

①既存建築を活用する設計において、既存建築の要素をそのまま反復するのではなく、選択的に独自の新しい設計を行う行為には、旧いものと新しいものの関係に対する思考が不可欠である。そのため、既存建築を活用した建築作品における、旧いものと新しいものの関係を把握することは、既存建築を活用する設計手法を把握することに対して有効な方法であると考える。

②建築雑誌『新建築』を対象として、既存建築を活用する設計を通時的にみると、設計手法と、そこに用いられる設計者の思考は年代により変化し、傾向が存在することを把握した。そのため、設計手法を把握することを目的とする際は、通時的な視点から傾向を追うことが重要であるといえよう。

【2 章注釈】

1 清家剛「建築のリニューアルは今」(『新建築』75. 10, 162-164 頁, 2000 年)

2 坂牛卓『建築の規則　―現代建築を創り・読み解く可能性―』(ナカニシヤ出版, 2008 年)
建築は、物体である「物」と、それにより形成される空間である「間」から構成される。そして、それらを設計者が、「質料」「形式」「関係性」という、それぞれの可変項目により操作し、変化させることにより設計し、建築の多様な様態は作り上げられている。

3 木島安史「居候の建築　―熊本地方裁判所の残存について―」(『新建築』50. 5, 143－146 頁, 1975 年)

4 エイドリアン・フォーティー(坂牛卓＋邉見浩久監訳)『言葉と建築　語彙体系としてのモダニズム』(鹿島出版会, 2006 年)

5 エイドリアン・フォーティー(坂牛卓＋邉見浩久監訳)『言葉と建築　語彙体系としてのモダニズム』(鹿島出版会, 191 頁, 2006 年)

6 丹下健三研究室「立教大学図書館」(『新建築』36. 8, 13－23 頁, 1961 年)

7 村松貞次郎「建築の生と死に関するノート」(『新建築』41. 12, 213－220 頁, 1966 年)

8 長谷川堯「ルポタージュ:歴史的空間の現在 1　ある蔦の這う工場の変身」(『新建築』49. 5, 267－270 頁, 1974 年)

9 同上

10 長谷川堯「ルポタージュ:歴史的空間の現在 4　残すべきところと壊してもいい部分の判断について」(『新建築』49. 8, 279－282 頁, 1974 年)

11 新建築社「中京郵便局「外壁保存」で改築」(『新建築』49. 10, 137 頁, 1974 年)

12 浦辺建築事務所「倉敷アイビースクエア」(『新建築』49. 7, 229－244 頁, 1974 年)

13 建築基準法施行令改正(新耐震基準):地震被害に関する研究が進展し、1981 年(昭和 56 年)6 月 1 日に建築基準法施行令の大改正が行われた。そして、新耐震基準が導入されたことにより、一次設計・二次設計の概念が導入された。

14 長谷川堯「建築的想像力の試される時　―過去へ切り込んでいった建築家たちの様々な苦闘のあとをめぐって―」(『新建築』58. 3, 144－152 頁, 1983 年)

15 同上

16 耐震改修促進法:1995 年(平成 7 年)1 月 17 日に発生した阪神・淡路大震災による、建築物の被害の傾向をみると、現行の新耐震基準(1981 年(昭和 56 年)施行)以前に建築された建築物に被害が多く見られ、一方、それ(1981 年(昭和 56 年))以降に建築された、比較的新しい建築物の被害の程度は軽く済んでいた。そのような状況により、1995 年(平成 7 年)12 月 25 日に「建築物の耐震改修の促進に関する法律(耐震改修促進法)」が施行され、現在の新耐震基準を満たさない建築物について、積極的に耐震診断や改修が進められた。

17 日本建築都市診断協会/田中雅美・岩本弘光・白江龍三・宮崎均「太田市立休泊小学校」(『新建築』74. 8, 156-163 頁, 1999 年)

18 馬場正尊「設計手法のオルタナティブ」(『新建築』81. 2, 176-181 頁, 2006 年)

19 田島則行「ワンルームという不動産ストックの再構築(リノベーション)」(『新建築』83. 2, 184-189 頁, 2008 年)

第 3 章

分析対象の選定

3.1.　選定方法
3.2.　言語の変遷と考察
3.3.　分析対象の絞り込み

3.1. 選定方法

本論では、1925 年（創刊年）から 2008 年まで刊行された建築雑誌『新建築』の記事 83 年分を研究対象として扱う。さらに、分析においては、既存建築の活用に関する言語が用いられている 568 件の建築作品・言説を取り上げた [1]。

分析対象の建築作品・言説のデータ抽出項目は、年代、巻、号、作品名／言説題目、設計者／著者、頁、用途変更の有無、用途変更前後の用途内容、使用言語種類数とする（データシート：データ 1）。

また、着目する既存建築の活用に関する言語の種類は、最初から限定するのではなく、分析対象毎に発生する言語を随時抽出した。これにより、既存建築の活用に関する言語の変遷を明らかにする。

3.2. 言語の変遷と考察

分析対象の選定に伴い、既存建築の活用に関する言語を随時抽出した結果、1925 年初出の「改造」に始まり、2007 年初出の「増改修」にかけて、53 種類の言語の使用を確認することができた(表 3-1)。

表 3-1　既存建築の活用に関する言語種類

言語種類	初出年	作品	言説	対象建築作品／言説	設計者／著者
改造	1925	○		可愛い御台所	—
増築	1925		○	設計問答　書斎の増築に就て	新建築社相談部
改築	1925		○	大阪ビルディングを見たまま	池田谷久吉
改装	1931	○		増築完成の白木屋を見る	石本喜久治
復活	1932	○		服部時計店	渡邊仁建築事務所
ウムバウ	1933	○		銀座ハヤシ靴店の設計	宮崎光二郎
増改築	1941	○		M氏邸	アルヌルフ・ペツオルド　杉本勇雄
改修	1950	○		S氏邸	三苫正光
コンバイン	1950	○		S氏邸	三苫正光
再使用	1952	○		リーマン邸	鷲塚建築設計事務所
移築(移設)	1952	○		「完之荘」	早稲田大学施設部営繕課
保護	1956		○	韮山代官江川邸について	大河直躬
保存	1956		○	韮山代官江川邸について	大河直躬
復元	1957	○		城郭を改造した博物館(海外)	L.ベルジョヨーゾ
再用	1959		○	京都御所内「小御所」の復元について	石川忠
復原	1964		○	AIA, 帝国ホテル復原に協調を要望	—
再生	1966		○	建築の生と死に関するノート	—
継承	1966		○	建築の生と死に関するノート	—
転用	1967	○		西阪神ビル	日建設計工務
蘇生	1967	○		武庫川学院・甲子園会館	竹中工務店
模様替え	1970	○		垂水市役所庁舎の改増築	衛藤建築設計事務所
再利用	1974		○	歴史的空間の現在2	長谷川堯
再活用	1974		○	歴史的空間の現在2	長谷川堯
コンサーベーション	1974		○	歴史的空間の現在4	長谷川堯
外壁保存	1974		○	中京郵便局「外壁保存」で改築	—
部分保存	1975		○	歴史的空間の現在5	長谷川堯
残存	1975		○	居候の建築	木島安史
記録保存	1976		○	「東銀本店」顛末記	—
再築	1977		○	保存について近頃また考えること	長谷川堯
リサイクル	1978		○	リサイクリング時代の本格的な展開	村松貞次郎
記念碑的保存	1978	○		熊本地方・簡易裁判所合同庁舎	最高裁判所事務総局経理局営繕課
リノベーション	1978	○		日本通運ビルディング　外装のリノベイション	日通不動産
記憶保存	1983		○	建築的想像力の試される時	長谷川堯
再現	1983	○		賀川豊彦記念松澤資料館・松澤幼稚園	阿部勉　アルテック建築研究所
衣替え	1984	○		旧倉敷市庁舎　美術館に−近代建築も保存の時期	浦辺建築事務所
リニューアル	1987	○		装冠の建築Ⅴ−DOREMI・fa	アルキービ建築・造形・計画事務所
現代的活用	1988		○	洋風街並みの保全再生−函館の倉庫群	田村明
リコンストラクション	1988		○	〈保存と再生〉の新しい視座を求めて	石田繁之介
リペアリング	1988		○	〈保存と再生〉の新しい視座を求めて	石田繁之介
新生	1989	○		日本火災横浜ビル	日建設計・東京
再構築	1992	○		目黒雅叙園	日建設計
リフレッシュ	1993	○		駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館・管制塔	芦原建築設計研究所
リファイン	1999	○		宇目町役場庁舎	青木茂建築工房
ストック	2000		○	リノベーション/コンバージョン/ストック型建築へ	森島清太(KAJIMA　DESIGN)
コンバージョン	2000		○	リノベーション/コンバージョン/ストック型建築へ	森島清太(KAJIMA　DESIGN)
リフォーム	2000	○		FABRICA　ベネトン・アートスクール(海外)	安藤忠雄建築研究所
リユース	2001	○		山口きらら博　集合館	日本設計九州支社
再々生	2003	○		土佐山田の舎	山本恭弘/聖建築研究所
外観復元	2003	○		旧新橋停車場復元駅舎	日本設計・JR東日本建築設計事務所
イメージ復元	2004	○		京都大学百周年時計台記念館	川崎清＋環境・建築研究所
リデザイン	2004		○	再発見とリデザインから地方都市の再生を	小津誠一
減築	2004		○	再び「ものからの反撃」の時代へ	小林正美
増改修	2007	○		大阪芸術大学	坂倉建築研究所

既存建築の活用に関する言語の変遷においては、1 年間に使用される言語の種類数（図 3-1：折れ線）が、時間軸に沿って増加傾向にあるといえる。また、それに伴い、1 つの事例内に用いられる言語の種類数（図 3-1：棒）も増加傾向にあることから、既存建築の活用に関する言語の“多様化”と、事例内での“多用化”の傾向が存在すると考えられる[2]。

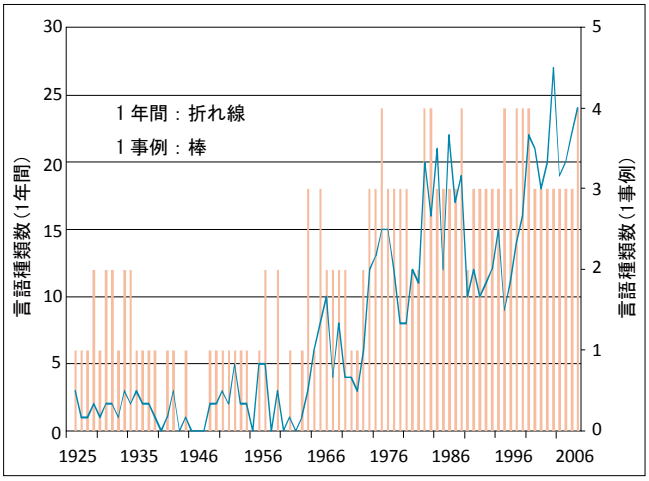


図 3-1　既存建築の活用に関する言語種類の変遷

さらに、より詳細な傾向を把握するため、各年代に関して、その特徴的な傾向を考察する（データシート：データ 3）。

先ず、1950 年においては、それ以前の約 10 年間は既存建築の活用に関する言語の広がりが止まっていたことがわかる。しかし、1950 年を境に、再び言語の広がりが始まっていることから、1950 年（昭和 25 年）制定の文化財保護法[3]により、既存建築の活用に関する意識が高まったと考えられる。

次に、1974 年における傾向をみると、再利用・再活用・コンサーベーション・外壁保存という 4 種類の言語が初出している。このことから、1974 年に最も多くの、既存建築の活用に関する言語が発生していることがわかる。また、その後の 4 年間を含めた計 5 年間（1974 年～1978 年）でみると、11 種類もの言語が初出している。これにより、本論において使用を確認した、既存建築の活用に関する言語全体の、約 20%もの言語がこの 5 年間で初出したことになる。そして、実際の設計の場面では、1970 年代前半（昭和 40 年代後半）の高度経済成長の終焉以降、既存建築を活用した設計は活発に行われるようになった。したがって、既存建築を活用した設計の活発化に従い、既存建築の活用に関する概念も多様化し、様々な言語が用いられるようになったと考える。

3.3. 分析対象の絞り込み

次章からの分析に伴い、3.1.で選定した分析対象である、568 件の建築作品・言説を、工事前と工事後の状態や、既存建築と新設部分の状態等、新旧の状態が、写真・図・文章等から十分把握できる、273 件の建築作品に絞り込んだ。それらを、次章からの分析対象とする。

【3 章注釈】

1　対象とする記事には、時事（しんけんちく・にゅうす、NEWS REPORT、NEWS）を含む。

2　多様…いろいろ異なるさま。異なるものの多いさま。

多用…多く用いること。　（多様/多用ともに広辞苑参照）

3　文化財保護法：1949 年（昭和 24 年）1 月 26 日に、法隆寺（奈良県生駒郡斑鳩町）の金堂において火災が発生し、その炎上に伴い、建物とともに法隆寺金堂壁画が焼損した。この事件は、全国に衝撃を与え、文化財保護体制の整備を要望する世論が高まり、文化財の保護についての総合的な法律として、昭和 25 年（1950 年）5 月 30 日に制定された。

第 4 章

分析方法

4.1.　設計手法の分析について
4.2.　関係の類型化による分析方法
4.3.　質料・かたちによる分析方法

4.1. 設計手法の分析について

設計手法を明らかにすることを目的とした分析を行う上で、建築の組成を把握することは必要である。設計手法と建築の組成との関係について、坂牛卓の著書『建築の規則　―現代建築を創り・読み解く可能性―』において坂牛は、以下のように述べている[1,2,3]。

> 建築は「物体(＝物)」と「空間(＝間)」で構成される。〔中略〕建築の多様な様態はどのように発生するのか、言い換えると設計者はこの「物」と「間」をどう操作するのか。そこが設計という作業の核となる部分である。(坂牛卓, 2008 年, 54-55 頁)

> 質料と形式は建築の意匠設計に則して考えてみるならばそれは設計者が操作可能な価値項目なのである。〔中略〕そこでこれら二つの概念、質料と形式を「物」と「間」の価値項目の機軸としてとりあげる。(坂牛卓, 2008 年, 59 頁)

> ここで意匠設計の実際の側面に照らし合わせるなら、意匠設計行為はこれら質料と形式の価値項目を操作するだけでは終わらないことに気づく。設計とはこれら「物」と「間」を接続したり、切り離したり、重層させたりというまさに積み木のような操作を繰り返すものである。では、そうした操作は本質的にこれらの要素のどのような属性を変化させているのであろうか。それは「物」と「間」の「関係性」である。(坂牛卓, 2008 年, 59 頁)

これらの記述により、建築は、物体である「物」と、それにより形成される空間である「間」から構成され、それら「物」と「間」には、「質料」・「形式」・「関係性」というそれぞれの可変項目である属性があることを把握した。また、この「物」と「間」を、設計者がどのように操作するのか、という判断が設計という作業の核となることから、建築の構成要素である「物」と「間」を、設計者が「質料」・「形式」・「関係性」の概念により操作することが、設計手法であるといえよう。

したがって本論では、建築を組成するための操作項目である、「質料」・「形式」・「関係性」に着目し、これらを「質料」・「かたち」・「関係」として用いる。

そして、既存建築を活用した建築作品において、既存建築と新設部分の関係を類型化する。さらに、その類型化をふまえ、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちを把握・分析することにより、既存建築と新設部分の関係を、より具体的に把握したい。

4.2. 関係の類型化による分析方法

既存建築を活用した建築作品において、既存建築と新設部分がどのような関係で置かれているのか、という観点により分析を行う。対象の建築作品を既存建築と新設部分にそれぞれ分け、その関係の類型化を行う。そして、既存建築と新設部分の類型に対し、通時的な分析を行うことにより傾向を把握する。

4.3. 質料・かたちによる分析方法

以上の類型化をふまえ、既存建築と新設部分の関係を、より具体的に把握するため、新設部分に活用されている既存建築の質料・かたちを把握する。また、新設部分のどこに(何に)対象とする既存建築の質料・かたちが活用されているのか、を明確にするため、質料・かたちは、それぞれの部位と対応させ、それらの組み合わせとして得る(データシート:データ 2)。

建築の構成単位である部位は、{床／壁／天井(梁)／柱 [4]／外壁／屋根}の 6 項目に分け、{床／壁／天井(梁)／柱}を内部部位、{外壁／屋根}を外部部位とし、内部部位、外部部位、内部部位＋外部部位 [5]の 3 項目としてあらわす。質料・かたちについては、[質料]を{材質感／色彩}、[かたち]を{装飾・ディティール／形態／様式／平面構成／立面構成}の合計 7 項目とする [6]。

また、これらの判断基準を、以下に示す。

4.3.1. ［質料］について

［質料］とは、形に対する素材性あるいは物質性であり、物質の視覚、触覚的な属性である。したがって、視覚的属性としては肌理、色に大別でき、建築おいて質料とは、物質、素材、材料を指す。[7]

■材質感:

既存建築の材質感を活用した部位。既存建築とは異なる材が用いられていても、材質感が類似している場合は、材質感を活用していると判断する。

■色彩:

既存建築の色彩を活用した部位。ただし、対象事例の文章中に、活用された色彩に関する記述が明記されているもののみを対象とする。

4.3.2. ［かたち］について

［かたち］とは、対象となる建築の全体や部分の形状のことであり、一般的には輪郭線で認識されるものである。[8]

□装飾・ディティール：

既存建築に用いられていた特徴的な装飾・ディティールを活用している部位。ただし、対象事例の文章中に、活用された装飾・ディティールに関する記述が明記されているもののみを対象とする。

□形態：

既存建築の形態を利用した部位。対応する部位の輪郭等の外形のみではなく、部位を部分的にみて、開口部の形態や、梁の組み方の形式(＝天井の形態)等を含む。

□様式：

既存建築の様式を活用した部位。ただし、対象事例の文章中に、活用された様式に関する記述が明記されているもののみを対象とする。

□平面構成：

既存建築の平面構成を活用した部位。内部部位｛壁／柱｝の、配置・配列を対象とする。

□立面構成：

既存建築の立面構成を活用した部位。外部部位の｛外壁／屋根｝を総合した構成を対象とし、そこには開口部の配置・配列やスケール感を含む。

【4 章注釈】

1 坂牛卓『建築の規則　―現代建築を創り・読み解く可能性―』(ナカニシヤ出版, 48-62 頁, 2008 年)

2 同上

3 同上

4 {柱}の部位項目に関して, 真壁の建物である場合は, 柱自体を視覚的に認識できるため{柱}の項目とし, 大壁の建物である場合は, 柱自体を視覚的に認識できないため{柱}の項目ではなく, {壁}の項目として分析を行う。

5 ただし, 内部部位＋外部部位に対応する質料・かたちが, 部位全体に対応している訳ではない。内部部位と外部部位それぞれにおいて、1 項目ずつでも部位(項目内容)が含まれていれば、内部部位＋外部部位に対応した質料・かたちとなる。

6 田中浩貴, 山田深, 佐々木夕介「建築の増改築における[新]と[旧]の要素　―建築家の言説からみた増改築(2)―」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9316, 631-632 頁, 2004 年)

奥山信一, 四ヶ所高志, 横山天心「建築家による増改築建築の設計論における新旧要素の関係性」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9317, 633－634 頁, 2004 年)

田中らは、建築の増改築における既存部分の要素の内容を{材質・色・装飾・様式・形態・構成材・構造・構成(立面・平面・空間)・機能}の 11 項目に分類した。また、奥山らは、建築の構成単位である部位に対応する、建築の性質である属性の内容を{材質感／装飾・ディティール／光・色／配置・配列／形態／スケール・尺度／技術・構法／なし}の 8 項目に分類した。以上の 2 つの既往研究による要素・属性を参考とし、本論では、7 項目の質料・かたちの項目内容を設定する。

7 坂牛卓『建築の規則　―現代建築を創り・読み解く可能性―』(ナカニシヤ出版, 63-64 頁, 2008 年)

8 坂牛卓『建築の規則　―現代建築を創り・読み解く可能性―』(ナカニシヤ出版, 109-111 頁, 2008 年)

第 5 章

分析と考察

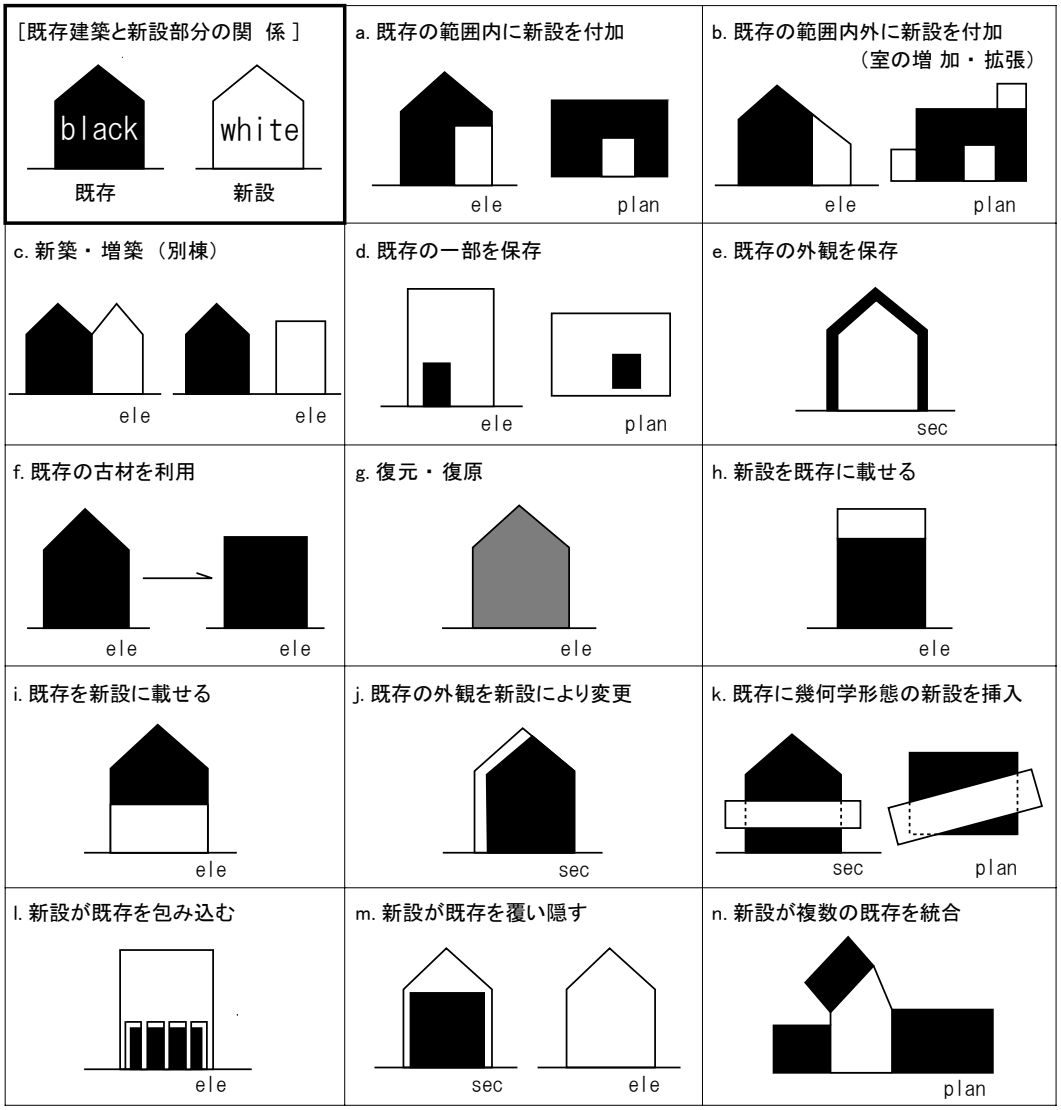
5.1.　関係の類型化による分析と考察
5.2.　質料・かたちによる分析と考察

5.1. 関係の類型化による分析と考察

5.1.1.　関係の類型化

既存建築を活用した建築作品において、既存建築と新設部分の関係の類型化を行った。その結果、以下の表 5-1 に示す、14 種類の類型を得ることができた。

表 5-1　関係の類型



以上の類型化によって得られた、14 種類の類型の内容を、以下に記す。[1]

a.既存の範囲内に新設を付加

…既存建築の範囲内において、新設部分を付加させる手法であり、室などの空間は既存建築の範囲外に拡張しない。また、既存建築の構造躯体のみを活用する手法も含み、建物の外形が構造躯体に沿い、基本的には既存建築の外形と類似するものを対象とする。

図 5-1　類型 a の事例

b.既存の範囲内外に新設を付加(室の増加・拡張)

…既存建築の範囲内外双方において、新設部分を付加させる手法であり、室などの空間は既存建築の範囲外に拡張する。

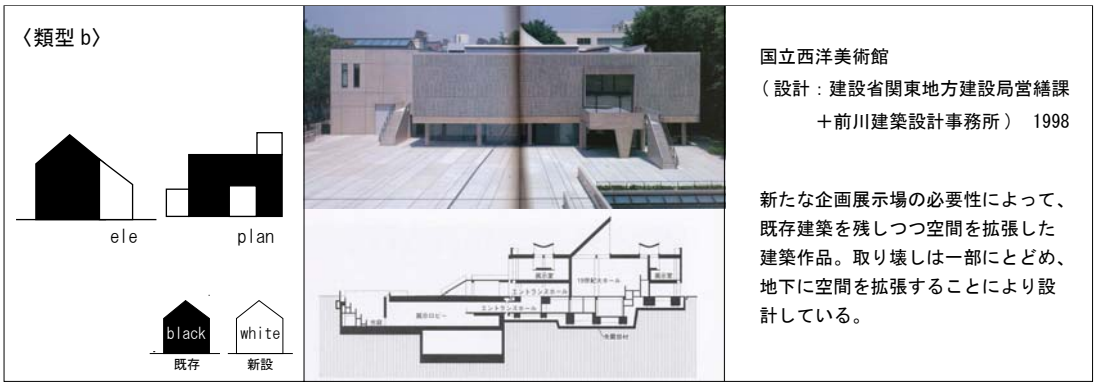


図 5-2　類型 b の事例

c.新築・増築(別棟)

…既存建築とは別棟として、新築・増築する手法である。ここでは既存建築と、別棟の新設部分が、隣接している場合や、接続している場合も含む。また、既存建築の構造躯体のみを活用する手法も含み、建築の外形が構造躯体に沿っておらず、基本的には新たな外形になっているものを対象とする。

図 5-3　類型 c の事例

d.既存の一部を保存

…既存建築の一部を、新設部分の建築に取り込んで保存する手法である。

Ex.　外壁の一部を保存、一室の内部空間を保存等

図 5-4　類型 d の事例

e.既存の外観を保存

…既存建築の外観を保存し、内部空間を新設部分で変更する手法である。

図 5-5　類型 e の事例

f.既存の古材を利用

…既存建築に使用されていた部材を、新設部分の建築に利用する手法である。

図 5-6　類型 f の事例

g.復元・　復原

…既存建築を、復元・復原する手法である。ここでは完全復元(復原)や、対象事例の規模に対し、復元（復原）部分の割合が極めて大きな規模を占める復元(復原)を対象とする。

図 5-7　類型 g の事例

h.新設を既存に載せる

…新設部分を既存建築に載せるような形で、設計する手法である。ただし、対象事例の規模に対し、極端に小さい規模の新設部分を設計する場合は、(b)の手法とする。

図 5-8　類型 h の事例

i.既存を新設に載せる

…既存建築を新設部分に載せるような形で、設計(移築)する手法である。

図 5-9　類型 i の事例

j.既存の外観を新設により変更

…既存建築の外観を新設部分で変更し、内部空間は既存建築を利用する手法である。

図 5-10　類型 j の事例

k.既存に幾何学形態の新設を挿入

…既存建築に幾何学形態の新設部位を挿入させるような形で、設計する手法である。

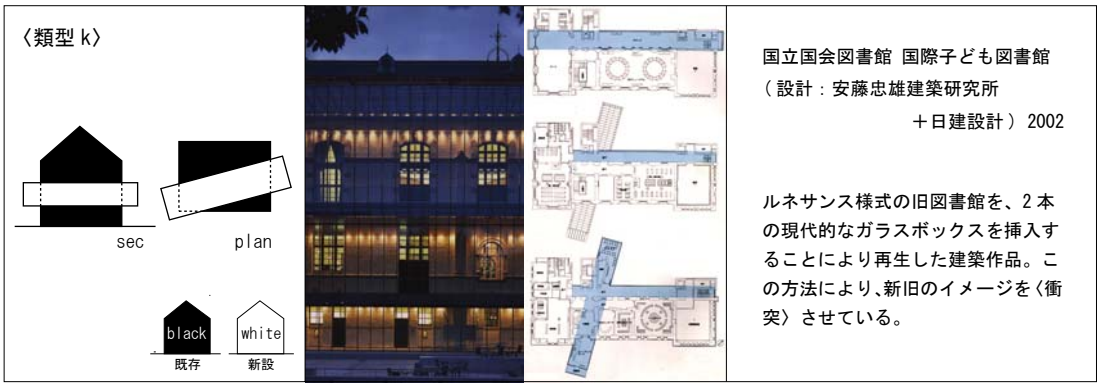


図 5-11　類型 k の事例

l.新設が既存を包み込む

…新設部分が既存建築を包み込み、被せるような形で、設計する手法である。ただし、既存建築の外観を活用するため、外観を完全に隠すものではない。

図 5-12　類型 l の事例

m.新設が既存を覆い隠す

…新設部分が既存建築を覆い隠すような形で、設計する手法である。ただし、新設部分は既存建築の外観を完全に覆い隠すものとする。

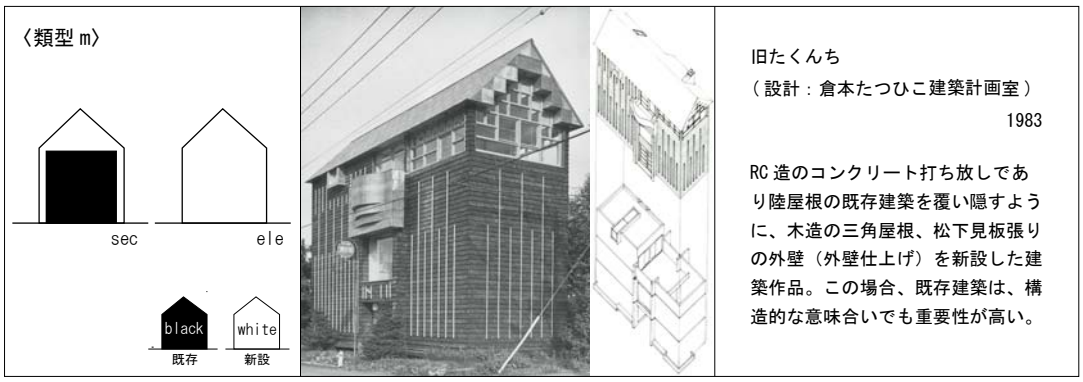


図 5-13　類型 m の事例

n.新設が複数の既存を統合

…新設部分により、複数の既存建築を統合させ、ひとつの建築作品とする手法である。

図 5-14　類型 n の事例

5.1.2. 傾向把握による考察

以上の類型化により得られた、既存建築と新設部分の関係における 14 種類の類型に対し、通時的な傾向を把握する。また、類型全体の事例数の推移を図 5-15、類型(a)(b)(c)の事例数の推移を図 5-16、類型(d)(e)(g)(j)の事例数の推移を図 5-17 に示す。

先ず、類型全体の通時的な傾向をみると、時間軸に沿って類型の種類数が増加していることがわかる(図 5-15)。それにより、既存建築の活用に関する言語と同様に、既存建築と新設部分の関係も多様化していると考えられる。

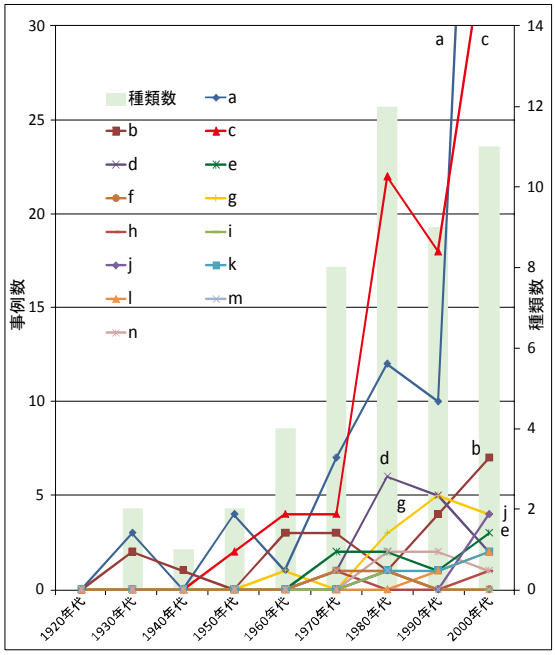


図 5-15　類型全体の事例数推移

次に、類型の通時的な傾向を類型毎にみる。さらに、特徴的なものは、その年代に対応する時代背景と関連付けて考える。

歴史的に古い年代では、1952 年に、別棟での新築・増築(c)が初出するまでは、既存建築の範囲内に新設部分を付加(a)と、室空間の増加拡張を伴い既存建築の範囲内外に新設部分を付加(b)が頻繁に用いられる手法であったことがわかる(図 5-16)。また、類型(a)と類型(b)の差異は、室空間の増加拡張の有無であるため、共に既存建築の範囲内を主体にして新設部分を付加するという共通点が存在している。そのうえ、これらの初期の年代の対象事例は、小規模建築(個人住宅・商店等)であることが多かった。これにより、その他の類型よりも頻繁に、既存建築の活用を伴う細かな設計を、数多くの箇所に行っていたと考えられる。

つまり、既存建築を活用する設計において、初期の段階では、既存建築と新設部分の関係は種類数が少なく、限定的であり、それらは主に小規模建築において用いられていた。そして、そのような状況の中で、既存建築の活用を伴う細かな設計を、数多くの箇所に行うことにより、既存建築を活用する設計手法は更新されてきたと考えられる。

その後 1970 年代に入り、高度経済成長が終焉を迎え(昭和 40 年代後半)[2]、既存建築を活用した建築作品の事例数が増加した。それに伴い、既存建築と新設部分の関係も、様々な種類の手法が用いられるようになり、時間軸に沿った多様化につながったと考えられる。

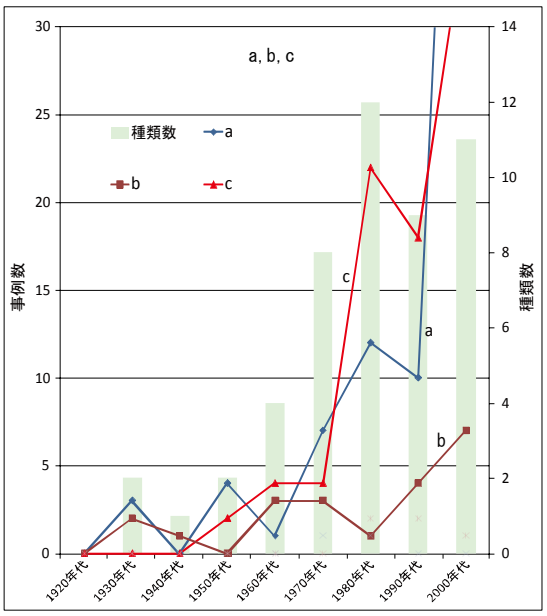


図 5-16　類型(a)(b)(c)の事例数推移

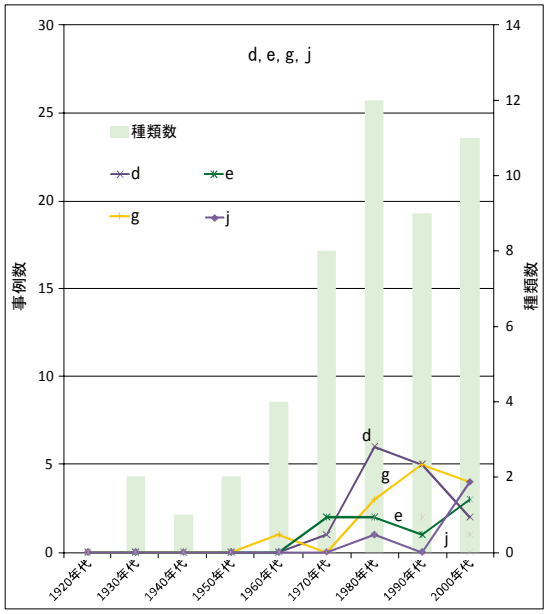


図　5-17　類型(d)(e)(g)(j)の事例数推

また、1980 年代も類型毎に特徴的な傾向がみられる。

先ず、類型(c)では 1980 年代の増加傾向が、他の類型のものに比べ顕著あらわれているという特徴がある。この増加傾向について、時代背景と関連付けて考えてみると、1981 年の建築基準法施行令改正(新耐震基準)[3] により、耐震設計に対する注目が集まり、新設部分を既存建築とは分離させて設計する手法が多く用いられたことが要因であると考えられる。

さらに、既存建築の一部を新設部分に保存(d)においても、1980 年代に増加傾向がみられる(図 5-17:d)。日本経済にとって、1980 年代後半からバブル景気 [4] であり、それによりオフィスビル等の大規模建築の建設は増加した。したがって、そのための建て替えに伴い、既存建築である旧建物の一部(この場合外壁の一部を保存することが多い)を、新設部分である建て替え後の建物に、保存・活用することが多くなったことが要因であると考えられる。

そして、1990 年代においては、対象事例の規模のほぼ全体形を満たす規模による復元・復原(g)の増加傾向が特徴的である(図 5-17:g)。本論において、類型(g)として分類した 1990 年代の事例の中でも、60%(5 事例中 3 事例)が 1990 年代の後半に設計され、それらは神戸における事例であった。そのことから、1995 年の阪神・淡路大震災 [5] が要因となり、その復興に伴い、倒壊してしまった歴史的価値のある建築を、復元・復原した建築作品が増加したと考えられる。

近年において、比較的その事例数が多くなっているものは、既存の外観を保存(e)、既存の外観を新設により変更(j)等、外観に着目して設計するものが挙げられる（図 5-17:e,j）。それにより、既存建築を活用する設計において、外観は重要な要素を占めていると考えられる。

また、近年において、他の類型に比べ圧倒的に事例数が多く、最も頻繁に用いられている手法は、類型(a)と、類型(c)である。これら類型(a)と、類型(c)については、歴史的に見ても古くから存在しており((a)-1931 年初出、(c)-1952 年初出)、近年だけでなく、それ以前の各年代においても事例数が多い。したがって、既存建築と新設部分の関係を総合的にみても、この２つの類型が、既存建築を活用する設計において頻繁に用いられる手法であるといえよう。

さらに、類型毎の全体的な事例数の傾向をみると、既存建築の古材を新設部分に利用(f)、新設部分を既存建築に載せる(h)、既存建築を新設部分に載せる(i)、新設部分が既存建築を包み込む(l)、新設部分が既存建築を覆い隠す(m)による手法は、他の類型に比べ事例数が極端に少ないことがわかる。つまり、これらの類型を用いた手法は、そのほかの類型を用いた手法に比べ、稀な手法であるといえる。そして、稀な存在であるがゆえ、その類型の手法を用いること自体が、建築としての“個性”になる可能性があると考えられる。

以上より、既存建築を活用する設計において、既存建築と新設部分の関係の類型を通時的に分析・考察し、以下のような知見を得た。

①時間軸に沿って多様化している。
②既存建築を活用した建築作品があらわれ始めてから 1950 年代以前までは、類型(a)と類型(b)の関係による設計を主体に、その設計手法は更新されてきたと考えられる。
③既存建築と新設部分の関係の類型からみる手法は、各々の時代背景(景気変動・自然現象(地震)・法改正等)と関連している。
④全体的にみると、類型(a)と類型(c)の関係が、最も頻繁に用いられている。
⑤設計手法自体を建築作品の“個性”にできる可能性を持った、極端に稀な類型も存在している。

5.2. 質料・かたちによる分析と考察

5.2.1. 質料・かたちの組み合わせ

以上の類型化をふまえ、既存建築と新設部分の関係をより具体的に把握するため、新設部分に活用されている既存建築の質料・かたちを、それぞれの部位と対応させ、それらの組み合わせを把握した。

その結果、表 5-2[6,7,8] に示す、27 種類の組み合わせを得ることができた。

表 5-2　質料・かたちの組み合わせ

部位			質料・かたち						
			質料		かたち				
内部	外部	内部＋外部	材質感	色彩	装飾・ディティール	形態	様式	平面構成	立面構成
(1)	(2)	(3)	○						
	(4)			○					
	(5)		○	○					
(6)	(7)				○				
(8)	(9)					○			
(10)							○		
(11)								○	
	(12)								○
(13)		(14)			○		○		
(15)						○		○	
		(16)				○o		○i	
	(17)					○			○
	(18)				○	○	○		
		(19)				○i,o		○i	○o
	(20)※		○			○			
		(21)	○o					○i	
		(22)※	○i,o					○i	
		(23)	○o		○i				
		(24)※	○i,o		○o				
		(25)※	○i			○o		○i	
(26)			新設部分に既存建築を活用しない						
(27)			新設部分なし						

以上の組み合わせの把握によって得られた、27 種類の組み合わせの内容を、以下に記す。

［質料］

(1)内部部位の{材質感}

(2)外部部位の{材質感}

(3)内部部位と外部部位の{材質感}

(4)外部部位の{色彩}

(5)外部部位の{材質感／色彩}

［かたち］

(6)内部部位の{装飾・ディティール}

(7)外部部位の{装飾・ディティール}

(8)内部部位の{形態}

(9)外部部位の{形態}

(10)内部部位の{様式}

(11)内部部位の{平面構成}

(12)外部部位の{立面構成}

(13)内部部位の{装飾・ディティール／様式}

(14)内部部位と外部部位の{装飾・ディティール／様式}

(15)内部部位の{形態／平面構成}

(16)内部部位と外部部位の{形態／平面構成}

(17)外部部位の{形態／立面構成}

(18)外部部位の{装飾・ディティール／形態／様式}

(19)内部部位の{形態／平面構成}と外部部位の{形態／立面構成}

［質料＋かたち］

(20)※外部部位の{材質感／形態}

(21)内部部位の{平面構成}と外部部位の{材質感}

(22)※内部部位の{材質感／平面構成}と外部部位の{材質感}

(23)内部部位の{装飾・ディティール}と外部部位の{材質感}

(24)※内部部位の{材質感}と外部部位の{材質感／装飾・ディティール}

(25)※内部部位の{材質感／平面構成}と外部部位の{形態}

［その他］

(26)既存建築の属性を活用せず、新設部分は新規のまま設計

(27)新設部分なし(完全復元(復原)、完全移築、完全保存等)

5.2.2. 傾向把握による考察

以上により得られた、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちの 27 種類の組み合わせを、通時的に把握する [9]。また、それらは既存建築と新設部分の関係に付随したものであるため、対応する関係の類型毎に把握する。

<u>既存建築の範囲内に新設部分を付加(a)</u>

類型(a)における質料・かたちの傾向（図 5-18）をみると、既存建築の[質料]よりも[かたち]を新設部分に活用することが多く、2000 年代にはその傾向が顕著にあらわれている。さらに、類型(a)における主要な質料・かたち は [10]、内部部位の材質感(1)、内部部位の平面構成(11)、内部部位の形態と平面構成(15)、新設部分に既存建築を活用しない(26)の 4 パターンである（図 5-19）。そのことから、類型(a)では、内部部位において新旧を組み合わせる手法が頻繁に用いられていると考えられる。また、2000 年代に急激に増加している、既存建築の[かたち]を新設部分に活用する手法において、既存建築の平面構成の活用が含まれる手法(11)(15)が増加している。それにより、近年では、既存建築の構造躯体を中心に活用する、経済性重視の手法が増加していると考えられる。

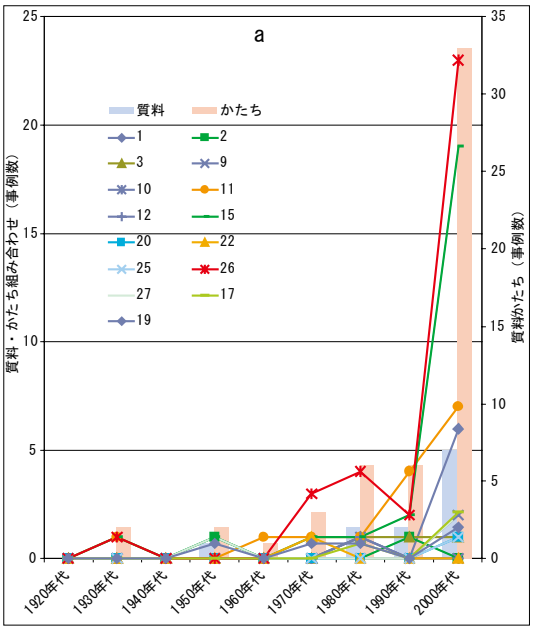


図 5-18　類型(a)の質料・かたち

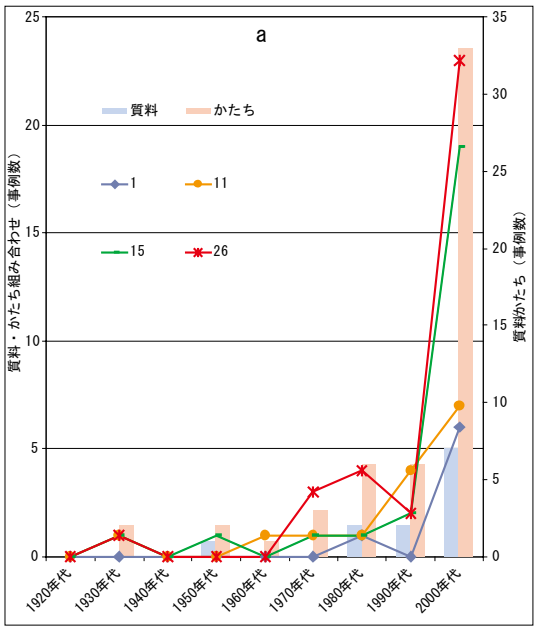


図 5-19　類型(a)の主要な質料・かたち

既存建築の範囲内外に新設部分を付加(b)

類型(b)における質料・かたちの傾向(図 5-20)をみると、1990 年代以前は、既存建築の[質料]を新設部分に活用することが多く、2000 年代になると既存建築の[かたち]の割合が増加している。そのため、近年では、既存建築の[質料]よりも[かたち]を新設部分に活用する傾向があるといえる。さらに、類型(b)における主要な質料・かたちは、外部部位の材質感(2)、内部＋外部部位の材質感(3)、新設部分に既存建築を活用しない(26)の 3 パターンである(図 5-21)。また、以前は、既存建築の[質料]である、材質感の活用を含む手法(2)(3)が用いられることが、比較的多い傾向があった。しかし、近年では、類型(a)と同じように、既存建築の[かたち]である平面構成の活用を含む手法(11)(15)が用いられることが多くなっている。

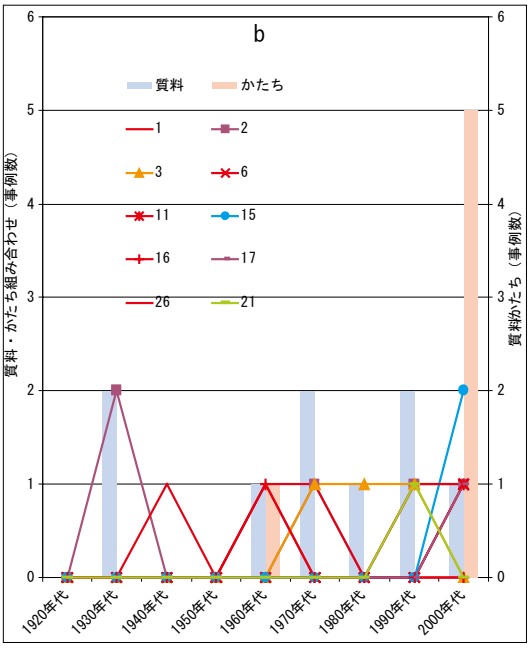


図 5-20　類型(b)の質料・かたち

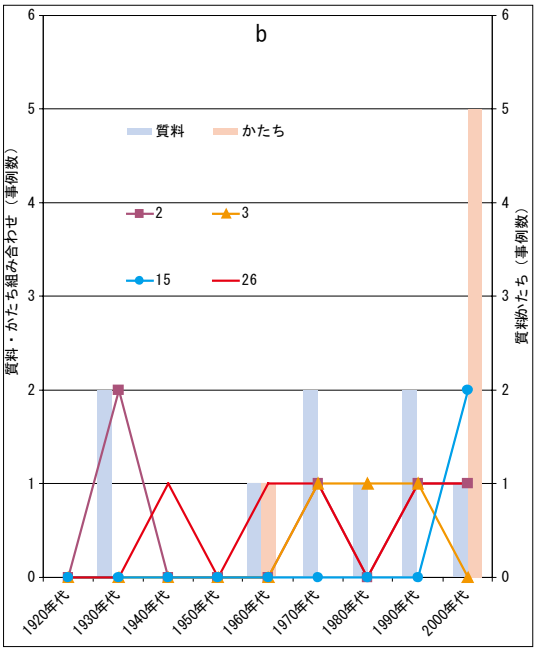


図 5-21　類型(b)の主要な質料・かたち

別棟での新築・増築(c)

類型(c)における質料・かたちの傾向（図 5-22）をみると、類型(a)の場合とは異なり、既存建築の[かたち]よりも[質料]を新設部分に活用することが、比較的多いことがわかる。さらに、類型(c)における主要な質料・かたちは、外部部位の材質感(2)、内部部位の平面構成(11)、新設部分に既存建築を活用しない(26)の 3 パターンであることがわかる（図 5-23）。特に、(26)の手法は、最も頻繁に用いられており、類型(c)の関係で既存建築を活用する設計において、新設部分は既存建築とは断ち切って考え、既存建築とは別の、新しいものとして設計する意識が高いと考えられる。

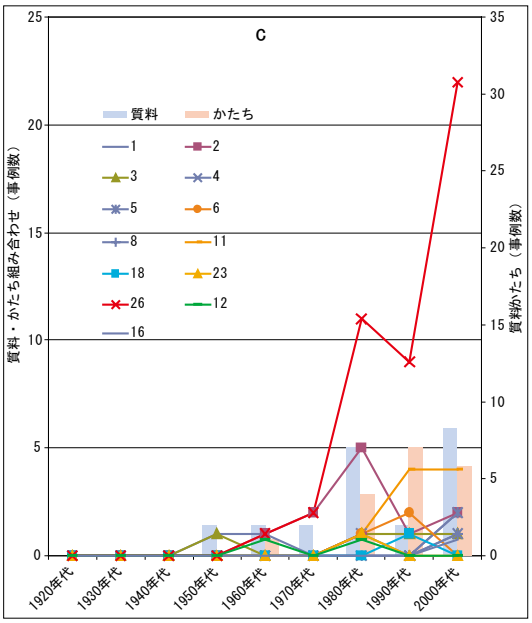


図 5-22　類型（c）の質料・かたち

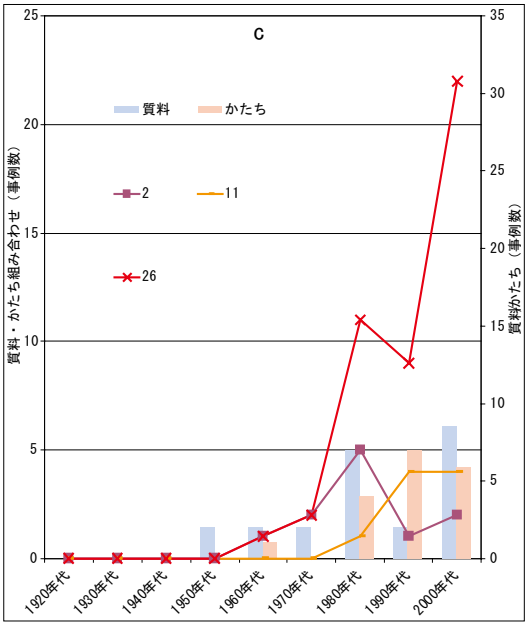


図 5-23　類型（c）の主要な質料・かたち

既存建築の一部を新設部分に保存(d)

類型(d)における質料・かたちの傾向（図5-24）をみると、新設部分を既存建築に活用しない(26)の手法が主要なものとなっていることがわかる。また、既存建築の一部を保存し新設部分の一部に組み込むという行為は、既存建築の経済的価値により行うものではなく、それ以外の歴史的価値や都市景観としての価値等により行うことが多いと考えられる。これらにより、類型(d)においては、新設部分を既存建築とは質料・かたちの面で対比的な、もしくは別のものとして扱うことにより、保存し残存させる既存建築の部分を強調し、際立たせる意識が強いのではないかと考える。

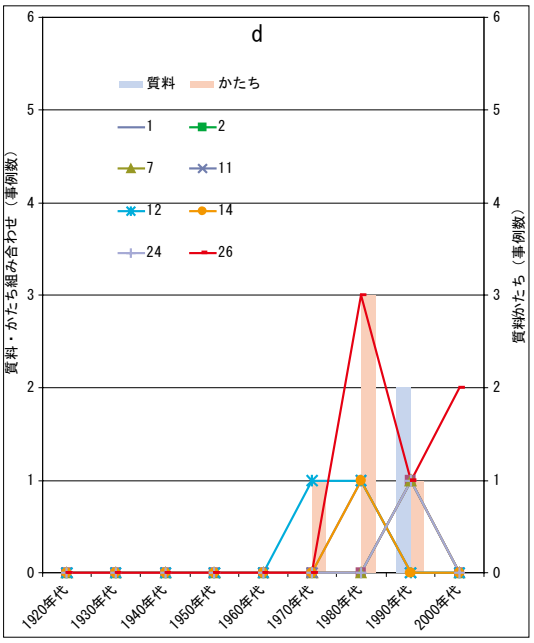


図 5-24　類型(d)の質料・かたち

既存建築の外観を保存(e)

類型(e)における質料・かたちの傾向（図5-25）をみると、類型(d)と同様に、新設部分に既存建築を活用しない(26)の手法が主要なものとなっていることがわかる。これは、既存建築の外観を保存するという行為の中で、外壁をカーテンウォールとし、内部とは別物として扱うことが多くなったことに起因していると考えられる。そして、それに伴い、内部は新規のものとして設計しても、外観としての価値は失われないため、結果的に類型(e)では(26)の手法が増えたと考える。

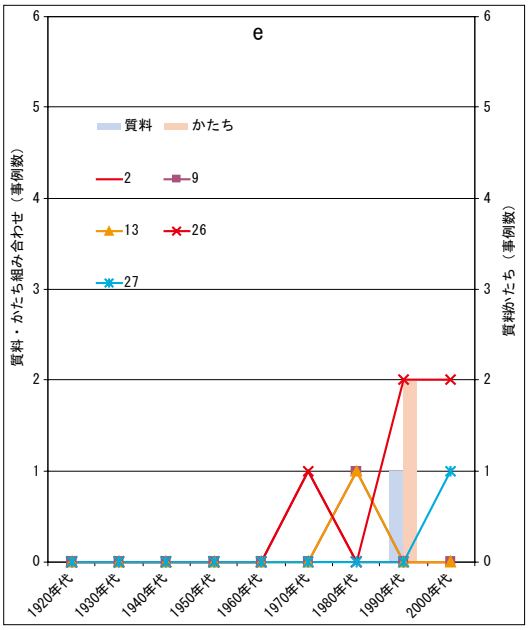


図 5-25　類型(e)の質料・かたち

既存建築の古材を新設部分に利用(f)

類型(f)における質料・かたちの傾向（図5-26）は、対象となる事例数が極端に少数であり、他の類型に比べ稀な存在であるため、通時的な把握は困難である。しかし、少数ではあるが、類型(f)における質料・かたちは、内部部位の材質感(1)の手法のみであることから、類型(f)においては、新設部分の材質感を、利用する既存建築の古材に合わせることにより、既存建築を活用することが多いと推測することができる。

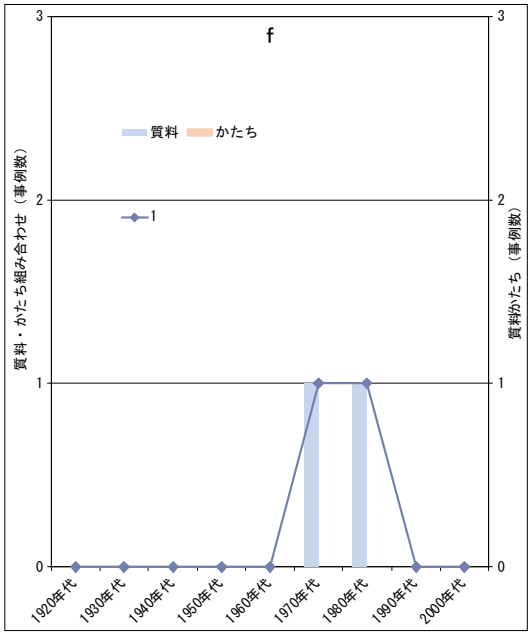


図 5-26　類型(f)の質料・かたち

既存建築を復元・復原(g)

類型(g)における質料・かたちの傾向（図5-27）は、新設部分に既存建築を活用しない(26)の手法が主要なものとなっていることがわかる。それは、1990 年代から 2000 年代にかけて顕著にあらわれており、特に 1990 年代は類型(g)の全体的な事例数も増加した年代である。その要因として、1995 年の阪神・淡路大震災を挙げ、それによる復興に伴って事例数が増加したと考えられる、と先に述べた。また、地震により、日常的に存在していたものが突然なくなってしまったという状況においては、復元（復原）によって、視覚的に元の状態に戻す設計が求められることが増えたと推測される。その結果、新設部分で新旧を融合させるのではなく、新設部分は別物として、もしくは耐震補強を目的として等の理由により、(26)の手法が活発に用いられたと考えられる。

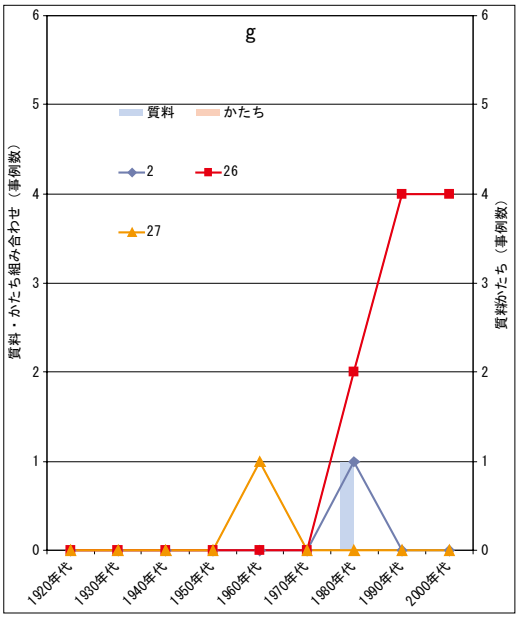


図 5-27　類型(g)の質料・かたち

新設部分を既存建築に載せる(h)　既存建築を新設部分に載せる(i)

類型(h)、類型(i)における質料・かたちの傾向（図 5-28,5-29）は、それぞれの対象となる事例数が極端に少数であり、他の類型に比べ稀な存在であるため、通時的な把握は困難である。

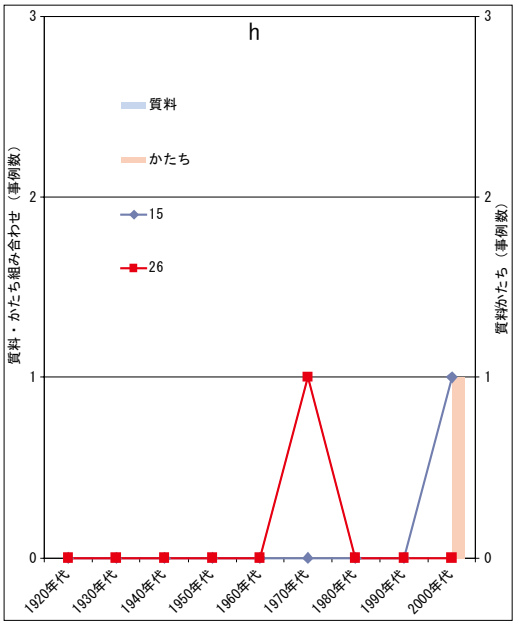


図 5-28　類型(h)の質料・かたち

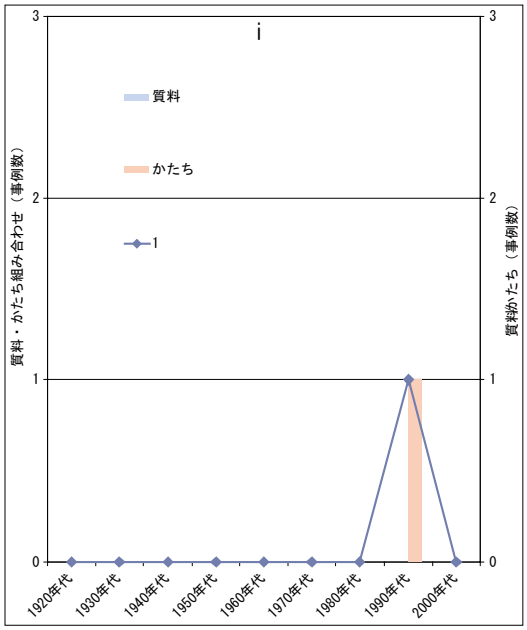


図 5-29　類型(i)の質料・かたち

既存建築の外観を新設部分により変更(j)

類型(j)における質料・かたちの傾向（図 5-30）は、新設部分に既存建築を活用しない(26)の手法が多くなっている。建築作品において、視覚的な印象が最も強い外観を、新設部分により変更するという行為は、歴史的価値や都市景観としての価値よりも、経済的価値や商業的価値によって行われることが多いと考えられる。したがって、類型(j)においては建築のファサードを一新することを目的として、(26)の手法を用いることが多くなったと考えられる。

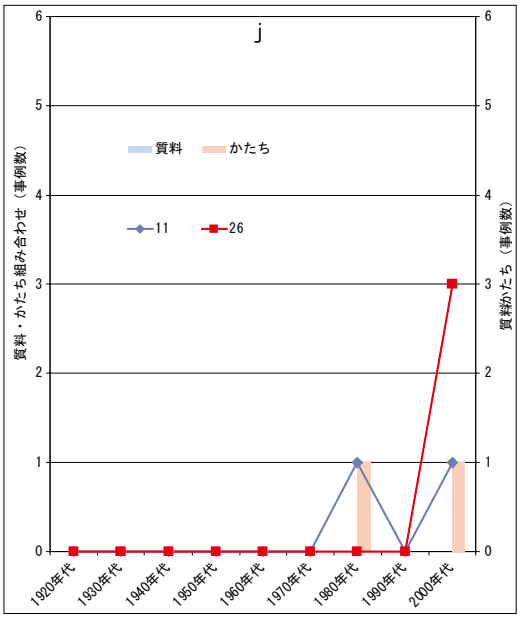


図 5-30　類型(j)の質料・かたち

既存建築に幾何学形態の新設部分を挿入(k)

類型(k)における質料・かたちの傾向(図 5-31)は、既存建築を活用しない(26)の手法が、比較的多く用いられていることがわかる。複雑で多様な形態・様態をもつ建築物に対し、特異な形態である幾何学形態の新設部分を挿入するという行為は、対比関係を示すことが多いと考えられる。そのうえ、挿入する新設部分が新規のままであるということは、対比関係を顕著にあらわしているといえよう。

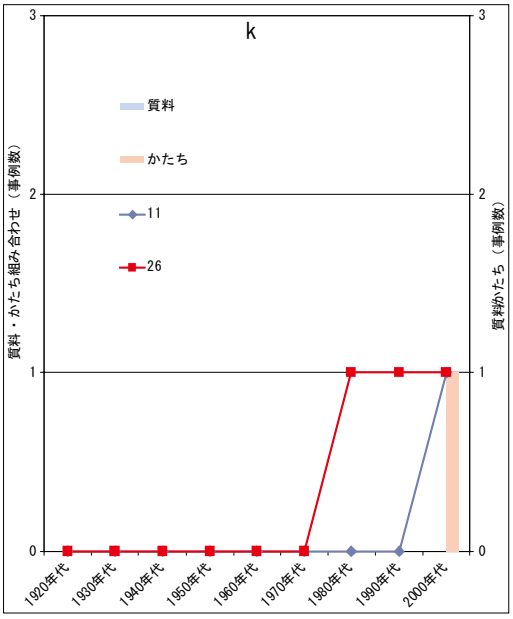


図 5-31　類型(k)の質料・かたち

新設部分が既存建築を包み込む(l)　　新設部分が既存建築を覆い隠す(m)

類型(l)、類型(m)における質料・かたちの傾向(図 5-32,5-33)は、それぞれの対象となる事例数が極端に少数であり、他の類型に比べ稀な存在であるため、通時的な把握は困難である。

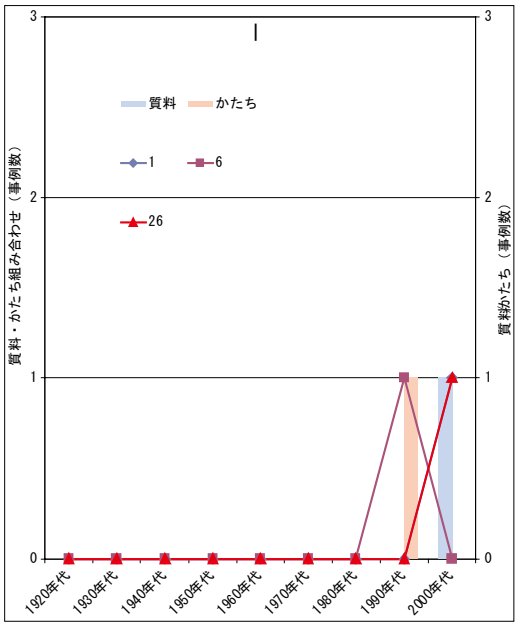


図 5-32　類型(l)の質料・かたち

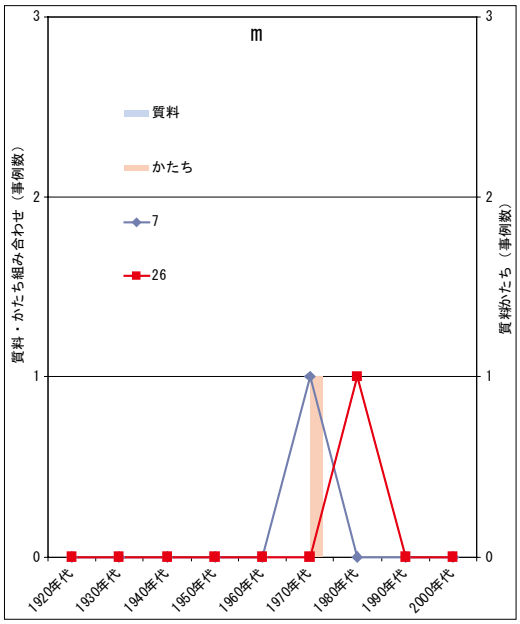


図 5-33　類型(m)の質料・かたち

新設部分が複数の既存建築を統合(n)

類型(n)における質料・かたちの傾向（図5-34）は、既存建築の[質料]を新設部分に活用することが多く、その[質料]の中でも、材質感の活用を含む手法(1)(2)(3)が多いことがわかる。また、既存建築を統合するということは、複数の建築をひとつの建築として扱うことである。したがって、類型(n)では、複数の既存建築を統合する際、既存建築の材質感に合わせて新設部分を設計し、ひとつの建築作品として一体感を持たせることが多いといえる。

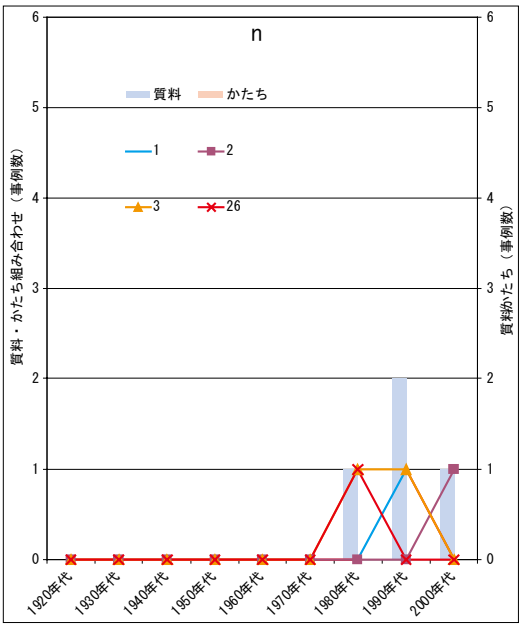


図 5-34　類型(n)の質料・かたち

以上より、既存建築と新設部分の関係の類型において、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちの組み合わせの手法を通時的に分析・考察し、以下のような知見を得た。

①関係の類型毎に、頻繁に用いられる手法が存在している。

②関係の類型内における質料・かたちによる手法は、各々の時代背景(自然現象(地震)・時流等)と関連している。

【5 章注釈】

1 既存建築の構造体のみの活用を含む手法(a)(c)の差異を、以下のように設定した。

(a)既存建築の構造体を、新設部分全体の構造体として活用する。その結果、基本的に全体の外形(平面・立面的な全体の輪郭)は、既存建築と類似するものとなる。

(c)新設部分の構造体の一部として、既存建築の構造体を活用する。その結果、基本的に全体の外形(平面・立面的な全体の輪郭)は、既存建築とは異なるものとなる。

2 高度経済成長の終焉(1973 年):昭和 30 年代(1955 年)辺りから、日本経済は飛躍的に成長し、この期間が日本における高度経済成長期と呼ばれる。そして、1973 年のドルショック・石油危機をきっかけにして、高度経済成長は終焉し、その後安定成長期(1973 年～バブル崩壊の 1991 年まで)に入った。

3 建築基準法施行令改正(新耐震基準)(1981 年):地震被害に関する研究が進展し、1981 年(昭和 56 年)6 月 1 日に建築基準法施行令の大改正が行われた。そして、新耐震基準が導入されたことにより、一次設計・二次設計の概念が導入された。

4 バブル景気(1986 年～1991 年):日本経済史上で 1986 年 12 月～1991 年 2 月にかけてみられた好景気である。この期間の日本経済は、過剰な投機熱による資産価格の高騰(バブル経済)によって支えられ、その崩壊(バブル崩壊)とともに急激に後退した。

5 阪神・淡路大震災(1995 年):1995 年(平成 7 年)1 月 17 日の兵庫県南部地震により発生した大規模災害である。これをきっかけに、同年 12 月 25 日に、建築物の耐震改修の促進に関する法律(耐震改修促進法)が施行され、現在の新耐震基準を満たさない建築物について、積極的に耐震診断や改修が進められた。

6 本論により導いた、既存建築の質料・かたちの組み合わせは、( )内の番号が示す。それぞれの内容は、番号のある列が対象部位となり、同一行内の質料・かたちの項目が、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちである。

7 ※:同一の部位(内部部位／外部部位)の質料・かたちの双方において、既存建築が活用されている場合、基本的に、旧要素のみで構成される既存建築として認識するため、新設部分としては扱わない。しかし、同一の部位内でも、その詳細な部位項目((20)外壁と屋根、(22)床・壁と柱、(24)(25)壁と柱)において部位が異なる場合は、新設部分としての扱いとなる。

8 i:内部部位と対応　o:外部部位と対応　i,o:内部・外部部位双方と対応

9 「質料」「かたち」の傾向をみるため、「質料」のみ、「かたち」のみの事例数を抽出し、年代毎にグラフ化している。したがって、このグラフにおいては「質料＋かたち」の事例数は含まないこととする。

10 主要な質料・かたちの定義を、以下のように設定した。

対象の類型の全事例数に対する割合が 5%以下、または、事例数が 2 件以下のものは、主要な質料・かたちには含まない。したがって、本論において設定する主要な質料・かたちは、事例数が、対象の類型の全事例数に対し 6%以上、かつ、3 件以上のもののみとする。

第 6 章

結論

6.1. 結

6.1. 結

以上、本論では既存建築を活用した建築作品において、先ず、既存建築と新設部分の関係の類型化を行った。さらに、その類型化をふまえ、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちを、通時的に把握・分析する作業を通じて、既存建築を活用する設計手法を捕捉するための、ひとつの方法を提示した。

その結果、既存建築と新設部分の関係を 14 種類に類型化することができた。さらに、その類型に付随する、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちについては、部位と対応させることにより、27 種類の組み合わせを得た。

そして、これらにより類別した建築作品を、年代毎に分析・考察し、既存建築を活用する設計手法が、各々の時代背景(景気変動・自然災害(地震)・法改正・時流等)と関連していることを把握した。

また、質料・かたちに着目して、既存建築と新設部分の関係を、類型毎に分析・考察し、それぞれの類型には、頻繁に用いられる設計手法が存在することを明らかにした。

ここで得られた知見は、既存建築を活用した建築作品の、過去から現在に至る設計手法を理解することにとどまらず、多様化する設計手法において、新たな“既存建築を活用する設計”を行う上での、創造的基礎となるものであると考える。

参考文献

- エイドリアン・フォーティー（坂牛卓＋邉見浩久監訳）『言葉と建築　語彙体系としてのモダニズム』（鹿島出版会，2006 年）
- テレデザイン『再生する都市』（ラトルズ，2005 年）
- マーティカ・ソーウィン編（金出ミチル訳）『ジェームズ・マーストン・フィッチ論評選集　-建築・保存・環境-』（鹿島出版会，2008 年）
- 浦辺建築事務所「倉敷アイビースクエア」（『新建築』49．7，229－244 頁，1974 年）
- 奥山信一，四ヶ所高志，横山天心「建築家による増改築建築の設計論における新旧要素の関係性」（『日本建築学会大会学術講演梗概集』9317，633－634 頁，2004 年）
- 菊竹清訓『復刻版　代謝建築論　か・かた・かたち』（彰国社，2008 年）
- 近江栄「近代建築の保存への姿勢」（『新建築』42．5，111－114 頁，1967 年）
- 五十嵐太郎『現代建築に関する 16 章　-空間，時間，そして世界』（講談社，2006 年）
- 五十嵐太郎編『見えない震災　-建築・都市の強度とデザイン-』（みすず書房，2006 年）
- 坂牛卓『建築の規則　―現代建築を創り・読み解く可能性―』（ナカニシヤ出版，2008 年）
- 三田村哲哉「諸外国における建築コンバージョンの動向と特徴」（小林克弘，三田村哲哉，橘高義典，鳥海基樹編著『世界のコンバージョン建築』鹿島出版会，11-17 頁，2008 年）
- 小林克弘，三田村哲哉，橘高義典，鳥海基樹編著『世界のコンバージョン建築』（鹿島出版会，2008 年）
- 新建築社「中京郵便局「外壁保存」で改築」（『新建築』49．10，137 頁，1974 年）
- 新建築社「リノベーション特集：既にあるものを生かしつつつくること」（『新建築』80．10，153 頁，2005 年）
- 森島清太（KAJIMA　DESIGN）「リノベーション/コンバージョン/ストック型建築へ」（『新建築』75．3，230-235 頁，2000 年）
- 清家剛「建築のリニューアルは今」（『新建築』75．10，162-164 頁，2000 年）
- 青木淳建築計画事務所「G/NYNL」（『新建築』79．9，139-149 頁，2004 年）
- 青木茂『建物のリサイクル』（学芸出版社，1999 年）
- 石田繁之介「〈保存と再生〉の新しい視座を求めて」（『新建築』63．9，181-186 頁，1988 年）
- 浅井佳，藤木隆男，小栗克己「用途変更を伴う増改築建築の設計手法に関する考察」（『日本建築学会大会学術講演梗概集』9323，645－646 頁，1999 年）
- 曽我部昌史「10 月号月評」（『新建築』76．10，220 頁，2001 年）
- 村松貞次郎「近代主義建築は残せるか」（『新建築』69．2，125-126 頁，1994 年）
- 村松貞次郎「建築の生と死に関するノート」（『新建築』41．12，213－220 頁，1966 年）
- 村松貞次郎「心象に写す　―近代建築保存の原点―」（『新建築』54．5，155－158 頁，1979 年）

- 丹下健三研究室「立教大学図書館」(『新建築』36. 8, 13－23 頁, 1961 年)
- 中川武「記憶と創造が出会う場所」(『新建築』69. 2, 127-128 頁, 1994 年)
- 長谷川堯「ルポタージュ:歴史的空間の現在 1　ある蔦の這う工場の変身」(『新建築』49. 5, 267－270 頁, 1974 年)
- 長谷川堯「ルポタージュ:歴史的空間の現在 4　残すべきところと壊してもいい部分の判断について」(『新建築』49. 8, 279－282 頁, 1974 年)
- 長谷川堯「ルポタージュ:歴史的空間の現在6　長老たちの気迫と情熱を引き継ぐ者は」(『新建築』50. 5, 243－246 頁, 1975 年)
- 長谷川堯「建築的想像力の試される時　―過去へ切り込んでいった建築家たちの様々な苦闘のあとをめぐって―」(『新建築』58. 3, 144－152 頁, 1983 年)
- 長谷川堯「保存についてちかごろまた考えること」(『新建築』52. 10, 141－144 頁, 1977 年)
- 田中浩貴, 山田深, 佐々木夕介, 丸山友士「建築の増改築における[新]と[旧]の関係　―建築家の言説からみた増改築(1)―」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9315, 629－630 頁, 2004 年)
- 田中浩貴, 山田深, 佐々木夕介「建築の増改築における[新]と[旧]の要素　―建築家の言説からみた増改築(2)―」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9316, 631－632 頁, 2004 年)
- 田島則行「ワンルームという不動産ストックの再構築(リノベーション)」(『新建築』83. 2, 184-189 頁, 2008 年)
- 藤木隆男建築研究所「京王八王子山川クリニック」(『新建築』79. 4, 102-107 頁, 2004 年)
- 日本建築都市診断協会/田中雅美・岩本弘光・白江龍三・宮崎均「太田市立休泊小学校」(『新建築』74. 8, 156-163 頁, 1999 年)
- 馬場正尊「設計手法のオルタナティブ」(『新建築』81. 2, 176-181 頁, 2006 年)
- 鈴木博之『現代の建築保存論』(王国社, 2001 年)

既存建築を活用する設計手法に関する研究

坂牛研究室　05T3024F　加藤光

1.　序

昨今の建築の設計分野において、既存建築の活用は避けて通れないものとなっており、これまでにも欧米では既存建築を活用して多くの建築がつくられてきた[1)]。日本においても、既存建築を活用した建築作品は、昭和40年代末の高度経済成長末期から増加し始め、近年では、様々な試みがみられる。

そこで本研究は、建築の設計分野において、既存建築を活用する設計手法を捕捉することを目的とする。とりわけ本論では、既存建築と新設部分の関係を、通時的に把握・分析する。

2.　分析対象の選定

本論では、1925年(創刊年)から2008年まで刊行された建築雑誌『新建築』の記事83年分を分析対象とし、さらに既存建築の活用に関する言語が用いられている 568 件の建築作品・言説を取り上げた。ここでは、着目する言語種類を最初から限定せず、分析対象毎に発生する言語を随時抽出した。これにより、既存建築の活用に関する言語の変遷を明らかにする。

その結果、1925年初出の「改造」から2007年初出の「増改修」にかけて、53種類の言語の使用を確認することができた(表1)。それらの変遷(図1)においては、時間軸に沿って、1年間に使用される言語種類数(図1:折れ線)が増加しているといえる。また、それに伴い、1つの事例内に用いられる言語種類数(図1:棒)も増加していることから、既存建築の活用に関する言語の“多様化”と、事例内での“多用化”の傾向が存在すると考えられる。

さらに、次章からの分析に伴い、本章で選定した分析対象である568件の建築作品・言説を、既存建築と新設部分の状態が、写真・図・文章等から十分把握できる273件の建築作品に絞り込んだ。

3.　分析・考察　- 既存建築と新設部分の関係 -

3.1.　関係の類型化による考察

既存建築と新設部分の関係を把握するため、既存建築を活用した建築作品を、既存建築と新設部分にそれぞれ分け、それらの関係の類型化を行い、通時的に分析する。

以上の類型化により、14種類の類型を得た(表2)。

類型全体の通時的な傾向(図 2)をみると、時間軸に沿って類型の種類数が増加していることがわかる。それにより、既存建築の活用に関する言語と同様にして、既存建築と新設部分の関係も多様化していると考えられる。

通時的な傾向を類型毎にみると、既存の範囲内に新設を付加(a)と、別棟での新築・増築(c)は、歴史的に古くから存在しており、事例数も他の類型に比べ圧倒的に多いことがわかる。このことから、この2つの類型が、既存建築を活用する設計において頻繁に用いられている手法であり、近年においてもその傾向があるといえよう。さらに、その中でも類型(c)は、1980 年代の増加傾向が他の類型と比べ顕著である。それは、1981年の建築基準法施行令改正(新耐震基準)[2)]により、新設部分を既存建築とは分離させて設計する手法が多く用いられたことが要因であると考えられる。

表1　言語種類

言語種類　(初出年代)
改造　(1925)
増築　(1925)
改築　(1925)
改装　(1931)
復活　(1932)
ウムバウ　(1933)
増改築　(1941)
改修　(1950)
コンバイン　(1950)
再使用　(1952)
移築(移設)　(1952)
保護　(1956)
保存　(1956)
復元　(1957)
再用　(1959)
復原　(1964)
再生　(1966)
継承　(1966)
転用　(1967)
蘇生　(1967)
模様替え　(1970)
再利用　(1974)
再活用　(1974)
コンサーベーション　(1974)
外壁保存　(1974)
部分保存　(1975)
残存　(1975)
記録保存　(1976)
再築　(1977)
リサイクル　(1978)
記念碑的保存　(1978)
リノベーション　(1978)
記憶保存　(1983)
再現　(1983)
衣替え　(1984)
リニューアル　(1987)
現代的活用　(1988)
リコンストラクション　(1988)
リペアリング　(1988)
新生　(1989)
再構築　(1992)
リフレッシュ　(1993)
リファイン　(1999)
ストック　(1999)
コンバージョン　(2000)
リフォーム　(2000)
リユース　(2001)
再々生　(2003)
外観復元　(2003)
イメージ復元　(2004)
リデザイン　(2004)
減築　(2004)
増改修　(2007)

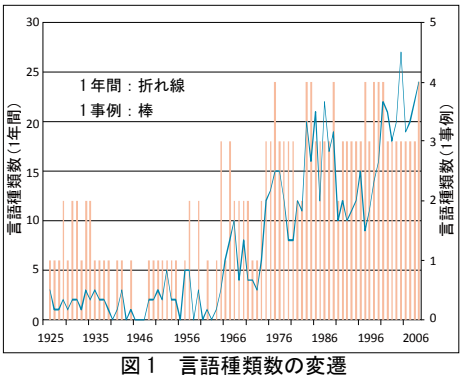
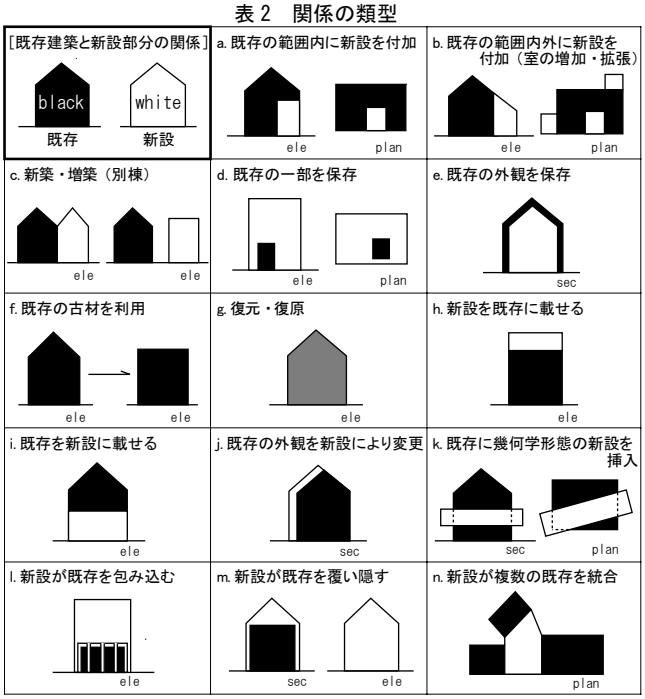


図1　言語種類数の変遷

表3　質料・かたちの組み合わせ[5),6),7)]

部位			質料・かたち						
			質料		かたち				
内部	外部	内部＋外部	材質感	色彩	装飾・ディティール	形態	様式	平面構成	立面構成
(1)	(2)	(3)	○						
	(4)			○					
	(5)		○	○					
(6)	(7)				○				
(8)	(9)					○			
(10)							○		
(11)								○	
	(12)								○
(13)		(14)			○		○		
(15)						○		○	
		(16)				○o		○i	
	(17)					○			○
	(18)				○	○	○		
		(19)				○io		○i	○o
	(20)※		○			○			
		(21)	○o					○i	
		(22)※	○io					○i	
		(23)	○o		○i				
		(24)※	○io		○o				
		(25)※	○i			○o		○i	
(26)			新設部分に既存建築を活用しない						
(27)			新設部分 なし						

表2　関係の類型



信州大学工学部社会開発工学科
建築コース

また、近年では、既存の外観を保存(e)、既存の外観を新設により変更(j)等、外観に着目して設計するものが多くなっていることから、既存建築を活用する設計において、外観は重要な要素を占めていると考えられる。

3.2. 関係の類型における質料・かたちによる考察

以上の類型化をふまえ、既存建築と新設部分の関係をより具体的に考察するため、新設部分に活用されている既存建築の質料・かたちを把握する[3)]。

そのために、先ず、質料・かたちと、それぞれの部位との組み合わせを得る。そこでは、部位を内部部位と外部部位に大別し、{床/壁/天井(梁)/柱}を内部部位、{外壁/屋根}を外部部位とする。また、質料・かたちについては、{材質感/色彩}を[質料]、{装飾・ディティール/形態/様式/平面構成/立面構成}を[かたち]とする[4)]。

その結果、新設部分に活用されている既存建築の質料・かたちにおいて、27 種類の組み合わせを得た(表 3)。

次に、得られた質料・かたちの組み合わせを、通時的に分析・考察する。なお、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちは、既存建築と新設部分の関係に付随したものであるため、その類型毎に把握する。さらに、多数の事例数を持ち、その通時的な傾向が顕著にあらわれている、類型(a)と類型(c)を対象として扱う。

類型(a)における質料・かたちの傾向(図 3)をみると、既存建築の[かたち]を新設部分に活用することが多く、2000 年代にはその傾向が顕著にあらわれている。さらに、類型(a)における主要な質料・かたちは[8)]、内部部位の材質感(1)、内部部位の平面構成(11)、内部部位の形態と平面構成(15)、新設部分に既存建築を活用しない(26)の 4 パターンであり、内部部位に新旧を組み合わせる手法が、類型(a)において頻繁に用いられている手法であることがわかる。また、近年急激に増加している、既存建築の[かたち]を新設部分に活用する手法において、平面構成の活用が含まれる手法(11)(15)が増加していることから、既存建築の構造躯体を中心に活用する、経済性重視の手法が増加したと考えられる。

類型(c)における質料・かたちの傾向(図 4)をみると、類型(a)の場合とは異なり、既存建築の[かたち]よりも、[質料]を新設部分に活用することが比較的多くなっている。さらに、類型(c)における主要な質料・かたちは、外部部位の材質感(2)、内部部位の平面構成(11)、新設部分に既存建築を活用しない(26)の 3 パターンであることがわかる。特に、新設部分に既存建築を活用しない(26)の手法は、最も頻繁に用いられており、類型(c)の関係で既存建築を活用する設計において、新設部分を既存建築とは断ち切って考え、設計する意識が高いと考えられる。

4. 結

以上、本論では既存建築を活用した建築作品において、先ず、既存建築と新設部分の関係の類型化を行った。さらに、その類型化をふまえ、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちを、通時的に把握・分析する作業を通じて、既存建築を活用する設計手法を捕捉するための、ひとつの方法を提示した。

その結果、既存建築と新設部分の関係を 14 種類に類型化することができた。さらに、その類型に付随する、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちについては、部位と対応させることにより、27 種類の組み合わせを得た。

そして、これらにより類別した建築作品を、年代毎に分析・考察し、既存建築を活用する設計手法が、各々の時代背景(景気変動・自然災害(地震)・法改正・時流等)と関連していることを把握した。

また、質料・かたちに着目して、既存建築と新設部分の関係を、類型毎に分析・考察し、それぞれの類型には、頻繁に用いられる設計手法が存在することを明らかにした。

ここで得られた知見は、既存建築を活用した建築作品の、過去から現在に至る設計手法を理解することにとどまらず、多様化する設計手法において、新たな“既存建築を活用する設計”を行う上での、創造的基礎となるものであると考える。

【注釈】1) 三田村哲哉「諸外国における建築コンバージョンの動向と特徴」(小林克弘, 三田村哲哉, 橘高義典, 鳥海基樹編著『世界のコンバージョン建築』鹿島出版会, 11-17 頁, 2008 年)/2) 地震被害に関する研究が進展し、1981 年(昭和 56 年)6 月 1 日の建築基準法施行令改正(新耐震基準)により、一次設計・二次設計の概念が導入された。/3) 坂牛卓『建築の規則 ―現代建築を創り・読み解く可能性―』(ナカニシヤ出版, 48-62 頁, 2008 年)〈4 章参照〉 建築は、〔物〕(=物体)と〔間〕(=空間)によって構成され、それら〔物〕と〔間〕には、構成部位のもつ性質である「質料」・「形式」と「関係性」という 3 つの可変項目が存在する。したがって、設計者が〔物〕と〔間〕を、それらの可変項目により操作することが、建築の設計であるといえる。そこで本論では、{「質料」・「形式」・「関係性」}を、{質料・かたち・関係}として用いる。/4) 田中浩貴, 山田深, 佐々木夕介「建築の増改築における[新]と[旧]の要素 ―建築家の言説からみた増改築(2)―」(『日本建築学会大会学術講演梗概集』9316, 631-632 頁, 2004 年) 田中らは、建築の増改築における既存部分の要素の内容を、{材質・色・装飾・様式・形態・構成材・構造・構成(立面・平面・空間)・機能}の 11 項目に分類した。したがって、本論では、以上の 11 項目を参考として、質料・かたちの 7 項目を設定する。/5) 本論により導いた、既存建築の質料・かたちの組み合わせは、( )内の番号が示す。それぞれの内容は、番号のある列が対象部位となり、同一行内の質料・かたちの項目が、新設部分に活用された既存建築の質料・かたちである。/6) ※:同一部位内で、質料・かたち双方において既存建築が活用されている場合、通常は、旧要素のみの既存建築として扱うため、新設部分の扱いにはならない。しかし、同一部位内でも、その詳細項目((20)外壁と屋根、(22)床・壁と柱、(24)(25)壁と柱)において部位が異なる場合は、新設部分としての扱いとなる。/7) i:内部部位と対応 o:外部部位と対応 i,o:内部・外部部位双方と対応 /8) 対象の類型における全事例数に対し、5%以下のものは、主要な質料・かたちに含まない。

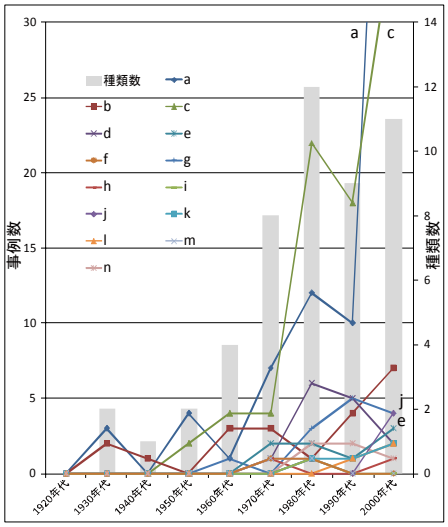


図 2 関係の類型

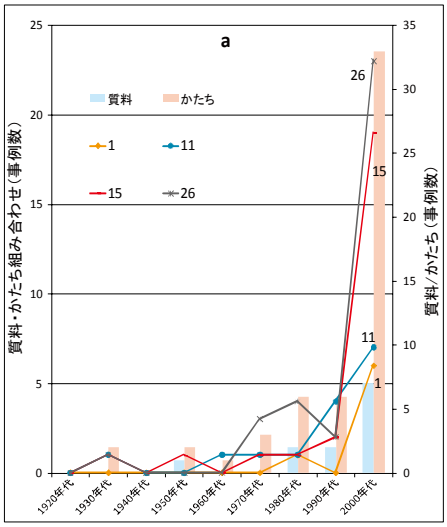


図 3 類型 (a) の質料・かたち

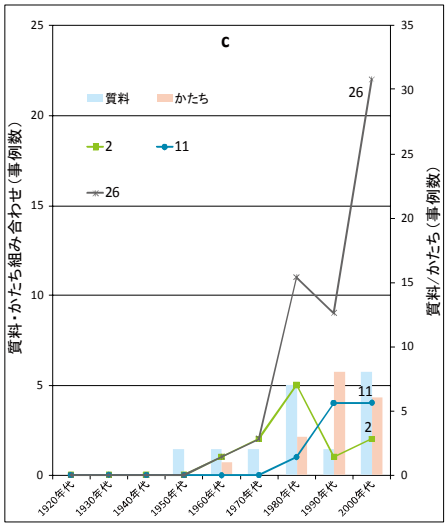


図 4 類型 (c) の質料・かたち

データシート

総合データ													
No.	年	巻	号	作品	言説	建築作品名／言説題目	設計者／著者	頁	用途変更の有無	旧用途	新用途	使用言語種類数	認識可or不可
1	1925	1			○	設計問答　書斎の増築に就て	新建築社相談部	49-50	—			1	
2	1925	1			○	大阪ビルディングを見たまま	池田谷久吉	8-11	—			1	
3	1925	1		○		可愛い御台所	—	17	×			1	×
4	1926	2		○		或る商店の設計	南信	22-23	×			1	×
5	1927	3		○		支那の一住宅	村田治郎	26-33	×			1	×
6	1928	4		○		吹田の生田氏邸	三越家具部	22-27	○	土蔵	住宅一部	2	×
7	1929	5			○	卒業計画（京都帝大本館改造案）大正十二年（1923	平松英彦	4	—			1	
8	1930	6		○		片岡鐵雄氏邸	三越家具部	45-52	×			2	×
9	1931	7		○		増築完成の白木屋を見る	石本喜久治	379-386	×			2	○
10	1932	8		○		服部時計店	渡邊仁建築事務所	238-242	×			1	×
11	1933	9		○		島田屋半ゑり小間物舗の改造	川喜田煉七郎	179-180	×			1	×
12	1933	9		○		銀座ハヤシ靴店の設計	宮崎光二郎	200-201	×			3	○
13	1933	9		○		改築された築地小劇場の建築	野呂英夫	218-221	×			1	○
14	1934	10		○		M邸家族室	Y.Taniguti	71-73	×			1	×
15	1934	10		○		ヤマトヤ洋品店の店内構成	川喜田煉七郎	229-232	×			2	×
16	1935	11		○		喫茶室・サヴォイア	T.Aisawa	155-157	○	家屋	喫茶室	1	×
17	1935	11		○		伊藤邸	Kameki Tsuchiura	198-203	×			2	×
18	1935	11		○		林邸の玄関とサロン	B.Yamaguti	226-227	×			1	×
19	1936	12		○		森永製菓　銀座売店	前川國男	58-61	○	カフェ	売店・喫茶室	1	×
20	1936	12		○		京都松竹座改装	Shirahase	66-67	×			1	×
21	1937	13		○		今井猛夫氏のアトリエ	今井猛夫	145-148	×			1	×
22	1937	13		○		大浦氏邸	池田総一郎	249-256	×			1	○
23	1937	13		○		三菱銀行本店増築	—	356	×			1	×
24	1937	13		○		東京拘置所	—	356	×			1	×
25	1938	14		○		Y邸増築	薬師寺厚	458-459	×			1	○
26	1940	16		○		N邸	大倉土木株式会社	64-68	×			1	○
27	1941	17		○		茶房「三茶」	小崎修	26-27	×			1	×
28	1941	17		○		長谷部・竹腰建築設計事務所	長谷部・竹腰建築設計事務所	—	○	医院	設計事務所	1	×
29	1941	17		○		M氏邸	アルヌルフ・ペツオルド　杉本勇雄	221-227	×			2	×
30	1943	19		○		本所病院ペスト病舎増築工事	東京市建築部	62-65	×			1	×
31	1943	19		○		大阪市立生活科学研究所増築工事	大阪市設計部	81-84	×			1	×
32	1948	23		○		東京植木株式会社関西支店	三座建築事務所	34-35	○	事務所	社屋	2	×
33	1949	24	10	○		崖上の改造住宅	前川國男建築設計事務所	6-11	×			1	×
34	1950	25	3	○		角地に建つ喫茶店	PAC	16-19	×			0	×
35	1950	25	6	○		S氏邸	三苫正光	17-19	×			2	×
36	1950	25	10	○		AIU賓客用ハウス	松本巍建築設計事務所	1-7	×			1	×
37	1951	26	3	○		法務庁庁舎	—	30	×			1	×
38	1951	27	5	○		改装された“ホテル・マルエイ”	村野・森建築事務所	1-7	○	百貨店	複合施設	1	×
39	1952	27		○		リーマン邸	鷲塚建築設計事務所	30-33	×			3	○
40	1952	27		○		梅花学園・体育館	三座建築事務所	40	×			2	○
41	1952	28		○		改修による銀行	前川國男	—	○	製菓ビル	銀行	1	×
42	1952	27		○		「完之荘」	早稲田大学施設部営繕課	26-33	×			1	○
43	1953	28	2	○		コンステレーション・バー	ブレドリック・ホッファー事務所	34-27	○	図書室	バー	1	×
44	1953	28	5	○		千草	今西デザインルーム	36-37	×			1	×
45	1953	28	8	○		デパートの改造ーそごう百貨店	村野・森建築設計事務所	32-37	×			1	○
46	1954	29	1	○		明星幼稚園	樋田力	—	×			1	×
47	1954	29	1	○		うなぎや：川松	遠藤建築設計事務所	24-25	×			1	×
48	1956	31	3	○		栃木会館	sibaoka isao	43-47	×			1	×
49	1956	31	8		○	韮山代官江川邸について	大河直躬	2-3	—			3	
50	1956	31	9		○	改造による新しい機能の獲得	久慈惇・遠藤勝勧	14-15	—			1	
51	1956	31	12	○		改造による幼稚園	菊竹清訓	22-23	○	研究所（タイヤ工場）	幼稚園	1	○
52	1956	31	12	○		名古屋市立第一幼稚園	名古屋市建設局建築部学校建築課	24-25	×			1	×
53	1957	32	3	○		M氏邸の増築	早大吉阪研究室	15-21	×			2	×
54	1957	32	6	○		城郭を改造した博物館（海外）	L..ベルジョヨーゾ	63-68	○	城郭	博物館	2	○
55	1957	32	10	○		キャノン・ショールーム（海外）	Sirof等・芦原義信協力	22-23	×			1	×
56	1957	32	12	○		そばや　紅梅庵	斎藤寅郎	—	○	住宅	そば屋	1	×
57	1959	34	3		○	京都御所内「小御所」の復元について	石川忠	4-12	—			2	
58	1959	34	7	○		原宿の家	前川國男建築設計事務所	55-60	×			1	×
59	1961	36	5	○		画家の家	東京工業大学清家研究室	—	×			1	×
60	1961	36	8	○		立教大学図書館	丹下健三研究室	13-23	×			0	○
61	1963	38	6	○		中野の家	末松設計事務所	182-184	×			1	○
62	1963	38	12	○		料亭新喜楽	吉田五十八	138-142	×			1	×
63	1964	39	10		○	AIA，帝国ホテル復原に協調を要望	—	101	—			3	
64	1965	40	3	○		料亭　川甚	中村登一建築研究所	135-141	×			2	×
65	1965	40	6	○		大阪駅前の改造はじまる	—	79	×			1	×
66	1965	40	6	○		草津大東館ホテル	田中建築事務所	87	×			1	×
67	1965	40	7	○		箱根の関所の復元	早大教授田辺泰	81	×			1	×
68	1965	40	8	○		つる家	吉田五十八	141-151	○	別荘	料亭	2	○
69	1965	40	12		○	史都計画批判	高口恭行・田端修	165-166	—			1	
70	1966	41	6	○		石塚産婦人科の増築	まさみ・さとう設計事務所	178-183	×			1	○
71	1966	41	10	○		新橋東口市街地改造ビル	佐藤武夫設計事務所	71	×			1	×
72	1966	41	11	○		大阪ガスビル	安井建築設計事務所	205-210	×			1	○
73	1966	41	12		○	建築の生と死に関するノート	—	213-220	—			7	
74	1967	42	3	○		武庫川学院・甲子園会館	竹中工務店	143-150	○	ホテル	学生寮・教室	3	○
75	1967	42	5		○	近代建築の保存への姿勢	近江栄	111-114	—			1	
76	1967	42	6	○		西阪神ビル	日建設計工務	212-215	○	貸事務所	ホテル	1	×
77	1967	42	9		○	帝国ホテル旧館第3次保存運動	沖種郎	109-112	—			3	
78	1967	42	12		○	帝国ホテルを考える	（多数）	246-250	—			2	
79	1968	43	5		○	三菱旧1号館の取り壊し	—	95	—			1	
80	1968	43	8		○	東京中央電信局取り壊し	—	103	—			1	
81	1968	43	10		○	再生する都市建築	新建築編集部	170-171	—			3	
82	1969	44	2		○	「明治洋風建築」保存リストまとまる	—	93	—			1	
83	1969	44	3	○		パイオニア広島ショールーム	鹿島建設設計部	93	○	古ビル	ショールーム	1	×
84	1969	44	4	○		ニュースカイホテル	志賀建設	97	×			1	×
85	1969	44	5		○	旧近衛師団庁舎取り壊しに意見書	—	107	—			1	
86	1969	44	5	○		コートハウスの増改築	坂倉準三建築研究所	206-212	×			2	○
87	1969	44	5	○		続・坪井教授の家	清家研究室＋坪井研究室	213-218	×			2	○
88	1969	44	8	○		再生した鎌倉近代美術館	坂倉準三建築研究所	185-188	×			4	○
89	1970	45	7	○		箕面観光ホテルの増築	坂倉建築研究所	93	×			1	×
90	1970	45	9	○		垂水市役所庁舎の改増築	衛藤建築設計事務所	103	×			3	×
91	1970	45	12	○		小西本社屋	竹中工務店	153-166	×			2	○
92	1971	46	1	○		東洋信託銀行大阪駅前支店	三座建築事務所	119	○	商店	銀行	1	○
93	1971	46	1	○		続　私の家	清家清＋デザインシステム	155-165	×			1	×
94	1971	46	4	○		井筒屋本店増改築	日建設計大阪事務所	121	×			2	×
95	1971	46	8	○		三越松山支店	横河建築設計事務所	121	×			1	×
96	1971	46	10	○		山王の家	デザインシステム	161-169	×			1	×
97	1972	47	2		○	保存と開発をめぐって	—	113	—			1	
98	1972	47	10		○	旧近衛師団司令部が近代美術館分館に	—	125	—			1	
99	1972	47	11	○		鶴屋百貨店本店	日建設計	135	×			2	×
100	1973	48	3	○		高輪プリンスホテル洋館改装	村野・森建築事務所	233-238	○	邸宅	宴会室	3	○
101	1973	48	7	○		O邸の改造	坂倉準三建築研究所大阪事務所	216-222	×			2	○
102	1973	48	8	○		水かがみの間　名古屋「河文」座敷	谷口吉郎	271-276	×			1	×
103	1973	48	11	○		松山市庁舎	石本建築事務所	151	×			1	×
104	1974	49	1	○		彫刻の森ホテル	鹿島建設	159	×			1	×
105	1974	49	4	○		広島グランドホテル新館	清水建設	251-256	×			1	○
106	1974	49	5		○	歴史的空間の現在1	長谷川堯	267-270	—			2	
107	1974	49	6		○	歴史的空間の現在2	長谷川堯	283-286	—			4	
108	1974	49	7	○		倉敷アイビースクエア	浦辺建築事務所	229-244	○	工場（倉敷紡績所）	複合商業施設	4	○
109	1974	49	7		○	歴史的空間の現在3	長谷川堯	295-298	—			2	
110	1974	49	8		○	歴史的空間の現在4	長谷川堯	279-282	—			7	
111	1974	49	10		○	中京郵便局「外壁保存」で改築	—	137	—			5	
112	1974	49	11	○		ヤマギワ・ライティング・ハウス	L..D.ヤマギワ研究所	243-248	○	幼稚園	ショールーム	4	○
113	1975	50	2		○	日銀大阪支店本館・永久保存に	—	111	—			2	
114	1975	50	2	○		東京芸大陳列館・45年ぶりに改装	—	109	×			3	×
115	1975	50	4	○		ホテル「嵐亭」	指宿真智雄	203-209	×			2	×
116	1975	50	4		○	歴史的空間の現在5	長谷川堯	239-242	—			3	
117	1975	50	5		○	居候の建築	木島安史	143-146	—			6	
118	1975	50	5	○		東京大学工学部六号館増築	香山アトリエ	147-158	×			4	○
119	1975	50	5	○		日本橋東海ビル	日建設計・東京	159-168	○	銀行	オフィスビル	1	○
120	1975	50	5	○		辻氏住宅改装	中島龍彦建築事務所	169-176	×			2	○
121	1975	50	5		○	歴史的空間の現在6	長谷川堯	243-246	—			8	
122	1975	50	11	○		倉敷中央病院第1期	浦辺建築事務所	159-176	×			5	○
123	1975	50	11		○	歴史的空間の現在10	長谷川堯	239-242	—			3	

124	1975	50	12		○	歴史的空間の現在11	長谷川堯	237-240	—			3	
125	1976	51	1		○	フランス	羽生修二	117	—			4	
126	1976	51	1	○		善光寺別院願王寺	AZ Institute　山崎泰孝	231-241	×			4	○
127	1976	51	2	○		五千尺旅館	村田政真建築設計事務所	97	×			3	×
128	1976	51	3		○	「東銀本店」顛末記	—	105	—			5	
129	1976	51	4	○		国際文化会館　増改築	前川國男建築設計事務所	235-238	×			5	×
130	1976	51	5		○	明治村「旧帝国ホテル」復元される	—	99	—			3	
131	1976	51	6	○		松尾神社	木島安史＋YAS都市研究所	177-183	×			1	○
132	1976	51	8		○	中京郵便局-旧京都郵便電信局の増改築	郵政省大臣官房建築設計課	99	×			6	
133	1976	51	9	○		もくせいのある家	アトリエ515A	231-236	×			4	○
134	1976	51	9	○		鎌倉の家	清家清＋デザインシステム	248-252	×			1	×
135	1977	52	2	○		歌舞伎座増築	木村建築設計事務所・砧建築総合研究所	99	×			1	×
136	1977	52	4	○		サウンド・シティ	鹿島建設	235-238	○	ボーリング場	レコーディングスタジオ	3	○
137	1977	52	6		○	同志社大学ハリス理科学館の保存工事終わる	—	104-105	×			2	
138	1977	52	6	○		ロンシャン本社ビル—改装	竹中工務店	176-178	×			1	×
139	1977	52	7	○		常陸宮邸	村野藤吾　宮内庁管理部	161-170	×			1	×
140	1977	52	8	○		農家の改造—笠幡の家	独楽蔵	276-279	×			3	○
141	1977	52	8	○		ある民家の再生	日本設計事務所大阪支社	281-284	×			9	○
142	1977	52	9	○		明治屋フードプラザ広尾	清水建設建築設計本部	91	○	配送センター	店舗	1	×
143	1977	52	10		○	保存について近頃また考えること	長谷川堯	141-144	—			6	
144	1977	52	11	○		岡山中央郵便局	郵政省大臣官房設計部	103	×			1	×
145	1978	53	1	○		工芸館に再生—旧近衛師団	谷口吉郎	108	○	庁舎	美術館工芸館	1	○
146	1978	53	1		○	リサイクリング時代の本格的な展開	村松貞次郎	109	—			6	
147	1978	53	5	○		熊本地方・簡易裁判所合同庁舎	最高裁判所事務総局経理局営繕課	112	×			2	×
148	1978	53	5	○		日本通運ビルディング　外装のリノベイション	日通不動産	113	×			3	×
149	1978	53	5	○		中京郵便局庁舎	郵政大臣官房建築部	171-179	×			7	○
150	1978	53	10		○	「山口県旧県議会議事堂」ー「資料館」で永久保存	—	113	—			2	
151	1978	53	12	○		福岡山の上ホテル	清水建設建築設計本部九州支店設計課	107	×			1	×
152	1979	54	1	○		新宿ステーションビル	鉄道会館設計事務所	109	×			2	×
153	1979	54	3	○		銀座ハタビルの改装	大成建設	97	×			2	×
154	1979	54	5		○	心象に写す　近代建築保存の原点	村松貞次郎	155-158	—			6	
155	1979	54	7	○		金沢市立図書館	谷口吉郎	147-159	×			3	○
156	1980	55	5		○	明治村　新たに3件が移築	—	124	—			1	
157	1980	55	9	○		上野松坂屋の改装	竹中工務店・鈴木エドワード建築設計事務所	126-127	×			3	×
158	1980	55	9		○	遠藤新の旧近藤邸-移築・保存に決まる	—	133	○	住宅	結婚相談所	2	
159	1980	55	9	○		山の上ホテル本館改修	アトリエ・アイ	229-238	×			4	×
160	1980	55	9		○	いま，保存の季節はめぐる	新建築社編集部	239-240	—			4	
161	1981	56	1	○		近代建築の再生・原美術館	原俊夫	112-113	○	住宅	美術館	3	×
162	1981	56	1	○		利賀山房	磯崎新アトリエ	178-188	○	住宅	劇場・舞台	1	○
163	1981	56	2	○		名古屋市公会堂・改修	戸田建設	108	×			3	×
164	1981	56	3	○		日本コロムビア録音スタジオ	清水建設	111	×			1	×
165	1981	56	5		○	日銀松山と三銀京都の改築計画の要望書	日本建築学会	126	—			2	
166	1981	56	6	○		番匠邸・増築	安藤忠雄建築研究所	165-170	×			1	○
167	1981	56	7	○		VIA・明治画廊	清水峰次　建築・環境研究室	111	○	事務所兼倉庫	ギャラリー	1	○
168	1981	56	7	○		新喜楽　竹の間	板垣元彬建築事務所	226-230	×			1	○
169	1981	56	9	○		横浜開港資料館	浦辺建築事務所	206-212	○	領事館	資料館	6	○
170	1981	56	10		○	兵庫県庁南庁舎が現地保存へ	—	104	—			5	
171	1982	57	2	○		三国町郷土資料館	品川建築事務所・神谷建築事務所	102-103	×			1	○
172	1982	57	2		○	よみがえった幻の名建築　港町みくに	—	104-105	—			3	
173	1982	57	3	○		角田山妙光寺客殿	東京工業大学茶屋研究室	208-213	×			1	×
174	1982	57	6	○		改修—北野らんぷ館	天藤建築設計事務所	221-224	×			2	×
175	1982	57	7	○		栃木県立美術館常設展示場	栃木県土木部建築課　川崎清＋環境建築研究所	193-200	×			1	○
176	1982	57	8		○	歴史を継承する新建築会館	—	125	—			3	
177	1982	57	8	○		札幌の家　自邸増築	上遠野建築事務所	163-173	×			1	○
178	1982	57	9	○		白鹿記念酒蔵博物館　白鹿記念館	大林組	179-180	○	酒蔵	博物館	3	○
179	1982	57	10		○	小樽市で小樽倉庫を買い上げ保存	—	114	—			1	
180	1982	57	12	○		川口金属工業事務棟	RE設計事務所	201-204	×			1	×
181	1983	58	1	○		ギャラリー上田　ウエアハウスギャラリー	DEN住宅研究室	108	○	倉庫	ギャラリー	2	×
182	1983	58	1	○		雅陶堂ギャラリー竹芝	インテルナ・ミラノ	109	○	倉庫	ギャラリー	1	×
183	1983	58	3		○	福岡県庁舎の保存をめぐって	大森久司	120-121	—			5	
184	1983	58	3		○	三井銀行京都支店の改築について	山崎正史	122	—			4	
185	1983	58	3		○	山形県旧県庁舎の保存と活用	本間利雄	123	—			1	
186	1983	58	3		○	旧豊多摩監獄の消滅	藤森照信	123	—			3	
187	1983	58	3		○	建築的想像力の試される時	長谷川堯	144-152	—			13	
188	1983	58	3	○		建築会館	秋元和雄設計事務所	153-162	×			2	○
189	1983	58	3	○		神戸市立博物館	神戸市住宅局営繕部　坂倉建築研究所大阪事務所	163-175	○	銀行	博物館	6	○
190	1983	58	3		○	神戸・博物館	太田隆信	176-178	—			5	
191	1983	58	3	○		群馬会館	群馬会館改修設計共同企業体	179-187	×			4	○
192	1983	58	3	○		慶応義塾図書館・旧館	槇総合計画事務所	188-199	×			5	○
193	1983	58	3	○		長瀬産業本社ビル	竹中工務店	202-211	×			4	○
194	1983	58	3	○		大谷大学本部・研究室棟	川崎清＋環境・建築研究所	212-219	×			5	○
195	1983	58	3	○		北大路高野団地集会場	川崎清＋環境・建築研究所	222-225	○	工場汽罐室	集会場	4	○
196	1983	58	3		○	イタリア人の都市再生	陣内秀信	226-227	—			3	
197	1983	58	3	○		姫路市立美術館	創設計事務所	228-232	○	市庁舎	美術館	6	○
198	1983	58	3	○		六甲パインモール	竹中工務店	233-238	○	紡績工場	インテリアマート	4	○
199	1983	58	3	○		如水会館	三菱地所	239-243	×			2	○
200	1983	58	3	○		大龍堂書店	吉村篤一　建築環境研究所	244-246	×			2	×
201	1983	58	3	○		長野の家	小野建築・環境計画事務所	251-258	×			5	○
202	1983	58	3	○		賀川豊彦記念松澤資料館・松澤幼稚園	阿部勉　アルテック建築研究所	259-264	○	教会堂	幼稚園	3	○
203	1983	58	4	○		加藤近代美術館	富樫耕一	88-89	○	商店	美術館	5	○
204	1983	58	4	○		鈴鹿電気通信学園体育館	日本電信電話公社建築部	238-244	○	格納庫	体育館	2	○
205	1983	58	6		○	南部町郵便局の改修工事終了	—	101	—			2	
206	1983	58	8	○		早稲田のゲストルーム	設計組織アモルフ	115	○	店舗	事務所兼応接室	3	×
207	1983	58	12	○		旧たくんち	倉本たつひこ建築計画室	189-193	○	住宅	事務所	2	○
208	1984	59	1	○		改造/建築家のオフィス	張清嶽	90	○	診療所	オフィス（設計事務所）	2	×
209	1984	59	1	○		旧倉敷市庁舎　美術館に　-近代建築も保存の時期	浦辺建築事務所	99	○	市庁舎	美術館	3	×
210	1984	59	2	○		袖ヶ浦町庁舎	榎本建築設計事務所	108	×			1	×
211	1984	59	2	○		御代田の家	小沢明建築研究室	255	×			3	○
212	1984	59	6	○		東京大学経済学部校舎増改築	香山アトリエ/環境造形研究所	215-221	×			7	○
213	1984	59	8	○		千石の増築	葛西秀一郎	212-217	×			1	○
214	1984	59	11		○	「ガス資料館」新装オープン	—	113	—			4	
215	1984	59	11	○		緑艸舎	宮本忠長建築設計事務所	245-254	○	民家	設計事務所	9	○
216	1985	60	1	○		京都三井ビルディング	久米建築事務所	88	○	銀行	オフィスビル	8	○
217	1985	60	2	○		イメージの継承　千松会館	戸所岩雄・計画工房	101	×			2	×
218	1985	60	3		○	ヨーロッパにおけるコンサーベーション	田原幸夫	124	—			3	
219	1985	60	4		○	「主婦の友社」外壁保存で建て替え	磯崎新アトリエ	116	—			3	
220	1985	60	5	○		ホテルレヴュー（海外）	鹿島建設	242-250	○	民家	ホテル	3	×
221	1985	60	5	○		コンサートホール　西の洞	Team　Zooアトリエモビル＋小林誠	279-284	○	家屋	コンサートホール	1	○
222	1985	60	6	○		バルブショップ	隈研吾＋TLヤマギワ研究所	116	×			1	×
223	1985	60	6	○		旧・高輪消防署の保存再利用	東京消防庁総務部施設課	122-123	×			5	×
224	1985	60	6	○		旧・兵庫県庁舎の現地保存・再利用	兵庫県都市住宅部営繕課・設備課	124-126	○	県庁舎	迎賓館・資料館	9	○
225	1985	60	7	○		コープビレッジ神泉	井上英夫建築設計事務所	114-115	○	小学校	大学セミナーハウ	2	×
226	1985	60	8	○		蒲江町立蒲江中学校特別教室棟	青木茂建築工房	214-217	×			1	○
227	1985	60	8	○		御堂筋又ービル	竹中工務店	104	○	教会館	事務所	2	○
228	1985	60	10	○		多田善昭の仕事場	多田善昭建築設計事務所	231-233	○	資材置き場（工務店	設計事務所	3	○
229	1985	60	11	○		川崎市立葬祭場	川崎市建築局　神谷・荘司計画設計事務所	221-226	×			2	×
230	1985	60	12	○		鳥羽グランドホテル増築	土岐新建築総合計画事務所	148-153	×			1	○
231	1985	60	12	○		すや—改造	白井晟一研究所・白井昱磨	185-190	×			4	×
232	1985	60	12	○		渋谷東急プラザ	浜野商品研究所	234-237	×			4	×
233	1986	61	1	○		東京ガス新宿総合展示場	石山修武＋ダムダン空間工作所	230-235	×			3	○
234	1986	61	3	○		イサムノグチアトリエ	イサムノグチ　山本忠司	185-192	○	民家・倉	アトリエ・展示場	3	○
235	1986	61	4	○		水月園一力「長生風呂」	羽深隆雄　栴工房設計事務所	258-261	×			2	×
236	1986	61	6	○		赤福本店五十鈴茶屋	竹中工務店	220-224	×			5	○
237	1986	61	10	○		熊本マリスト学園増改築	野中建築事務所	111	×			2	×
238	1986	61	10	○		脇町立図書館	神戸大学重村研究室　Team　Zooいるか設計集団	171-182	○	土蔵群	図書館	5	○
239	1986	61	12	○		スーパー梱包計画	山本理顕設計工場	240-241	×			2	×
240	1987	62	3	○		大同生命福岡支社旧社屋の移築再生保存	指宿真智雄	212-216	○	社屋	郷土物産館	9	○
241	1987	62	4	○		太平エンジニアリングビル新館	船越徹＋ARCOM	95	×			1	×
242	1987	62	4		○	ニューヨークにおけるアールデコ	青木茂	124	—			2	
243	1987	62	4		○	近代大名の館を再現する	早川正夫	250-252	—			7	
244	1987	62	5	○		旧東京音楽学校奏楽堂	文化財建造物保存技術協会	112	×			3	×
245	1987	62	5	○		日本火災横浜ビル	日建設計	113	×			2	×
246	1987	62	7	○		盈進学園東野高校	環境構造センター	118	×			2	×
247	1987	62	8	○		大日本製薬本社ビル増築	竹中工務店	127	×			1	×

248	1987	62	8	○		VILLA DEL SOL	志水正弘　林公子	226-229	○	個人図書館	ホテル	5	○
249	1987	62	9	○		福岡大同生命ビル	指宿真智雄・建築デザイン	223-228	×			6	○
250	1987	62	11	○		装冠の建築Ⅴ-DOREMI・fa	アルキービ建築・造形・計画事務所	237-240	×			1	○
251	1987	62	12	○		千葉英和高等学校	内井昭蔵建築設計事務所	163-168	×			3	○
252	1987	62	12	○		やまさと保育園（改装）	笠嶋建築工房	224-229	×			1	×
253	1987	62	12	○		サッポロビール開拓使麦酒記念館	大成建設	264-269	×			4	○
254	1988	63	1	○		お茶の水スクエアA館	磯崎新アトリエ	209-219	×			2	○
255	1988	63	2		○	古都倉敷の都市設計を織りなす大切な「横糸」	西和夫	244-247	—			5	
256	1988	63	6	○		平福記念館	大江宏建築事務所	289-294	×			2	×
257	1988	63	7	○		ベルリン日独センター（海外）	黒川記章建築都市設計事務所＋山口泰治	295-303	×			2	×
258	1988	63	8		○	洋風街並みの保全再生-函館の倉庫群	田村明	133	—			4	
259	1988	63	8	○		JR四国・駅舎改修工事	山本忠司建築総合研究室	135	×			1	×
260	1988	63	9		○	保存の現場から	村松貞次郎	141	—			3	
261	1988	63	9		○	〈保存と再生〉の新しい視座を求めて	石田繁之介	181-186	—			11	
262	1988	63	9	○		函館ウォーターフロント（函館ヒストリープラザ）	北海道岡田新一設計事務所	200-217	○	倉庫	商業施設	4	○
263	1988	63	10	○		インテリアランドスケープ3題	早川邦彦建築研究室	305-315	×			1	×
264	1988	63	11	○		金陵の郷	大成建設	149	○	酒蔵・工場	博物館・店舗	1	×
265	1989	64	2	○		京都府京都文化博物館	京都府土木建築部営繕課等	316-319	×			5	○
266	1989	64	4	○		東京大学御殿下記念館	芦原建築設計研究所	240-245	×			7	○
267	1989	64	6	○		日本火災横浜ビル	日建設計・東京	247-253	○	銀行	オフィスビル	7	○
268	1989	64	8		○	近代木造住宅の解体・移築・保存	内田祥士	183	—			4	
269	1989	64	8	○		エスカミューズ	若林広幸建築研究所	314-319	○	倉庫	商業施設	3	○
270	1989	64	10		○	銀行倶楽部と第一生命館	—	163	—			1	
271	1989	64	10	○		日本信託銀行本店	坂倉建築研究所東京事務所	197-208	×			3	○
272	1989	64	10	○		蘇生—塚ロステップナウ今西Ⅲ	木村博昭　KsArchitects	234-239	×			4	×
273	1989	64	12	○		アドバンテスト・ゲストハウス	佐々木宏建築研究室	152	○	ホテル	ゲストハウス	2	×
274	1989	64	12	○		セゾン美術館	アーキテクトファイブ　竹中工務店	294-298	○	百貨店一部	美術館	3	×
275	1989	64	12	○		玉川高島屋SC本館20周年リニューアル	彦坂裕　スペースインキュベータ	299-304	×			4	○
276	1990	65	2	○		伊丹市立工芸センター・美術館増築	伊丹市建設部建築課＋坂倉建築研究所大阪事務所	275-279	×			3	○
277	1990	65	2	○		有楽町一丁目ビル	清水建設一級建築士事務所　ケヴィンローチ等	284-288	×			2	×
278	1990	65	3	○		寛明堂写真館	ライブ設計室	163	×			3	×
279	1990	65	9	○		横浜指路教会	堀江悦男設計事務所	183	×			2	×
280	1990	65	9	○		盛田味の館	アートステージ	187	○	酒倉	店舗	1	×
281	1990	65	11	○		TERRADA　寺田倉庫本社改装	上田徹・玄綜合設計	331-333	×			1	×
282	1990	65	12	○		文房堂ビル	佐野建築研究所	175	×			3	○
283	1991	66	3		○	建築学会が同志社中・高等学校の保存を要望	—	199	—			1	
284	1991	66	3	○		孔子廟改修	葉デザイン事務所	276-277	×			1	×
285	1991	66	4	○		修善寺フォーラム渡月　1990	富永譲＋ファルムシステム研究所	249-258	×			6	○
286	1991	66	7	○		ホテル石松	青木茂建築工房	309-312	×			4	○
287	1991	66	10	○		日総リッツカールトン-サンフランシスコ	鹿島アソシエーツ	305-309	○	事務所	ホテル	3	○
288	1991	66	12	○		やませ蔵美術館	二宮設計事務所	169	○	蔵	美術館	2	×
289	1991	66	12	○		由布院駅舎	磯崎新アトリエ	231-233	×			1	×
290	1991	66	12	○		山口蓬春記念館	大江匡　プランテック	286-292	×			3	○
291	1991	66	12	○		新南座	杉山隆建築設計事務所	293-297	×			5	○
292	1991	66	12	○		キクカワ・テクノ・プラザ（ジョイガーデン・工場改修）	アーキドリーム+鈴木アーキテクツ	307-312	×			1	×
293	1992	67	1		○	竹中工務店が東京理科大学旧校舎を復元	—	163	—			1	
294	1992	67	1	○		目黒雅叙園	日建設計	312-319	×			6	○
295	1992	67	7	○		竹茂楼	杉山隆建築設計事務所	262-273	×			3	○
296	1992	67	7	○		田川市文化エリア	徳岡昌克建築設計事務所	319-325	×			2	×
297	1992	67	9	○		サッポロビール園ポプラ館	大成建設　久保勝彦	275-280	×			2	○
298	1993	68	2	○		大樋ギャラリー	大江匡　プランテック	251-255	×			1	×
299	1993	68	2	○		川越龜屋	大江匡　プランテック	251-259	×			4	○
300	1993	68	3	○		第四銀行本店	清水建設	272-276	○	事務棟	営業室棟	4	○
301	1993	68	11		○	旧法務省本館改修工事行われる	—	117	—			3	
302	1993	68	11	○		駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館・管制塔（改修）	芦原建築設計研究所	200-204	×			4	○
303	1993	68	11	○		あいく幼稚園ANNEX	岩本秀三設計事務所	250-255	×			1	○
304	1994	69	1	○		DNタワー21（第一・農中ビル）	清水建設一級建築士事務所　ケビン・ローチ等	207-212	×			7	○
305	1994	69	2		○	栃木県庁舎本館・自由学園明日館の保存要望書	—	102	—			1	
306	1994	69	2		○	近代主義建築は残せるか	村松貞次郎	125-126	—			2	
307	1994	69	2		○	記憶と創造が出会う場所	中川武	127-128	—			2	
308	1994	69	3	○		カトリック川越教会	中屋伸茂＋央建築設計事務所	105	×			3	×
309	1994	69	4	○		三越倉敷川館	浦辺設計	152-153	×			3	×
310	1994	69	4	○		大原美術館本館増築	浦辺設計	154-157	×			3	○
311	1994	69	4	○		宇部市渡辺翁記念会館改修	村野・森建築事務所	185-192	×			2	○
312	1994	69	8	○		日本理容美容専門学校	武市義雄＋REA建築工房	227-234	×			2	○
313	1994	69	9	○		中央合同庁舎第6号館赤レンガ棟	建設大臣官房官庁営繕部	98-99	○	司法省本館	法務省研究所・図書館	4	○
314	1994	69	9	○		ヤナコーグループ社屋	海老沢宏環境工房	101	○	民家（レストラン）	オフォス	2	○
315	1994	69	11		○	県立音楽堂の改修再生決定	—	89	○	音楽堂	芸術総合施設	2	
316	1994	69	11		○	近代建築はいかに生き残れるか	馬場璋造	111-114	—			3	
317	1995	70	2	○		佐倉市立美術館	坂倉建築研究所東京事務所大阪事務所	151-156	○	銀行	美術館	2	○
318	1995	70	4		○	「大分県立図書館」保存問題をめぐって	青木茂	96-98	—			3	
319	1995	70	4	○		千葉市美術館・中央区役所	大谷幸夫・大谷研究室	117-128	○	銀行	美術館・区役所	4	○
320	1995	70	4	○		野田市兵衛商店/BRIDGES	ワークショップ	222-226	×			2	○
321	1995	70	5		○	鎌倉市立御成小学校・JR軽井沢駅舎で保存活動展開	—	77	—			4	
322	1995	70	5	○		四季彩一力	羽深隆雄・栴工房設計事務所	237-241	×			3	×
323	1995	70	7	○		ホテルブレストンコート	東孝光＋東環境・建築研究所/東利恵	213-219	×			7	○
324	1995	70	8	○		在日アメリカ大使館大使公邸修復	RTKL	180-186	×			3	○
325	1995	70	11	○		善光寺外苑-西の門	アトリエ・メタモルフォーゼ　上松祐二研究室　北野建設	153-161	○	土蔵群	商業施設	3	○
326	1995	70	11	○		山梨学院大学大学院棟	高垣建築総合計画	256-262	×			4	×
327	1995	70	12	○		降星の甍　星田民家改造計画	新田正樹建築空間アトリエ	159-165	×			2	×
328	1996	71	1	○		DNタワー21（第一・農中ビル）	清水建設一級建築士事務所　ケビン・ローチ等	266-276	×			7	○
329	1996	71	5	○		酒蔵ホール	若竹・聖設計共同企業体	209-214	○	酒蔵	ホール	4	○
330	1996	71	6	○		東京都新宿区立西戸山小学校（内部改修）	東京都新宿区建築部営繕化課　藤木隆男建築研究所	232-237	×			3	○
331	1996	71	7	○		ミュージアムパーク　アルファビア	武田光史建築デザイン事務所	258-263	○	倉庫	美術館・ギャラリー・飲食	1	○
332	1997	72	2	○		蔵史館　金山町街並みづくり資料館	林寛治＋林哲也	191-197	○	土蔵	資料館	3	○
333	1997	72	4	○		ホテルブレストンコート（レストラン棟）	東孝光＋東環境・建築研究所/東利恵	227-229	×			3	○
334	1997	72	4	○		大阪松竹座	ユー・アソシエイツ	185-191	×			4	○
335	1997	72	5	○		スタジオKAZ	松島健建築設計事務所	238-244	○	工場	アトリエ	2	○
336	1997	72	5	○		金沢市民芸術村	水野一郎＋金沢計画研究所	150-155	○	倉庫	芸術複合施設	5	○
337	1997	72	5	○		大手町野村ビル	大成建設一級建築士事務所	137-145	×			3	○
338	1997	72	5		○	都市の継承	村松貞次郎	146-149	—			4	
339	1998	73	2	○		熊本県立天草工業高等学校	室伏次郎/スタジオ　アルテック＋SDA建築設計事務所共同体	101-111	×			4	×
340	1998	73	4	○		旧門司税関	大野秀敏＋アプル総合計画事務所	122-129	○	税関庁舎（倉庫）	文化施設	4	○
341	1998	73	5		○	旧第一銀行熊本支店を保存	石井清喜	57	—			1	
342	1998	73	6	○		海岸ビル	昭和「飛行機工業　竹中工務店	174-178	×			2	○
343	1998	73	6	○		酒ミュージアム　酒蔵館	大林組本店設計部	179-185	○	大蔵	ミュージアム	6	○
344	1998	73	6	○		旧神戸居留地十五番館	文化財建造物保存技術協会	186-191	○	ホテル	レストラン	3	○
345	1998	73	7	○		群馬県立近代美術館現代美術棟	磯崎新アトリエ　中森紫光建築工房	153-157	×			2	×
346	1998	73	7	○		アートプラザ　磯崎新記念館	磯崎新アトリエ　山本靖彦建築設計工房	158-169	○	図書館	ギャラリー	6	○
347	1998	73	7	○		早稲田大学會津八一記念博物館	早稲田大学古谷誠章研究室	170-175	○	図書館	博物館	4	×
348	1998	73	7	○		国立西洋美術館	建設省関東地方建設局営繕課　前川建築設計事務所	176-181	×			4	○
349	1999	74	3		○	旧毎日新聞社改修工事顛末記	若林広幸	58-59	—			3	
350	1999	74	6	○		神戸税関　本関	建設省近畿地方建設局営繕課　日建設計	74-81	○	税関庁舎	研修施設	3	○
351	1999	74	6	○		生き続ける近代建築　東京文化会館の大改修	前川建築設計事務所	91-95	×			3	×
352	1999	74	7	○		直島・家プロジェクト　南寺	安藤忠雄建築研究所	132-139	○	民家（南寺）	ギャラリー	2	×
353	1999	74	8	○		山田洋次邸アトリエ	横河健/横河建築設計事務所	138-143	×			2	×
354	1999	74	8	○		カルティエ銀座ビル	ジャン・ミッシェル・ヴィルモット	144-149	×			2	○
355	1999	74	8	○		宇目町役場庁舎	青木茂建築工房	150-155	○	研修宿泊施設	庁舎（事務所）	7	○
356	1999	74	8	○		太田市立休泊小学校	日本建築都市診断協会/田中雅美等	156-163	×			8	○
357	1999	74	12	○		鎌倉市立御成小学校	久米設計	170-177	×			4	○
358	2000	75	3		○	リノベーション/コンバージョン/ストック型建築へ	森島清太（KAJIMA　DESIGN）	230-235	—			8	
359	2000	75	6		○	新宿三井ビルディングリニューアル	村尾成文/日本設計	214-218	—			2	
360	2000	75	8	○		古い蔵の構造体を残し新しい建築をつくる	吉岡徳二デザイン研究所	122-127	○	米蔵	住宅	3	○
361	2000	75	9	○		FABRICA　ベネトン・アートスクール（海外）	安藤忠雄建築研究所	82-95	○	ヴィラ	アートスクール	5	○
362	2000	75	9	○		石の美術館	隈研吾建築都市設計事務所	137-145	○	石倉	展示空間	3	○
363	2000	75	9	○		日本免疫治療学研究会　瀬田クリニック	辰野武山設計事務所	230	○	アパート	クリニック	2	×
364	2000	75	10		○	首相はどこに住むか	鈴木博之	108-111	—			9	

365	2000	75	10	○		旧イタリア大使館夏季別荘改修	レーモンド設計事務所	113-119	○	別荘	公開活用(展示物)	2	○
366	2000	75	10	○		日光田母沢御用邸記念公園本邸の改修	栃木県土木部建築課	120-125	○	屋敷	公園施設	5	○
367	2000	75	10	○		東京大学工学部2号館	東京大学施設部　東京大学工学部建築計画室	127-135	×			4	○
368	2000	75	10	○		上京のデイケアセンター	河井事務所	136-143	○	住居・土蔵	住居・デイケアセンター	1	○
369	2000	75	10	○		みちのく風土館	阿部仁史アトリエ	144-151	○	米蔵	展示空間	2	○
370	2000	75	10	○		野津原町多世代交流プラザ	青木茂建築工房	156-161	○	母子センター	交流プラザ	2	○
371	2000	75	10		○	建築のリニューアルは今	清家剛	162-164	—			5	
372	2001	76	1	○		南岳山光明寺	安藤忠雄建築研究所	76-89	×			1	×
373	2001	76	2	○		ヴァレオ・ユニシア・トランスミッション	岡部憲明アーキテクチャーネットワーク	118-125	○	工場	オフィス	8	○
374	2001	76	2	○		津田梅子記念交流館	大成建設設計本部	126-133	○	チャペル	記念館	3	○
375	2001	76	2	○		葉山の別荘	建築設計SPEED STUDIO	134-137	○	カラオケ等	別荘	1	○
376	2001	76	3	○		白く塗れ　メゾン・マルタン・マルジェラの恵比寿のショップ	青木淳	154-157	○	民家	ショップ	3	○
377	2001	76	3	○		新風館	NTTファシリティーズ＋リチャードロジャースパートナーショップジャパン	204-209	○	電話局	商業施設	3	○
378	2001	76	4	○		浦安のクリニック	高橋堅建築設計事務所	112-115	×			1	×
379	2001	76	5	○		松屋銀座リニューアル1期	大成建設設計本部	212-215	×			2	○
380	2001	76	6		○	歴史的集合住宅の継承と再生	大月敏雄	47	—			3	
381	2001	76	7	○		光の学校	渡辺和生/惟建築計画	184-197	×			2	×
382	2001	76	7	○		桐蔭学園　メモリアルアカデミウム	栗生明＋栗生総合計画事務所	198-207	○	裁判所法廷	大学施設	3	○
383	2001	76	8	○		山口きらら博　集合館	日本設計九州支社	200-202	×			3	×
384	2001	76	8	○		山口きらら博　山口県館	窪田勝文/窪田建築アトリエ	203-207	×			2	×
385	2001	76	9	○		東京大学総合研究博物館小石川分館	東京大学キャンパス計画室＋工学部建築研究室	166-173	○	東京医学校	展示施設	3	○
386	2001	76	9	○		八女市多世代交流館「共生の森」	青木茂建築工房	174-179	○	老人福祉施設	交流センター	3	○
387	2001	76	10	○		直島・家プロジェクト 「ぎんざ」	内藤礼	88－93	○	民家	ギャラリー	0	×
388	2001	76	10	○		直島「スタンダート展」旧卓球場	木村優＋アートステーション	98－101	○	空家(卓球場)	ギャラリー	2	○
389	2001	76	10	○		衆議院議長公邸	内井昭蔵＋内井昭蔵建築設計事務所	208-215	×			4	×
390	2001	76	10		○	月評	曽我部昌史	220	—			8	
391	2001	76	11	○		再生したフランク・ロイド・ライトの空間 「自由学園明日館」	文化財建造物保存技術協会	222-227	×			6	○
392	2001	76	12	○		アルマーニ/テアトロ(海外)	安藤忠雄建築研究所	90-99	○	工場	劇場	4	○
393	2001	76	12	○		ウカイ　リゾート	森義純建築設計室	126-131	×			3	○
394	2002	77	1	○		逆シャッターのギャラリー　PAMB	坂茂建築設計	68-77	○	工場	ギャラリー	2	○
395	2002	77	1	○		アルテピアッツァ美唄	安田侃	78-89	○	小学校	ギャラリー	1	○
396	2002	77	1	○		fijikawa gallery/next	清水敏男	90-92	○	画廊	現代アートギャラリー	1	×
397	2002	77	1	○		ISSEY MIYAKE FROM 1st	ヤノベケンジ	94-95	×			2	×
398	2002	77	1		○	高齢化するニュータウンに不要になったもの，必要とされるもの	上野淳	96-99	—			3	
399	2002	77	2	○		東京国立近代美術館増改築	国土交通省関東地方整備局営繕課　坂倉建築研究所東京事務所	68-77	×			6	○
400	2002	77	2	○		茨城県立図書館	茨城県土木部営繕課　日建設計	78-87	○	議事堂	図書館	4	○
401	2002	77	2	○		東京ワンダーサイト	ライフスケープ研究所	88-95	○	事務所	ギャラリー	3	○
402	2002	77	3	○		M-premier　大丸心斎橋店	文田明仁デザインオフィス	166-169	×			1	×
403	2002	77	4	○		東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス増築	湯澤正信/湯澤建築設計研究所	106-113	×			1	○
404	2002	77	5	○		「旧第一銀行神戸支店」の外壁保存	大林組本店設計部	208	○	銀行	地下鉄駅舎出入り口	1	○
405	2002	77	6	○		横浜赤レンガ倉庫1号館・2号館	新居千秋都市建築設計	92-99	○	倉庫	商業施設	2	○
406	2002	77	6	○		立教大学第一食堂	立教大学管財部施設課　坂倉建築研究所東京事務所	101-107	×			5	○
407	2002	77	6	○		エルミタージュ・カレーム	小杉栄次郎＋内海彩/KUS	172-177	○	ガーデニングショップ	洋菓子店舗・ギャラリー	4	○
408	2002	77	6	○		延岡ホテル増築	小澤丈夫＋小澤エリコ/TEOarchitects	178-181	×			2	○
409	2002	77	6	○		ブリティッシュ・カウンシル東京センター	CDI青山スタジオ	182-185	×			1	×
410	2002	77	7	○		国立国会図書館　国際子ども図書館	安藤忠雄建築研究所＋日建設計	51-60	○	図書館	図書館・ギャラリー	8	○
411	2002	77	7	○		THE GATE	有馬裕之＋Urban Fourth	88-91	○	倉庫群	テナント・オフィス等	3	○
412	2002	77	11		○	オフィスのコンバージョン 「空」を「宝」にするために	松村秀一	156-158	—			6	
413	2002	77	12	○		大阪市中央公会堂	大阪市住宅局営繕部　坂倉・平田・青山・新日設共同企業体	90-99	×			5	○
414	2003	78	2	○		土佐山田の舎	山本恭弘/聖建築研究所	97-103	○	民家	ギャラリー	5	×
415	2003	78	2	○		奥備中風土記念館	丹波建築設計事務所	129-133	○	牛舎	展示資料館	4	○
416	2003	78	2	○		直島・家プロジェクト　護王神社	杉本博司	166-174	×			1	×
417	2003	78	3	○		コムデギャルソン大阪店	カワサキタカオオフィス	101-104	×			1	○
418	2003	78	3	○		長養館	志水正弘＋林公子/名城大学環境創造学科	122-127	×			1	×
419	2003	78	3	○		表参道テラスハウス	堀部安嗣建築設計事務所	128-132	×			4	○
420	2003	78	3	○		ピカデリー公園	安藤忠雄建築研究所	166-170	×			4	×
421	2003	78	3		○	アメリカ，リノベーションの文化	小笠原正豊	200-201	—			4	
422	2003	78	4	○		旧新橋停車場復元駅舎	日本設計・JR東日本建築設計事務所	106-107	×			4	○
423	2003	78	4	○		目黒区総合庁舎	安井建築設計事務所	137-142	○	本社ビル	区庁舎	1	×
424	2003	78	5	○		MARUTAKI	丸山洋志/丸山アトリエ　池田昌弘/池田昌弘建築研究所	123-127	×			2	×
425	2003	78	5	○		コウチマーケット	長尾亜子＋大成優子	162-163	×			1	×
426	2003	78	5	○		日本工業倶楽部会館・三菱信託銀行本社ビル	三菱地所設計	186-195	×			4	○
427	2003	78	6	○		武蔵工業大学　SAKURA CENTER＃14	岩崎堅一・武蔵工業大学岩崎研究室	72-83	○	体育館	複合施設(食堂等)	5	○
428	2003	78	7	○		華鐵	kt一級建築士事務所	191-194	○	パーキングビル1F	店舗(花屋)	1	×
429	2003	78	9	○		安曇野高橋節郎記念美術館	宮崎浩/プランツアソシエイツ	90-96	○	古民家群	美術館	3	○
430	2003	78	9	○		JR渋谷駅改修計画	隈研吾建築都市設計事務所　jr東日本東京支社建築課　jre設計	105-107	×			1	×
431	2003	78	11	○		玉川高島屋SC新南館	大江匡/プランテック総合計画事務所＋松田平田設計	108-117	×			3	○
432	2003	78	11	○		汐留インフィルプロジェクト	小嶋一浩＋赤松佳珠子/C+A	170-177	×			0	○
433	2003	78	11	○		名水市場　湧太郎	青島裕之建築設計室	206	○	酒蔵	商業施設	3	○
434	2003	78	12		○	再生こそが生	東孝光	19	—			3	
435	2003	78	12	○		笹田学園田町校舎	山田幸司建築都市研究所	169-173	○	オフィスビル	学校	3	○
436	2003	78	12	○		cMA-1(元麻布コンバージョンプロジェクト)	池田靖史＋國分昭子/IKDS	174-177	○	写真スタジオ	集合住宅	5	○
437	2003	78	12	○		相田みつを美術館	入江経一＋PowerUnitStudio	178-181	○	生涯学習センター	美術館	1	×
438	2004	79	1	○		横浜税関本関	香山・アプル設計共同体	92-99	×			7	○
439	2004	79	1	○		上下町歴史文化資料館	斎藤正＋近畿大学工学部建築学科澤登研究室・穀工房	136-141	○	住宅	資料館	9	○
440	2004	79	2		○	都市空間をコンバートする	佐藤考一	34-41	—			6	
441	2004	79	2	○		ギャラリー門馬アネックス	アカサカシンイチロウアトリエ	178-181	○	住宅(物置)	ギャラリー	2	○
442	2004	79	4	○		京王八王子山川クリニック	藤木隆男建築研究所	102-107	○	パチンコ	病院	2	○
443	2004	79	5		○	いま建築家は何をデザインするのか 「ハコ」から「こと」へ	野城智也	53-57	—			3	
444	2004	79	5	○		横浜アイランドタワー	都市基盤整備公団　槇総合計画事務所	120-125	○	銀行	オフィスビル(ホール)	6	○
445	2004	79	6	○		八女市立福島中学校屋内運動場	青木茂建築工房	133-138	×			3	○
446	2004	79	6		○	バージョンアップするリファイン建築	青木茂	139-141	—			3	
447	2004	79	6	○		京都大学百周年時計台記念館	川崎清＋環境・建築研究所　京都大学施設・環境部	142-149	○	事務棟(本部)	記念館(資料館等)	6	○
448	2004	79	6		○	Lattice　青山　評	新堀学	218-219	○	オフィスビル	集合住宅	4	
449	2004	79	8		○	歴史的建築物の保存再生を考える	大田道広	25	—			6	
450	2004	79	8	○		屋上のランドスケープ	原田真宏＋原田麻魚　mount fuji architects studio	96-101	×			2	○
451	2004	79	9		○	リノベーション・プロジェクトから街の活性化を	森司	46	—			2	
452	2004	79	9	○		セントラルビル	日埜直彦	47	○	アパート	ギャラリー	4	×
453	2004	79	9	○		大和製薬	青木淳建築計画事務所	48	○	社屋	アート作品	1	×
454	2004	79	9	○		植物の家	アトリエ・ワン	49	○	住宅	アート作品	2	×
455	2004	79	9		○	保存と都市再生	後藤治	57-61	—			4	
456	2004	79	9	○		金刀比羅宮プロジェクト	鈴木了二建築計画事務所	83-98	×			3	×
457	2004	79	9	○		ベネッセアートサイト直島オフィス	西沢立衛建築設計事務所	118-124	○	スーパーマーケット	オフィス・ギャラリー	3	○
458	2004	79	9	○		G	青木淳建築計画事務所	139-147	×			3	○
459	2004	79	9	○		NMNL	青木淳建築計画事務所	147-149	×			2	○
460	2004	79	10	○		明治安田生命ビル	三菱地所設計	71-82	×			4	○
461	2004	79	11		○	再発見とリデザインから地方都市の再生を	小津誠一	37	—			4	
462	2004	79	11	○		交詢ビルディング	清水建設	87-95	×			4	○
463	2004	79	11	○		早稲田大学本庄ドミトリー改修プロジェクト	山下設計	152-157	×			1	○
464	2004	79	11	○		帝京大学八王子キャンパス　学生ラウンジ	城戸崎建築研究室	158-162	×			1	○
465	2004	79	12		○	再び「ものからの反撃」の時代へ	小林正美	35	—			4	
466	2004	79	12	○		ディオール銀座	乾久美子建築設計事務所	144-149	×			1	×
467	2004	79	12	○		松屋銀座　耐震外装	大成建設	150-153	×			1	○
468	2005	80	1		○	文化財の保存と修理	内田祥哉	17	—			1	
469	2005	80	1	○		ゼンカイハウス	宮本佳明/アトリエ第5建築界	157	×			1	○
470	2005	80	2	○		Y-House	Frank la Riviere,Architect	135-141	×			3	○
471	2005	80	2	○		フィズ	SUPER-OS	150-153	×			2	×

472	2005	80	2	○		1227号室	納谷学＋納谷新/納谷建築設計事務所	158-161	×			1	○
473	2005	80	2	○		404号室	納谷学＋納谷新/納谷建築設計事務所	162-164	×			1	×
474	2005	80	2		○	renovation style	納谷学＋納谷新	165-168	—			2	
475	2005	80	3	○		NTT青山ビル改修	隈研吾建築都市設計事務所	86-91	○	オフィスビル（一部）	店舗	2	×
476	2005	80	3	○		COCON KARASUMA	隈研吾建築都市設計事務所	92-99	○	社屋	オフィス・商業施設	3	○
477	2005	80	3	○		白いおもちゃ箱	今永和利/今永環境計画	172-175	×			2	○
478	2005	80	3	○		香港沙田競技場パレードリング改築計画	松田平田設計	194-199	×			2	×
479	2005	80	6	○		quaranta1966	竹中工務店＋日本建設	130-134	○	オフィスビル	集合住宅	3	○
480	2005	80	6	○		IPSE都立大学	青木茂建築工房	140-145	○	オフィスビル	集合住宅	4	○
481	2005	80	7	○		萬來舎継承空間	隈研吾建築都市設計事務所	119-124	×			4	×
482	2005	80	7	○		千葉市立打瀬小学校増築棟	千葉市都市整備公社　小嶋一浩＋赤松佳珠子/Ca	135-138	×			1	×
483	2005	80	7	○		大阪証券取引所ビル	三菱地所設計・日建設計　設計監理共同体	175-181	×			7	○
484	2005	80	8	○		r-ST1（松涛リノベーションプロジェクト201/103	長岡勉＋土屋徹/point＋福津宣人	178-181	×			2	○
485	2005	80	8	○		パシフィックレジデンス芝浦	長岡勉＋土屋徹/point＋松井亮/松井亮建築都市設計事務所	182-185	×			3	○
486	2005	80	9		○	新たなニューヨーク近代美術館(MoMA)へ	谷口吉生	82-83	—			4	
487	2005	80	9	○		月影の郷	NASA設計共同体他	168-171	○	小学校	宿泊体験交流施設	8	○
488	2005	80	10	○		民家再生計画	三分一博志＋土井一秀＋呉高専　富田研究室	145-151	×			4	○
489	2005	80	10	○		三重県立美術館	三重県総務局営繕課　坂倉建築研究所	154-161	×			3	○
490	2005	80	10	○		小金井カントリー倶楽部クラブハウス	日本設計　山下設計	162-167	×			4	○
491	2005	80	10	○		旧富士銀行横浜支店　映像文化施設	横浜市まちづくり調整局　槇総合計画事務所	168-173	○	銀行	映像文化施設（大学）	3	○
492	2005	80	10	○		「ルネスホール」旧日銀岡山支店改修	佐藤建築事務所/岡山県設計技術センター	174-180	○	銀行	芸術文化施設	4	○
493	2005	80	10	○		金山町街並み交流サロン・ぽすと	林寛治	181-186	○	郵便局	休憩サロン	3	○
494	2005	80	12	○		ブリラーレ	クラインダイサムアーキテクツ	156-161	×			2	○
495	2005	80	12	○		FURLA青山本店	杉千春＋高橋真奈美/プラネットワークス	164-169	×			3	×
496	2005	80	12	○		ルシェルブルー神戸	内山敬子＋学	170-177	×			1	×
497	2005	80	12	○		佐伯市蒲江　海の資料館「時間の船」	青木茂建築工房	184-190	○	小学校体育館	資料館	2	○
498	2006	81	1	○		ロックフィールド神戸ヘッドオフィス/神戸ファクトリー	安藤忠雄建築研究所	100-109	○	倉庫	食品工場	4	○
499	2006	81	1	○		日本橋三井タワー	シーザー・ペリアンドアソシエーツジャパン	126-139	×			3	○
500	2006	81	1	○		ホワイトルーフ	渡部和生/惟建築計画	156-161	×			1	○
501	2006	81	2	○		アーバンBLD心斎橋	プランテック総合計画事務所	93-98	×			2	○
502	2006	81	2	○		井の頭の住宅	トラフ建築設計事務所/鈴野浩一＋禿真哉	159-163	×			2	○
503	2006	81	2	○		松原ハウス	菊池宏建築設計事務所	170-175	○	住宅（一戸建て）	賃貸（二世帯）	2	○
504	2006	81	2		○	設計手法のオルタナティブ	馬場正尊	176-181	—			5	
505	2006	81	3	○		cycle－かしのき保育園園庭改修プロジェクト	石原健也＋千葉工業大学石原研究室	184-187	×			2	×
506	2006	81	5	○		明治生命館改修	竹中工務店	188-201	○	社屋	テナントオフィスビル	2	○
507	2006	81	7	○		武蔵野陽和会病院	渡部和生/惟建築計画＋副島建築設計事務所	134-139	×			2	×
508	2006	81	7	○		東京工業大学緑が丘1号館レトロフィット	東京工業大学安田幸一研究室＋竹内徹研究室	140-146	×			1	○
509	2006	81	8	○		求同学舎リノベーション	近角建築設計事務所　集工舎建築都市デザイン研究所	154-161	○	学生寮	集合住宅	4	○
510	2006	81	9	○		PALAZZO GRASSI（海外）	安藤忠雄建築研究所	94－101	○	邸館	美術館	5	○
511	2006	81	9	○		TEATRINO（海外）	安藤忠雄建築研究所	102-103	×			3	×
512	2006	81	9	○		リバーリトリート雅樂倶ANNEX	内藤廣建築設計事務所	128-137	×			1	×
513	2006	81	9	○		銀山温泉　藤屋	隈研吾建築都市設計事務所	138-149	×			4	○
514	2006	81	9	○		国際文化会館本館保存再生	三菱地所設計	198-203	×			6	○
515	2006	81	9		○	これまでの50年　これからの50年	鰺坂徹　小池秋彦（三菱地所設計）	204-207	—			6	
516	2006	81	10	○		味の素グループ高輪研修センター	久米設計	128-135	○	家屋	研修センター	4	○
517	2006	81	10	○		南洋堂ルーフラウンジ	プロスペクター（今村創平　南泰裕　山本想太郎）	196-199	×			1	×
518	2006	81	11	○		ツォルフェライン炭坑跡リノベーション	OMA	94－97	○	炭坑跡施設	ミュージアム	5	×
519	2006	81	12	○		YKK50ビル　リノベーション2006	宮崎浩/プランツアソシエイツ	106-113	×			5	○
520	2007	82	2		○	建て替えと再生の狭間で	田村誠邦	37－41	—			6	
521	2007	82	2	○		笹塚の集合住宅	みかんぐみ	106-111	×			3	○
522	2007	82	4		○	「三菱一号館」が美術館として展開	—	21	○	社屋	美術館	3	
523	2007	82	5		○	近代建築遺産は地方都市再生の核となるか	内田文雄	21	—			2	
524	2007	82	5	○		東京大学工学部2号館	東京大学工学部建築計画室（岸田省吾）＋キャンパス計画室・施設部	172-179	×			3	○
525	2007	82	6	○		THE NATURAL SHOE STORE オフィス	OpenA	132-139	○	倉庫	オフィス	1	○
526	2007	82	7		○	国際的な交流を生みだす文化遺産の保存活動	入江正之	24-29	—			2	
527	2007	82	7	○		稲田病院　産婦人科棟	松村デザイン事務所	182-189	×			1	○
528	2007	82	8		○	東京中央郵便局の保存・活用を検討	—	18	—			1	
529	2007	82	8	○		Villa Vista	飯田善彦建築工房	98－105	○	社宅	賃貸住宅	7	○
530	2007	82	9		○	「東京中央郵便局」再開発をめぐって	—	16	—			1	
531	2007	82	9		○	「大阪新歌舞伎座」「新ダイビル」の保存を要請	—	16	—			1	
532	2007	82	9		○	日本建築学会が建造物の評価と保存活用ガイドライン配布開始	—	16	—			2	
533	2007	82	9	○		太郎吉蔵	中村好文	114-119	○	石造倉庫（蔵）	ギャラリー	2	○
534	2007	82	10		○	使いながら保存することの意味	渡邉研司	23	—			3	
535	2007	82	10	○		食事処「雲の庭」	富永譲＋ファルムシステム研究所	116-125	×			1	○
536	2007	82	10	○		大阪芸術大学	坂倉建築研究所	174-183	×			3	○
537	2007	82	10	○		追手門学院大学　中央棟・6号館　守衛所	三菱地所設計	196-205	×			2	○
538	2007	82	11		○	安藤忠雄氏がヴェネチアで現代美術館を手掛ける	—	18	—			2	
539	2007	82	11		○	現代における保存の論理	松葉一清	63－69	—			5	
540	2007	82	11	○		サントリーホール20周年改修	安井建築設計事務所	176-181	×			4	○
541	2007	82	11	○		大隈講堂	佐藤総合計画	182-191	×			5	○
542	2007	82	11	○		国立科学博物館本館改修	香山壽夫建築研究所	192-201	×			6	○
543	2007	82	11	○		妻有田中文夫文庫	山本想太郎アトリエ	202-207	○	地域公民館	地域文庫	2	×
544	2007	82	12	○		YIEN　EAST	隈研吾建築都市設計事務所	110-121	×			4	○
545	2007	82	12	○		ドメイヌ・ドゥ・ミクニ（「旧飯箸邸」の再生）	坂倉アトリエ	174-181	○	住宅	レストラン	3	○
546	2007	82	12	○		霞が関コモンゲート・中央合同庁舎第7号館	久米設計・大成建設・新日鉄エンジニアリング設計共同企業体	192-201	×			8	○
547	2007	82	12		○	霞が関ビルディング低層部改修計画	日本設計	209-211	—			2	
548	2008	83	2		○	モノが語る20世紀の構想力2　モシェ・サフディのハビタ'67	松村秀一	58-63	—			4	
549	2008	83	2		○	ワンルームという不動産ストックの再構築（リノベーション）	田島則行	184-189	—			7	
550	2008	83	3	○		RENGO DMS	中田千彦＋戒居連太/連合建築社市谷建築事務所	132-139	×			4	○
551	2008	83	3	○		箔座ひかり藏	水野一郎＋金沢計画研究所	140-145	×			4	○
552	2008	83	4		○	21世紀アジアの循環型都市へ	原田鎮郎	142-147	—			4	
553	2008	83	5	○		犬島アートプロジェクト「精錬所」	三分一博志建築設計事務所	72-89	○	産業遺産（精錬所）	ミュージアム	2	○
554	2008	83	5	○		yohji yamamoto New York gansevoort street store	石上純也建築設計事務所	152-165	○	平屋	店舗	4	○
555	2008	83	6	○		白の家・移築	白澤宏規　澤田建築研究所	111-124	×			4	○
556	2008	83	6	○		東京未来大学	圓山彬雄/アーブ建築研究所	176-181	○	中学校	大学	6	○
557	2008	83	7	○		名古屋大学豊田講堂改修	槇総合計画事務所	110-123	×			6	○
558	2008	83	8		○	都市のコンバージョン	馬場正尊	170-173	—			8	
559	2008	83	8	○		HUNDRED CIRCUS East Tower	日建設計	174-181	○	シティホテル	複合施設	5	○
560	2008	83	8	○		SAYAMA FLAT	長坂常/スキーマ建築計画	182-186	○	社宅	賃貸マンション	4	○
561	2008	83	8	○		C.U.I	ナフ・アーキテクト＆デザイン/中佐昭夫＋田中知博	187-191	○	社宅	賃貸マンション	4	○
562	2008	83	9	○		ハラ　ミュージアム　アーク増築	磯崎新アトリエ＋KAJIMA DESIGN	58-71	×			2	○
563	2008	83	9	○		実験装置/masia 2008	入江正之＋早稲田大学入江正之	82-91	○	民家	研究所（実験装置）	6	○
564	2008	83	9	○		TARO NASU	青木淳建築計画事務所	146-152	○	倉庫・作業室	ギャラリー	2	○
565	2008	83	9	○		文化学院	坂倉建築研究所	172-179	×			3	○
566	2008	83	10	○		VEGA	小泉誠	148-155	○	納屋	アートスペース	1	○
567	2008	83	11	○		マンハッタンのペントハウスⅡ（海外）	安藤忠雄建築研究所	56-63	○	オフィスビル	ペントハウス	1	○
568	2008	83	12	○		下鴨泉川亭	山本良介アトリエ	156-165	○	屋敷	迎賓館	4	○

総合データ						新設部分に活用された既存建築の質料・かたちと対応部位（※1,※2）														関係の類型	質料・かたちの組み合わせ
						質料				かたち											
No.	年	巻	号	建築作品名／言説題目	設計者／著者	材質感		色彩		装飾・ディティール		形態		様式		平面構成		立面構成		既存建築を活用しない	新設部分無		
228	1985	60	10	多田善昭の仕事場	多田善昭建築設計事務所	○	K															a	1
385	2001	76	9	東京大学総合研究博物館小石川分館	東京大学キャンパス計画室＋工学部建築研究室	○	K															a	1
435	2003	78	12	笹田学園田町校舎	山田幸司建築都市研究所	△	K,T															a	1
447	2004	79	6	京都大学百周年時計台記念館	川崎清＋環境・建築研究所　京都大学施設・環境部	○	Y,T															a	1
509	2006	81	8	求同学舎リノベーション	近角建築設計事務所　集工舎建築都市デザイン研究所	○	K,T															a	1
553	2008	83	5	犬島アートプロジェクト「精錬所」	三分一博志建築設計事務所	○	Y,K															a	1
566	2008	83	10	VEGA	小泉誠	△	Y,K															a	1
51	1956	31	12	改造による幼稚園	菊竹清訓	○	G															a	2
336	1997	72	5	金沢市民芸術村	水野一郎＋金沢計画研究所	○	G															a	2
197	1983	58	3	姫路市立美術館	創設計事務所	△	G,Y															a	3
346	1998	73	7	アートプラザ　磯崎新記念館	磯崎新アトリエ　山本靖彦建築設計工房	○	K,G															a	3
554	2008	83	5	yohji yamamoto New York gansevoort street store	石上純也建築設計事務所	○	K,G															a	3
360	2000	75	8	古い蔵の構造体を残し新しい建築をつくる	吉岡徳ニデザイン研究所							○	R									a	9
497	2005	80	12	佐伯市蒲江　海の資料館「時間の船」	青木茂建築工房							○	R									a	9
168	1981	56	7	新喜楽　竹の間	板垣元彬建築事務所									○	Y,K,.T,H							a	10
13	1933	9		改築された築地小劇場の建築	野呂英夫											△	K					a	11
88	1969	44	8	再生した鎌倉近代美術館	坂倉準三建築研究所											○						a	11
120	1975	50	5	辻氏住宅改装	中島龍彦建築事務所											○	K					a	11
191	1983	58	3	群馬会館	群馬会館改修設計共同企業体											○	H					a	11
290	1991	66	12	山口蓬春記念館	大江匡　プランテック											△	H					a	11
330	1996	71	6	東京都新宿区立西戸山小学校（内部改修）	東京都新宿区建築部営繕化課　藤木隆男建築研究所											○	H					a	11
333	1997	72	4	ホテルブレストンコート（レストラン棟）	東孝光＋東環境・建築研究所/東利恵											○	H					a	11
354	1999	74	8	カルティエ銀座ビル	ジャン・ミッシェル・ヴィルモット											○	K,H					a	11
367	2000	75	10	東京大学工学部2号館	東京大学施設部　東京大学工学部建築計画室											○	H					a	11
375	2001	76	2	葉山の別荘	建築設計SPEED STUDIO											△	H					a	11
436	2003	78	12	cMA-1（元麻布コンバージョンプロジェクト）	池田靖史＋國分昭子/IKDS											△	K					a	11
442	2004	79	4	京王八王子山川クリニック	藤木隆男建築研究所											○	K,H					a	11
463	2004	79	11	早稲田大学本庄ドミトリー改修プロジェクト	山下設計											○	K,H					a	11
503	2006	81	2	松原ハウス	菊池宏建築設計事務所											△	K					a	11
506	2006	81	5	明治生命館改修	竹中工務店											○	K,H					a	11
262	1988	63	9	函館ウォーターフロント（函館ヒストリープラザ）	北海道岡田新一設計事務所													○	R			a	12
9	1931	7		増築完成の白木屋を見る	石本喜久治							○	Y,K,T,H			○	Y,K,T,H					a	15
45	1953	28	8	デパートの改造－そごう百貨店	村野・森建築設計事務所							○	H			○	H					a	15
136	1977	52	4	サウンド・シティ	鹿島建設							○	H			○	H					a	15
162	1981	56	1	利賀山房	磯崎新アトリエ							○	T,H			○	T,H					a	15
311	1994	69	4	宇部市渡辺翁記念会館改修	村野・森建築事務所							○	Y,K,T,H			○	K,H					a	15
324	1995	70	8	在日アメリカ大使館大使公邸修復	RTKL							△	K,H			△	K,H					a	15
376	2001	76	3	白く塗れ　メゾン・マルタン・マルジェラの恵比寿のショップ	青木淳							○	Y,K,T,H			○	K,H					a	15
394	2002	77	1	逆シャッターのギャラリー　PAMB	坂茂建築設計							○	K,T,H			○	K,H					a	15
401	2002	77	2	東京ワンダーサイト	ライフスケープ研究所							○	K,T,H			○	K,H					a	15
419	2003	78	3	表参道テラスハウス	堀部安嗣建築設計事務所							○	K			○	K					a	15
457	2004	79	9	ベネッセアートサイト直島オフィス	西沢立衛建築設計事務所							○	K,T			○	K,H					a	15
459	2004	79	9	NMNL	青木淳建築計画事務所							○	Y,K,T,H			○	K,H					a	15
479	2005	80	6	quaranta1966	竹中工務店＋日本建設							○	K,T,H			○	H					a	15
480	2005	80	6	IPSE都立大学	青木茂建築工房							○	T			○	K,H					a	15
484	2005	80	8	r-ST1（松涛リノベーションプロジェクト201/103	長岡勉＋土屋徹/point＋福津宣人							○	K,T			○	K					a	15
485	2005	80	8	パシフィックレジデンス芝浦	長岡勉＋土屋徹/point＋松井亮/松井亮建築都市設計事務所							○	T,H			○	H					a	15
487	2005	80	9	月影の郷	NASA設計共同体他							○	K,T,H			○	K,H					a	15
492	2005	80	10	「ルネスホール」旧日銀岡山支店改修	佐藤建築事務所/岡山県設計技術センター							○	K,T			○	K					a	15
502	2006	81	2	井の頭の住宅	トラフ建築設計事務所/鈴野浩一＋禿真哉							○	K,T			○	K					a	15
519	2006	81	12	YKK50ビル　リノベーション2006	宮崎浩/プランツアソシエイツ							○	K,H			○	K,H					a	15
540	2007	82	11	サントリーホール20周年改修	安井建築設計事務所							○	K			○	K					a	15
541	2007	82	11	大隈講堂	佐藤総合計画							△	T,H			△	H					a	15
560	2008	83	8	SAYAMA FLAT	長坂常/スキーマ建築計画							○	Y,K,T			△	K					a	15
561	2008	83	8	C.U.I	ナフ・アーキテクト＆デザイン/中佐昭夫＋田中知博							○	K,T			○	K					a	15
564	2008	83	9	TARO NASU	青木淳建築計画事務所							○	K,T,H			○	K,H					a	15
204	1983	58	4	鈴鹿電気通信学園体育館	日本電信電話公社建築部							○	R					○	R			a	17
365	2000	75	10	旧イタリア大使館夏季別荘改修	レーモンド設計事務所							○	R					○	R			a	17
366	2000	75	10	日光田母沢御用邸記念公園本邸の改修	栃木県土木部建築課							○	R					○	R			a	17
533	2007	82	9	太郎吉蔵	中村好文							○	R					○	R			a	17
42	1952	27		「完之荘」	早稲田大学施設部営繕課							○	K,G			○	K	○	G			a	19
112	1974	49	11	ヤマギワ・ライティング・ハウス	L.D.ヤマギワ研究所							○	Y,K,H,G			○	K,H	○	G			a	19
192	1983	58	3	慶応義塾図書館・旧館	槇総合計画事務所							○	Y,K,T,R			○	K	○	R			a	19
470	2005	80	2	Y-House	Frank la Riviere,Architect							○	K,T,G			○	K	○	G			a	19
550	2008	83	3	RENGO DMS	中田千彦＋戒居連太/連合建築社市谷建築事務所							○	K,T,H,G			○	K,H	○	G			a	19
388	2001	76	10	直島「スタンダート展」旧卓球場	木村優＋アートステーション	○	G					○	R									a	20
445	2004	79	6	八女市立福島中学校屋内運動場	青木茂建築工房	○	K					○	R			○	H					a	25
12	1933	9		銀座ハヤシ靴店の設計	宮崎光二郎															○		a	26
92	1971	46	1	東洋信託銀行大阪駅前支店	三座建築事務所															○		a	26
100	1973	48	3	高輪プリンスホテル洋館改装	村野・森建築事務所															○		a	26
133	1976	51	9	もくせいのある家	アトリエ515A															○		a	26
198	1983	58	3	六甲パインモール	竹中工務店															○		a	26
201	1983	58	3	長野の家	小野建築・環境計画事務所															○		a	26
234	1986	61	3	イサムノグチアトリエ	イサムノグチ　山本忠司															○		a	26
253	1987	62	12	サッポロビール開拓使麦酒記念館	大成建設															○		a	26
291	1991	66	12	新南座	杉山隆建築設計事務所															○		a	26
314	1994	69	9	ヤナコーグループ社屋	海老沢宏環境工房															○		a	26
373	2001	76	2	ヴァレオ・ユニシア・トランスミッション	岡部憲明アーキテクチャーネットワーク															○		a	26
392	2001	76	12	アルマーニ/テアトロ（海外）	安藤忠雄建築研究所															○		a	26
400	2002	77	2	茨城県立図書館	茨城県土木部営繕課　日建設計															○		a	26
405	2002	77	6	横浜赤レンガ倉庫1号館・2号館	新居千秋都市建築設計															○		a	26
411	2002	77	7	THE GATE	有馬裕之＋Urban Fourth															○		a	26
417	2003	78	3	コムデギャルソン大阪店	カワサキタカオオフィス															○		a	26
432	2003	78	11	汐留インフィルプロジェクト	小嶋一浩＋赤松佳珠子/C+A															○		a	26
469	2005	80	1	ゼンカイハウス	宮本佳明/アトリエ第5建築界															○		a	26
472	2005	80	2	1227号室	納谷学＋納谷新/納谷建築設計事務所															○		a	26
477	2005	80	3	白いおもちゃ箱	今永和利/今永環境計画															○		a	26
491	2005	80	10	旧富士銀行横浜支店　映像文化施設	横浜市まちづくり調整局　槇総合計画事務所															○		a	26
498	2006	81	1	ロックフィールド神戸ヘッドオフィス/神戸ファクトリー	安藤忠雄建築研究所															○		a	26
510	2006	81	9	PALAZZO GRASSI（海外）	安藤忠雄建築研究所															○		a	26
513	2006	81	9	銀山温泉　藤屋	隈研吾建築都市設計事務所															○		a	26
514	2006	81	9	国際文化会館本館保存再生	三菱地所設計															○		a	26
521	2007	82	2	笹塚の集合住宅	みかんぐみ															○		a	26
525	2007	82	6	THE NATURAL SHOE STORE オフィス	OpenA															○		a	26
545	2007	82	12	ドメイヌ・ドゥ・ミクニ（「旧飯箸邸」の再生）	坂倉アトリエ															○		a	26

データ2　建築作品における既存建築と新設部分の関係

551	2008	83	3	箔座ひかり蔵	水野一郎＋金沢計画研究所															○		a	26
557	2008	83	7	名古屋大学豊田講堂改修	槇総合計画事務所															○		a	26
559	2008	83	8	HUNDRED CIRCUS East Tower	日建設計															○		a	26
563	2008	83	9	実験装置/masia 2008	入江正之＋早稲田大学入江正之															○		a	26
567	2008	83	11	マンハッタンのペントハウスⅡ（海外）	安藤忠雄建築研究所															○		a	26
54	1957	32	6	城郭を改造した博物館（海外）	L..ベルジョヨーゾ																○	a	27
395	2002	77	1	アルテピアッツァ美唄	安田侃																○	a	27
555	2008	83	6	白の家・移築	白澤宏規　澤田建築研究所																○	a	27
68	1965	40	8	つる家	吉田五十八	○	Y,K															b	1
22	1937	13		大浦氏邸	池田総一郎	○	G,R															b	2
25	1938	14		Y邸増築	薬師寺厚	△	G															b	2
101	1973	48	7	O邸の改造	坂倉準三建築研究所大阪事務所	○	G															b	2
343	1998	73	6	酒ミュージアム　酒蔵館	大林組本店設計部	○	G,R															b	2
542	2007	82	11	国立科学博物館本館改修	香山壽夫建築研究所	△	G															b	2
140	1977	52	8	農家の改造―笠幡の家	独楽蔵	○	Y,T,H,G,R															b	3
236	1986	61	6	赤福本店五十鈴茶屋	竹中工務店	○	Y,K,G,R															b	3
332	1997	72	2	蔵史館　金山町街並みづくり資料館	林寛治＋林哲也	○	K,G															b	3
476	2005	80	3	COCON KARASUMA	隈研吾建築都市設計事務所					○	Y											b	6
399	2002	77	2	東京国立近代美術館増改築	国土交通省関東地方整備局営繕課　坂倉建築研究所東京事務所											○	K,H					b	11
415	2003	78	2	奥備中風土記念館	丹波建築設計事務所							○	T,R			○	H					b	15
450	2004	79	8	屋上のランドスケープ	原田真宏＋原田麻魚　mount fuji architects studio							○	K,T			○	K,H					b	15
86	1969	44	5	コートハウスの増改築	坂倉準三建築研究所							○	G			○	K,H					b	16
488	2005	80	10	民家再生計画	三分一博志＋土井一秀＋呉高専　富田研究室							○	R					○	R			b	17
329	1996	71	5	酒蔵ホール	若竹・聖設計共同企業体	○	R									○	K					b	21
26	1940	16		N邸	大倉土木株式会社															○		b	26
61	1963	38	6	中野の家	末松設計事務所															○		b	26
131	1976	51	6	松尾神社	木島安史＋YAS都市研究所															○		b	26
348	1998	73	7	国立西洋美術館	建設省関東地方建設局営繕課　前川建築設計事務所															○		b	26
406	2002	77	6	立教大学第一食堂	立教大学管財部施設課　坂倉建築研究所東京事務所															○		b	26
40	1952	27		梅花学園・体育館	三座建築事務所	○	Y															c	1
87	1969	44	5	続・坪井教授の家	清家研究室＋坪井研究室	△	K															c	1
427	2003	78	6	武蔵工業大学　SAKURA CENTER＃14	岩崎堅一・武蔵工業大学岩崎研究室	○	Y															c	1
516	2006	81	10	味の素グループ高輪研修センター	久米設計	○	Y,K,T,H															c	1
60	1961	36	8	立教大学図書館	丹下健三研究室	○	G															c	2
91	1970	45	12	小西本社屋	竹中工務店	○	G															c	2
122	1975	50	11	倉敷中央病院第1期	浦辺建築事務所	○	G,R															c	2
166	1981	56	6	番匠邸・増築	安藤忠雄建築研究所	○	G,R															c	2
169	1981	56	9	横浜開港資料館	浦辺建築事務所	○	G															c	2
178	1982	57	9	白鹿記念酒蔵博物館　白鹿記念館	大林組	○	G,R															c	2
189	1983	58	3	神戸市立博物館	神戸市住宅局営繕部　坂倉建築研究所大阪事務所	○	G															c	2
212	1984	59	6	東京大学経済学部校舎増改築	香山アトリエ/環境造形研究所	○	G															c	2
310	1994	69	4	大原美術館本館増築	浦辺設計	○	G															c	2
460	2004	79	10	明治安田生命ビル	三菱地所設計	△	G															c	2
483	2005	80	7	大阪証券取引所ビル	三菱地所設計・日建設計　設計監理共同体	△	G															c	2
39	1952	27		リーマン邸	鷲塚建築設計事務所	○	Y,K,T,H,R															c	3
177	1982	57	8	札幌の家　自邸増築	上遠野建築事務所	○	H,G															c	3
297	1992	67	9	サッポロビール園ポプラ館	大成建設　久保勝彦	○	K,G															c	3
362	2000	75	9	石の美術館	隈研吾建築都市設計事務所	○	K,G															c	3
546	2007	82	12	霞が関コモンゲート・中央合同庁舎第7号館	久米設計・大成建設・新日鉄エンジニアリング設計共同企業体			○	G													c	4
193	1983	58	3	長瀬産業本社ビル	竹中工務店	○	G	○	G													c	5
490	2005	80	10	小金井カントリー倶楽部クラブハウス	日本設計　山下設計	○	G,R	○	G													c	5
562	2008	83	9	ハラ　ミュージアム　アーク増築	磯崎新アトリエ＋KAJIMA DESIGN	○	G,R	○	G,R													c	5
249	1987	62	9	福岡大同生命ビル	指宿真智雄・建築デザイン					○	K,T,H											c	6
294	1992	67	1	目黒雅叙園	日建設計					○	K,T											c	6
357	1999	74	12	鎌倉市立御成小学校	久米設計					△	K,H											c	6
565	2008	83	9	文化学院	坂倉建築研究所							△	K,T									c	8
233	1986	61	1	東京ガス新宿総合展示場	石山修武＋ダムダン空間工作所											○	H					c	11
285	1991	66	4	修善寺フォーラム渡月　1990	富永譲＋ファルムシステム研究所											△	H					c	11
300	1993	68	3	第四銀行本店	清水建設											○	H					c	11
355	1999	74	8	宇目町役場庁舎	青木茂建築工房											○	H					c	11
356	1999	74	8	太田市立休泊小学校	日本建築都市診断協会/田中雅美等											○	H					c	11
493	2005	80	10	金山町街並み交流サロン・ぽすと	林寛治											△	H					c	11
499	2006	81	1	日本橋三井タワー	シーザー・ペリアンドアソシエーツジャパン											○	H					c	11
544	2007	82	12	YIEN　EAST	隈研吾建築都市設計事務所											○	H					c	11
568	2008	83	12	下鴨泉川亭	山本良介アトリエ											△	H					c	11
72	1966	41	11	大阪ガスビル	安井建築設計事務所													○	G,R			c	12
265	1989	64	2	京都府京都文化博物館	京都府土木建築部営繕課等													○	G			c	12
556	2008	83	6	東京未来大学	圓山彬雄/アーブ建築研究所							○	G			○	H					c	16
337	1997	72	5	大手町野村ビル	大成建設一級建築士事務所					△	G	△	G	△	G							c	18
188	1983	58	3	建築会館	秋元和雄設計事務所	○	G			○	K											c	23
70	1966	41	6	石塚産婦人科の増築	まさみ・さとう設計事務所															○		c	26
105	1974	49	4	広島グランドホテル新館	清水建設															○		c	26
155	1979	54	7	金沢市立図書館	谷口吉郎															○		c	26
167	1981	56	7	VIA・明治画廊	清水峰次　建築・環境研究室															○		c	26
175	1982	57	7	栃木県立美術館常設展示場	栃木県土木部建築課　川崎清＋環境建築研究所															○		c	26
194	1983	58	3	大谷大学本部・研究室棟	川崎清＋環境・建築研究所															○		c	26
199	1983	58	3	如水会館	三菱地所															○		c	26
211	1984	59	2	御代田の家	小沢明建築研究室															○		c	26
213	1984	59	8	千石の増築	葛西秀一郎															○		c	26
226	1985	60	8	蒲江町立蒲江中学校特別教室棟	青木茂建築工房															○		c	26
230	1985	60	12	鳥羽グランドホテル増築	土岐新建築総合計画事務所															○		c	26
248	1987	62	8	VILLA DEL SOL	志水正弘　林公子															○		c	26
250	1987	62	11	装冠の建築Ｖ-DOREMI・fa	アルキーピ建築・造形・計画事務所															○		c	26
251	1987	62	12	千葉英和高等学校	内井昭蔵建築設計事務所															○		c	26
276	1990	65	2	伊丹市立工芸センター・美術館増築	伊丹市建設部建築課＋坂倉建築研究所大阪事務所															○		c	26
286	1991	66	7	ホテル石松	青木茂建築工房															○		c	26
295	1992	67	7	竹茂楼	杉山隆建築設計事務所															○		c	26
302	1993	68	11	駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館・管制塔（改修）	芦原建築設計研究所															○		c	26
303	1993	68	11	あいく幼稚園ANNEX	岩本秀三設計事務所															○		c	26
312	1994	69	8	日本理容美容専門学校	武市義雄＋REA建築工房															○		c	26
320	1995	70	4	野田市兵衛商店/BRIDGES	ワークショップ															○		c	26
323	1995	70	7	ホテルブレストンコート	東孝光＋東環境・建築研究所/東利恵															○		c	26
331	1996	71	7	ミュージアムパーク　アルファピア	武田光史建築デザイン事務所															○		c	26
361	2000	75	9	FABRICA　ベネトン・アートスクール（海外）	安藤忠雄建築研究所															○		c	26
369	2000	75	10	みちのく風土館	阿部仁史アトリエ															○		c	26
370	2000	75	10	野津原町多世代交流プラザ	青木茂建築工房															○		c	26
374	2001	76	2	津田梅子記念交流館	大成建設設計本部															○		c	26
386	2001	76	9	八女市多世代交流館「共生の森」	青木茂建築工房															○		c	26

データ2　建築作品における既存建築と新設部分の関係

393	2001	76	12	ウカイ リゾート	森義純建築設計室															○		c	26
403	2002	77	4	東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス増築	湯澤正信/湯澤建築設計研究所															○		c	26
408	2002	77	6	延岡ホテル増築	小澤丈夫＋小澤エリコ/TEOarchitects															○		c	26
426	2003	78	5	日本工業倶楽部会館・三菱信託銀行本社ビル	三菱地所設計															○		c	26
429	2003	78	9	安曇野高橋節郎記念美術館	宮崎浩/プランツアソシエイツ															○		c	26
431	2003	78	11	玉川高島屋SC新南館	大江匡/プランテック総合計画事務所＋松田平田設計															○		c	26
441	2004	79	2	ギャラリー門馬アネックス	アカサカシンイチロウアトリエ															○		c	26
444	2004	79	5	横浜アイランドタワー	都市基盤整備公団　横総合計画事務所															○		c	26
458	2004	79	9	G	青木淳建築計画事務所															○		c	26
464	2004	79	11	帝京大学八王子キャンパス　学生ラウンジ	城戸崎建築研究室															○		c	26
489	2005	80	10	三重県立美術館	三重県総務局営繕課　坂倉建築研究所															○		c	26
494	2005	80	12	プリラーレ	クラインダイサムアーキテクツ															○		c	26
500	2006	81	1	ホワイトルーフ	渡部和生/惟建築計画															○		c	26
527	2007	82	7	稲田病院　産婦人科棟	松村デザイン事務所															○		c	26
535	2007	82	10	食事処「雲の庭」	富永譲＋ファムシステム研究所															○		c	26
536	2007	82	10	大阪芸術大学	坂倉建築研究所															○		c	26
537	2007	82	10	追手門学院大学　中央棟・6号館　守衛所	三菱地所設計															○		c	26
334	1997	72	4	大阪松竹座	ユー・アソシエイツ	△	Y,K															d	1
350	1999	74	6	神戸税関　本関	建設省近畿地方建設局営繕課　日建設計	○	G															d	2
304	1994	69	1	DNタワー21（第一・農中ビル）	清水建設一級建築士事務所　ケビン・ローチ等					○	G											d	7
216	1985	60	1	京都三井ビルディング	久米建築事務所											○	H					d	11
119	1975	50	5	日本橋東海ビル	日建設計・東京													△	G			d	12
267	1989	64	6	日本火災横浜ビル	日建設計・東京													○	G			d	12
271	1989	64	10	日本信託銀行本店	坂倉建築研究所東京事務所					△	T,G			△	T,G							d	14
328	1996	71	1	DNタワー21（第一・農中ビル）	清水建設一級建築士事務所　ケビン・ローチ等	○	G			○	K,G											d	24
202	1983	58	3	賀川豊彦記念松澤資料館・松澤幼稚園	阿部勉　アルテック建築研究所															○		d	26
227	1985	60	8	御堂筋又一ビル	竹中工務店															○		d	26
266	1989	64	4	東京大学御殿下記念館	芦原建築設計研究所															○		d	26
317	1995	70	2	佐倉市立美術館	坂倉建築研究所東京事務所大阪事務所															○		d	26
382	2001	76	7	桐蔭学園　メモリアルアカデミウム	栗生明＋栗生総合計画事務所															○		d	26
462	2004	79	11	交詢ビルディング	清水建設															○		d	26
149	1978	53	5	中京郵便局庁舎	郵政大臣官房建築部	○	G															e	2
195	1983	58	3	北大路高野団地集会場	川崎清＋環境・建築研究所							○	R									e	9
224	1985	60	6	旧・兵庫県庁舎の現地保存・再利用	兵庫県都市住宅部営繕課・設備課					△	K,T			△	K,T							e	13
108	1974	49	7	倉敷アイビースクエア	浦辺建築事務所	○	Y,K,G									○	H					e	22
145	1978	53	1	工芸館に再生―旧近衛師団	谷口吉郎															○		e	26
282	1990	65	12	文房堂ビル	佐野建築研究所															○		e	26
287	1991	66	10	日総リッツカールトン-サンフランシスコ	鹿島アソシエーツ															○		e	26
377	2001	76	3	新風館	NTTファシリティーズ＋リチャードロジャースパートナーショップジャパン															○		e	26
439	2004	79	1	上下町歴史文化資料館	斎藤正＋近畿大学工学部建築学科澤登研究室・穀工房															○		e	26
404	2002	77	5	「旧第一銀行神戸支店」の外壁保存	大林組本店設計部																○	e	27
141	1977	52	8	ある民家の再生	日本設計事務所大阪支社	○	Y,K,T,H,G,R															f	3
221	1985	60	5	コンサートホール　西の洞	Team　Zooアトリエモビル＋小林誠	○	K,T,H,R															f	3
240	1987	62	3	大同生命福岡支社旧社屋の移築再生保存	指宿真智雄	△	G															g	2
171	1982	57	2	三国町郷土資料館	品川建築事務所・神谷建築事務所															○		g	26
254	1988	63	1	お茶の水スクエアA館	磯崎新アトリエ															○		g	26
313	1994	69	9	中央合同庁舎第6号館赤レンガ棟	建設大臣官房官庁営繕部															○		g	26
340	1998	73	4	旧門司税関	大野秀敏＋アプル総合計画事務所															○		g	26
342	1998	73	6	海岸ビル	昭和「飛行機工業　竹中工務店															○		g	26
344	1998	73	6	旧神戸居留地十五番館	文化財建造物保存技術協会															○		g	26
413	2002	77	12	大阪市中央公会堂	大阪市住宅局営繕部　坂倉・平田・青山・新日設共同企業体															○		g	26
422	2003	78	4	旧新橋停車場復元駅舎	日本設計・JR東日本建築設計事務所															○		g	26
438	2004	79	1	横浜税関本関	香山・アプル設計共同体															○		g	26
74	1967	42	3	武庫川学院・甲子園会館	竹中工務店																○	g	27
529	2007	82	8	Villa Vista	飯田善彦建築工房							△	H,T			△	H					h	15
118	1975	50	5	東京大学工学部六号館増築	香山アトリエ															○		h	26
215	1984	59	11	緑艸舎	宮本忠長建築設計事務所															○		i	26
275	1989	64	12	玉川高島屋SC本館20周年リニューアル	彦坂裕　スペースインキュベータ											○	H					j	11
501	2006	81	2	アーバンBLD心斎橋	プランテック総合計画事務所											○	H					j	11
379	2001	76	5	松屋銀座リニューアル1期	大成建設設計本部															○		j	26
467	2004	79	12	松屋銀座　耐震外装	大成建設															○		j	26
508	2006	81	7	東京工業大学緑が丘1号館レトロフィット	東京工業大学安田幸一研究室＋竹内徹研究室															○		j	26
407	2002	77	6	エルミタージュ・カレーム	小杉栄次郎＋内海彩/KUS											○	H					k	11
269	1989	64	8	エスカミューズ	若林広幸建築研究所															○		k	26
335	1997	72	5	スタジオKAZ	松島健建築設計事務所															○		k	26
410	2002	77	7	国立国会図書館　国際子ども図書館	安藤忠雄建築研究所＋日建設計															○		k	26
433	2003	78	11	名水市場　湧太郎	青島裕之建築設計室	○	T															l	1
319	1995	70	4	千葉市美術館・中央区役所	大谷幸夫・大谷研究室					△	Y,T											l	6
524	2007	82	5	東京大学工学部2号館	東京大学工学部建築計画室（岸田省吾）＋キャンパス計画室・施設部															○		l	26
126	1976	51	1	善光寺別院願王寺	AZ Institute　山崎泰孝					○	G,R											m	7
207	1983	58	12	旧たくんち	倉本たつひこ建築計画室															○		m	26
299	1993	68	2	川越亀屋	大江匡　プランテック	○	K															n	1
368	2000	75	10	上京のデイケアセンター	河井事務所	△	G															n	2
238	1986	61	10	脇町立図書館	神戸大学重村研究室　Team　Zooいるか設計集団	○	K,H,G,R															n	3
325	1995	70	11	善光寺外苑-西の門	アトリエ・メタモルフォーゼ　上松祐二研究室　北野建設	○	K,G,R															n	3
203	1983	58	4	加藤近代美術館	富樫耕一															○		n	26

【注釈】※1　質料・かたちの分析に関して-記号は質料・かたちの活用の有無を示す。
○:活用している　△:小さな規模において活用している　無表記:活用していない
※2　質料・かたちの分析―英字は対応する部位を示す。
Y:床　K:壁(内壁)　T:天井(梁)　H:柱　G:外壁　R:屋根

データ2　建築作品における既存建築と新設部分の関係

既存建築の活用に関する言語 （数字：対象言語を使用している事例数）

年	巻	改造	増築	改築	改装	復活	ウムバウ	増改築	改修	コンバイン	再使用	移築(移設)	保護	保存	復元	再用	復原	再生	継承	転用	蘇生	模様替え	再利用	再活用	コンサーベーション	外壁保存	部分保存	残存	記録保存	再築	リサイクル	記念碑的保存	リノベーション	記憶保存	再現	衣替え	リニューアル	現代的活用	リコンストラクション	リペアリング	新生	再構築	リフレッシュ	リファイン	ストック	コンバージョン	リフォーム	リユース	再々生	外観復元	イメージ復元	リデザイン	減築	増改修
1925	1	1	1	1																																																		
1926	2	1																																																				
1927	3		1																																																			
1928	4	1	1																																																			
1929	5	1																																																				
1930	6	1	1																																																			
1931	7		1		1																																																		
1932	8					1																																																	
1933	9	2		2			1																																																
1934	10	2				1																																																	
1935	11	2	1	1																																																			
1936	12	1			1																																																		
1937	13		2	2																																																			
1938	14		1																																																				
1939	15																																																						
1940	16	1																																																					
1941	17	2			1			1																																															
1942	18																																																						
1943	19		2																																																				
1945	20																																																						
1946	21																																																						
1947	22																																																						
1948	23		1		1																																																		
1949	24	1		1																																																			
1950	25				1				2	1																																												
1951	26		1		2																																																		
1952	27	2			1				1		1	1																																											
1953	28	2			1																																																		
1954	29	1		1																																																			
1955	30																																																						
1956	31	4		1				1					1	1																																									
1957	32	2	1	1	1										1																																							
1958	33																																																						
1959	34								1						1	1																																							
1960	35																																																						
1961	36			1																																																			
1962	37																																																						
1963	38	2																																																					
1964	39												1	1			1																																						
1965	40	2	2	1				1						1	1																																							
1966	41	1	3	1					1					1			1	1	1																																				
1967	42			1					1		1	1	1	3	2		1			1	1																																	
1968	43		1					1						3				1																																					
1969	44	1	2	1	1			2	2					2				1																																					
1970	45	1	1					2														1																																	
1971	46		1	2				2	1																																														
1972	47		1		1									2																																									
1973	48	1	2		1									1	1			1																																					
1974	49	4	4	1	3							1		7				2		2			2	1	1	1																													
1975	50	2	3	3	6			3	2					9	4			3							1	3	1	1																											
1976	51	1	5	6	3			3	3		1	1		5	1			1	1				2			2			1																										
1977	52	3	1	2	3			1	1		1	3		4	1			3					2			1	1			1																									
1978	53		1	1					3					4	2	1		3								2			1		2	1	1																						
1979	54				1				4					2	1			2		1			1			1																													
1980	55		2		1				3			2		3				1			1	1																																	
1981	56	2	1	4	1				3					5			1	3	1				1	1		1																													
1982	57	1	2	1	1				3					3	2			1	1	1							1																												
1983	58	11	7	6	8			4	9		1	5		17	2		1	12	3	2			7			2	3		1					1	1																				
1984	59	2	4		3			1	2			2		4	2		1	2	1	1			2					1						1	1																				
1985	60	2	4	4	3			1	3			1		7	5		1	5	2	2	1		6		1	1	1						1		2	1																			
1986	61	2	4	2	1			2	2			1		2	2			2		1															1																				
1987	62	2	4		4			2	2		1	4		7	1	1	3	3	1	1			2	1		2		1			1			1	2		1																		
1988	63	2	1		1				5					7	2			5	1	2		1	2			2							1				2	1	1	1														
1989	64	2	3	3	3			1	2		1	2		6	2			5	3	1	1		2												2		1		1		2													
1990	65	1	2		1			1	2		2			3	1			1									1																												
1991	66		3	4	1			1	5					4	1			3	2														1		1		1																	
1992	67		1	1	1				2						3			1	2				1												1						1													
1993	68		3	1	1			1	3					1	1			3															1								1	1												
1994	69		3	1					6			1		7			1	5	2				3										1		4						1													
1995	70	1	3	2	1			3	5			1		5	3			5				1	2			1	1								1																			
1996	71			1					3		1			1	2			4	1																1						1													
1997	72		2	1					4					4	1			5	1		1		2			1					1																							
1998	73		2	2				1	6					7	5		1	2	1	2			2	1											1						1													
1999	74	1	2	3	2			1	7					4				4			1		2								2		1			1	1						1	1									
2000	75	2	3		2			1	9			2		6	1		1	8	1	1			2	1							2		1		1		3						1	2	1	1							
2001	76	4	6	4	2			3	10			2		6	2		1	7	5	2			1	1		1					2		1				5						2				2						
2002	77		6	1	4			3	11					5			1	11	1	3			2			1					1		1				5				2				2	1							
2003	78	2	3	2	4			2	13					4	1			11	4	2			2										2		2		2				2				1	3			1	1			
2004	79	3	4	4	3			2	13			2		9	5		1	15	4	3			3			1					1		10		1		1				2		2	3	7	1				1	1	1	
2005	80		8	3	6			2	10			1		7	4			10	4	1			6										10		1		1				4		2	1	4								
2006	81	2	6	3	2			1	14					7	1		1	9	5	1		1	2								1		8				2				2			1	1								
2007	82	2	6		1			2	16			3		16	4		2	11	6				2			1							2		2		1				1		1	1	3	1							1
2008	83	2	5	2	2			1	14			2		5	2			10	2				7	1					1		1	1	8		1		2	1			3			4	3		1						
年	巻	改造	増築	改築	改装	復活	ウムバウ	増改築	改修	コンバイン	再使用	移築(移設)	保護	保存	復元	再用	復原	再生	継承	転用	蘇生	模様替え	再利用	再活用	コンサーベーション	外壁保存	部分保存	残存	記録保存	再築	リサイクル	記念碑的保存	リノベーション	記憶保存	再現	衣替え	リニューアル	現代的活用	リコンストラクション	リペアリング	新生	再構築	リフレッシュ	リファイン	ストック	コンバージョン	リフォーム	リユース	再々生	外観復元	イメージ復元	リデザイン	減築	増改修
total		91	141	85	88	2	1	53	209	1	10	38	3	208	70	3	19	182	56	30	6	5	68	7	3	24	9	4	3	2	14	1	50	2	26	3	28	2	2	1	2	21	1	9	16	23	3	3	1	1	1	1	1	1

データ3 既存建築の活用に関する言語の変遷

総合データ								既存建築の活用に関する言語																																																		
No.	年	巻	号	作品	言説	建築作品名／言説題目	設計者／著者	改造	増築	改築	改装	復活	ウムバウ	増改築	改修	コンバイン	再使用	移築	保護	保存	復元	再用	復原	再生	継承	転用	蘇生	模様替え	再利用	再活用	コンサーベーション	外壁保存	部分保存	残存	記録保存	再築	リサイクル	記念碑的保存	リノベーション	記憶保存	再現	衣替え	リニューアル	現代的活用	リコンストラクション	リペアリング	新生	再構築	リフレッシュ	リファイン	ストック	コンバージョン	リフォーム	リユース	再々生	外観復元	イメージ復元	リデザイン	減築	増改修
1	1925	1			○	設計問答　書斎の増築に就て	新建築社相談部		○
2	1925	1			○	大阪ビルディングを見たまま	池田谷久吉			○
3	1925	1		○		可愛い御台所	—	○
4	1926	2		○		或る商店の設計	南信	○
5	1927	3		○		支那の一住宅	村田治郎		○
6	1928	4		○		吹田の生田氏邸	三越家具部	○	○
7	1929	5			○	卒業計画（京都帝大本館改造案）大正十二年（1923）	平松英彦	○
8	1930	6		○		片岡鐵雄氏邸	三越家具部	○	○
9	1931	7		○		増築完成の白木屋を見る	石本喜久治		○		○
10	1932	8		○		服部時計店	渡邊仁建築事務所					○
11	1933	9		○		島田屋半ゑり小間物舗の改造	川喜田煉七郎	○
12	1933	9		○		銀座ハヤシ靴店の設計	宮崎光二郎	○		○			○
13	1933	9		○		改築された築地小劇場の建築	野呂英夫
14	1934	10		○		M邸家族室	Y.Taniguti	○		○
15	1934	10		○		ヤマトヤ洋品店の店内構成	川喜田煉七郎	○				○
16	1935	11		○		喫茶室・サヴォイア	T.Aisawa	○
17	1935	11		○		伊藤邸	Kameki Tsuchiura		○	○
18	1935	11		○		林邸の玄関とサロン	B.Yamaguti	○
19	1936	12		○		森永製菓　銀座売店	前川國男	○
20	1936	12		○		京都松竹座改装	Shirahase
21	1937	13		○		今井猛夫氏のアトリエ	今井猛夫		○
22	1937	13		○		大浦氏邸	池田総一郎			○
23	1937	13		○		三菱銀行本店増築	—		○
24	1937	13		○		東京拘置所	—			○
25	1938	14		○		Y邸増築	薬師寺厚		○
26	1940	16		○		N邸	大倉土木株式会社	○
27	1941	17		○		茶房「三茶」	小崎修	○
28	1941	17		○		長谷部・竹腰建築設計事務所	長谷部・竹腰建築設計事務所	○
29	1941	17		○		M氏邸	アルヌルフ・ペツオルド　杉本勇雄			○				○
30	1943	19		○		本所病院ペスト病舎増築工事	東京市建築部		○
31	1943	19		○		大阪市立生活科学研究所増築工事	大阪市設計部		○
32	1948	23		○		東京植木株式会社関西支店	三座建築事務所		○		○
33	1949	24	10	○		崖上の改造住宅	前川國男建築設計事務所	○		○
34	1950	25	3	○		角地に建つ喫茶店	PAC
35	1950	25	6	○		S氏邸	三苫正光								○	○
36	1950	25	10	○		AIU賓客用ハウス	松本巍建築設計事務所				○				○
37	1951	26	3	○		法務庁庁舎	—				○
38	1951	27	5	○		改装された"ホテル・マルエイ"	村野・森建築事務所		○		○
39	1952	27		○		リーマン邸	鷲塚建築設計事務所	○			○						○
40	1952	27		○		梅花学園・体育館	三座建築事務所	○
41	1952	28		○		改修による銀行	前川國男								○
42	1952	27		○		「完之荘」	早稲田大学施設部営繕課											○
43	1953	28	2	○		コンステレーション・バー	ブレドリック・ホッファー事務所				○
44	1953	28	5	○		千草	今西デザインルーム	○
45	1953	28	8	○		デパートの改造－そごう百貨店	村野・森建築設計事務所	○
46	1954	29	1	○		明星幼稚園	樋田力			○
47	1954	29	1	○		うなぎや：川松	遠藤建築設計事務所	○
48	1956	31	3	○		栃木会館	sibaoka isao	○
49	1956	31	8		○	韮山代官江川邸について	大河直躬	○		○									○	○
50	1956	31	9		○	改造による新しい機能の獲得	久慈惇・遠藤勝勧	○
51	1956	31	12	○		改造による幼稚園	菊竹清訓	○
52	1956	31	12	○		名古屋市立第一幼稚園	名古屋市建設局建築部学校建築課							○
53	1957	32	3	○		M氏邸の増築	早大吉阪研究室		○	○
54	1957	32	6	○		城郭を改造した博物館（海外）	L..ベルジョヨーゾ	○													○
55	1957	32	10	○		キャノン・ショールーム（海外）	Sirof等・芦原義信協力				○
56	1957	32	12	○		そばや　紅梅庵	斎藤寅郎	○
57	1959	34	3		○	京都御所内「小御所」の復元について	石川忠														○	○
58	1959	34	7	○		原宿の家	前川國男建築設計事務所								○
59	1961	36	5	○		画家の家	東京工業大学清家研究室			○
60	1961	36	8	○		立教大学図書館	丹下健三研究室
61	1963	38	6	○		中野の家	末松設計事務所	○
62	1963	38	12	○		料亭新喜楽	吉田五十八	○	○
63	1964	39	10		○	AIA，帝国ホテル復原に協調を要望	—												○	○			○
64	1965	40	3	○		料亭　川甚	中村登一建築研究所			○
65	1965	40	6	○		大阪駅前の改造はじまる	—	○
66	1965	40	6	○		草津大東館ホテル	田中建築事務所		○
67	1965	40	7	○		箱根の関所の復元	早大教授田辺泰														○
68	1965	40	8	○		つる家	吉田五十八	○						○
69	1965	40	12		○	史都計画批判	高口恭行・田端修													○
70	1966	41	6	○		石塚産婦人科の増築	まさみ・さとう設計事務所		○
71	1966	41	10	○		新橋東口市街地改造ビル	佐藤武夫設計事務所	○
72	1966	41	11	○		大阪ガスビル	安井建築設計事務所		○
73	1966	41	12		○	建築の生と死に関するノート	—		○	○					○					○			○	○	○
74	1967	42	3	○		武庫川学院・甲子園会館	竹中工務店								○												○
75	1967	42	5		○	近代建築の保存への姿勢	近江栄												○	○
76	1967	42	6	○		西阪神ビル	日建設計工務																			○
77	1967	42	9		○	帝国ホテル旧館第3次保存運動	沖種郎			○							○	○		○	○
78	1967	42	12		○	帝国ホテルを考える	（多数）													○			○
79	1968	43	5		○	三菱旧1号館の取り壊し	—													○
80	1968	43	8		○	東京中央電信局取り壊し	—													○
81	1968	43	10		○	再生する都市建築	新建築編集部		○	○				○						○				○
82	1969	44	2		○	「明治洋風建築」保存リストまとまる	—													○
83	1969	44	3	○		パイオニア広島ショールーム	鹿島建設設計部								○
84	1969	44	4	○		ニュースカイホテル	志賀建設		○
85	1969	44	5		○	旧近衛師団庁舎取り壊しに意見書	—													○
86	1969	44	5	○		コートハウスの増改築	坂倉準三建築研究所	○						○
87	1969	44	5	○		続・坪井教授の家	清家研究室＋坪井研究室		○	○				○
88	1969	44	8	○		再生した鎌倉近代美術館	坂倉準三建築研究所				○				○									○
89	1970	45	7	○		箕面観光ホテルの増築	坂倉建築研究所		○
90	1970	45	9	○		垂水市役所庁舎の改増築	衛藤建築設計事務所	○						○														○
91	1970	45	12	○		小西本社屋	竹中工務店							○
92	1971	46	1	○		東洋信託銀行大阪駅前支店	三座建築事務所								○
93	1971	46	1	○		続　私の家	清家清＋デザインシステム
94	1971	46	4	○		井筒屋本店増改築	日建設計大阪事務所		○					○
95	1971	46	8	○		三越松山支店	横河建築設計事務所							○
96	1971	46	10	○		山王の家	デザインシステム			○
97	1972	47	2		○	保存と開発をめぐって	—													○
98	1972	47	10		○	旧近衛師団司令部が近代美術館分館に	—													○
99	1972	47	11	○		鶴屋百貨店本店	日建設計		○		○
100	1973	48	3	○		高輪プリンスホテル洋館改装	村野・森建築事務所				○										○			○
101	1973	48	7	○		O邸の改造	坂倉準三建築研究所大阪事務所	○												○
102	1973	48	8	○		水かがみの間　名古屋「河文」座敷	谷口吉郎		○
103	1973	48	11	○		松山市庁舎	石本建築事務所		○
104	1974	49	1	○		彫刻の森ホテル	鹿島建設		○
105	1974	49	4	○		広島グランドホテル新館	清水建設		○
106	1974	49	5		○	歴史的空間の現在1	長谷川堯		○		○									○
107	1974	49	6		○	歴史的空間の現在2	長谷川堯		○											○						○			○	○
108	1974	49	7	○		倉敷アイビースクエア	浦辺建築事務所	○												○				○					○
109	1974	49	7		○	歴史的空間の現在3	長谷川堯				○									○
110	1974	49	8		○	歴史的空間の現在4	長谷川堯	○										○		○						○					○
111	1974	49	10		○	中京郵便局「外壁保存」で改築	—	○		○										○												○
112	1974	49	11	○		ヤマギワ・ライティング・ハウス	L..D.ヤマギワ研究所	○			○									○				○
113	1975	50	2		○	日銀大阪支店本館・永久保存に	—	○												○
114	1975	50	2	○		東京芸大陳列館・45年ぶりに改装	—		○		○													○
115	1975	50	4	○		ホテル「嵐亭」	指宿真智雄							○						○
116	1975	50	4		○	歴史的空間の現在5	長谷川堯													○												○	○
117	1975	50	5		○	居候の建築	木島安史			○	○									○				○	○									○
118	1975	50	5	○		東京大学工学部六号館増築	香山アトリエ				○									○				○
119	1975	50	5	○		日本橋東海ビル	日建設計・東京														○
120	1975	50	5	○		辻氏住宅改装	中島龍彦建築事務所	○			○
121	1975	50	5		○	歴史的空間の現在6	長谷川堯		○		○			○	○					○	○										○	○
122	1975	50	11	○		倉敷中央病院第1期	浦辺建築事務所		○	○				○						○	○
123	1975	50	11		○	歴史的空間の現在10	長谷川堯				○									○												○
124	1975	50	12		○	歴史的空間の現在11	長谷川堯			○					○					○
125	1976	51	1		○	フランス	羽生修二	○	○											○									○

データ4　既存建築の活用に関する記事と使用言語

126	1976	51	1	○		善光寺別院願王寺	AZ Institute　山崎泰孝								○		○			○					○																																				
127	1976	51	2	○		五千尺旅館	村田政真建築設計事務所			○	○				○																																																
128	1976	51	3		○	「東銀本店」顛末記	—		○		○									○												○			○																										
129	1976	51	4	○		国際文化会館　増改築	前川國男建築設計事務所		○	○	○			○	○																																														
130	1976	51	5		○	明治村「旧帝国ホテル」復元される	—											○		○	○																																											
131	1976	51	6	○		松尾神社	木島安史＋YAS都市研究所			○																																																		
132	1976	51	8		○	中京郵便局-旧京都郵便電信局の増改築	郵政省大臣官房建築設計課		○	○				○						○									○			○																												
133	1976	51	9	○		もくせいのある家	アトリエ515A		○					○											○																																			
134	1976	51	9	○		鎌倉の家	清家清＋デザインシステム																																																				
135	1977	52	2	○		歌舞伎座増築	木村建築設計事務所・砧建築総合研究所		○																																																			
136	1977	52	4	○		サウンド・シティ	鹿島建設				○														○					○																														
137	1977	52	6		○	同志社大学ハリス理科学館の保存工事終わる	—	○											○																																								
138	1977	52	6	○		ロンシャン本社ビル—改装	竹中工務店				○																																																	
139	1977	52	7	○		常陸宮邸	村野藤吾　宮内庁管理部																																																				
140	1977	52	8	○		農家の改造—笠幡の家	独楽蔵	○									○		○																																								
141	1977	52	8	○		ある民家の再生	日本設計事務所大阪支社	○			○			○	○		○	○		○				○					○																															
142	1977	52	9	○		明治屋フードプラザ広尾	清水建設建築設計本部																	○																																			
143	1977	52	10		○	保存について近頃また考えること	長谷川堯											○		○	○											○	○			○																									
144	1977	52	11	○		岡山中央郵便局	郵政省大臣官房設計部																																																				
145	1978	53	1	○		工芸館に再生—旧近衛師団	谷口吉郎																	○																																			
146	1978	53	1		○	リサイクリング時代の本格的な展開	村松貞次郎								○					○				○							○			○		○																							
147	1978	53	5	○		熊本地方・簡易裁判所合同庁舎	最高裁判所事務総局経理局営繕課													○																	○																					
148	1978	53	5	○		日本通運ビルディング　外装のリノベイション	日通不動産								○																					○		○																					
149	1978	53	5	○		中京郵便局庁舎	郵政大臣官房建築部								○					○	○	○		○							○																													
150	1978	53	10		○	「山口県旧県議会議事堂」—「資料館」で永久保存	—													○	○																																							
151	1978	53	12	○		福岡山の上ホテル	清水建設建築設計本部九州支店設計課		○																																																			
152	1979	54	1	○		新宿ステーションビル	鉄道会館設計事務所								○									○																																			
153	1979	54	3	○		銀座ハタビルの改装	大成建設				○				○																																												
154	1979	54	5		○	心象に写す　近代建築保存の原点	村松貞次郎								○					○				○		○			○			○																											
155	1979	54	7	○		金沢市立図書館	谷口吉郎								○					○	○																																							
156	1980	55	5		○	明治村　新たに3件が移築	—											○																																									
157	1980	55	9	○		上野松坂屋の改装	竹中工務店・鈴木エドワード建築設計事務所				○				○											○																															
158	1980	55	9		○	遠藤新の旧近藤邸-移築・保存に決まる	—											○		○																																							
159	1980	55	9	○		山の上ホテル本館改修	アトリエ・アイ		○						○					○							○																																	
160	1980	55	9		○	いま，保存の季節はめぐる	新建築社編集部		○						○					○				○																																			
161	1981	56	1	○		近代建築の再生・原美術館	原俊夫				○									○				○																																			
162	1981	56	1	○		利賀山房	磯崎新アトリエ	○																																																			
163	1981	56	2	○		名古屋市公会堂・改修	戸田建設								○					○				○																																			
164	1981	56	3	○		日本コロムビア録音スタジオ	清水建設								○																																											
165	1981	56	5		○	日銀松山と三銀京都の改築計画の要望書	日本建築学会			○										○																																								
166	1981	56	6	○		番匠邸・増築	安藤忠雄建築研究所		○																																																			
167	1981	56	7	○		VIA・明治画廊	清水峰次　建築・環境研究室			○																																																		
168	1981	56	7	○		新喜楽　竹の間	板垣元彬建築事務所			○																																																		
169	1981	56	9	○		横浜開港資料館	浦辺建築事務所	○							○					○			○		○				○																																
170	1981	56	10		○	兵庫県庁南庁舎が現地保存へ	—			○										○				○					○		○																																
171	1982	57	2	○		三国町郷土資料館	品川建築事務所・神谷建築事務所														○																																						
172	1982	57	2		○	よみがえった幻の名建築　港町みくに	—								○						○					○																																		
173	1982	57	3	○		角田山妙光寺客殿	東京工業大学茶屋研究室																	○																																			
174	1982	57	6	○		改修—北野らんぷ館	天藤建築設計事務所	○							○																																												
175	1982	57	7	○		栃木県立美術館常設展示場	栃木県土木部建築課　川崎清＋環境建築研究所		○																																																			
176	1982	57	8		○	歴史を継承する新建築会館	—													○					○								○																											
177	1982	57	8	○		札幌の家　自邸増築	上遠野建築事務所		○																																																			
178	1982	57	9	○		白鹿記念酒蔵博物館　白鹿記念館	大林組				○				○					○																																								
179	1982	57	10		○	小樽市で小樽倉庫を買い上げ保存	—													○																																						
180	1982	57	12	○		川口金属工業事務棟	RE設計事務所			○																																																		
181	1983	58	1	○		ギャラリー上田　ウエアハウスギャラリー	DEN住宅研究室				○												○																																			
182	1983	58	1	○		雅陶堂ギャラリー竹芝	インテルナ・ミラノ				○																																																	
183	1983	58	3		○	福岡県庁舎の保存をめぐって	大森久司											○		○				○						○				○																												
184	1983	58	3		○	三井銀行京都支店の改築について	山崎正史			○										○												○	○																												
185	1983	58	3		○	山形県旧県庁舎の保存と活用	本間利雄													○																																						
186	1983	58	3		○	旧豊多摩監獄の消滅	藤森照信											○		○										○																														
187	1983	58	3		○	建築的想像力の試される時	長谷川堯	○	○	○				○	○			○		○	○			○	○				○			○							○																							
188	1983	58	3	○		建築会館	秋元和雄設計事務所													○												○																												
189	1983	58	3	○		神戸市立博物館	神戸市住宅局営繕部　坂倉建築研究所大阪事務所	○	○		○				○									○					○																														
190	1983	58	3		○	神戸・博物館	太田隆信											○		○						○			○																														
191	1983	58	3	○		群馬会館	群馬会館改修設計共同企業体	○						○	○						○			○																																			
192	1983	58	3	○		慶応義塾図書館・旧館	槇総合計画事務所	○	○					○	○					○																																								
193	1983	58	3	○		長瀬産業本社ビル	竹中工務店	○	○						○										○																																			
194	1983	58	3	○		大谷大学本部・研究室棟	川崎清＋環境・建築研究所		○								○			○				○											○																									
195	1983	58	3	○		北大路高野団地集会場	川崎清＋環境・建築研究所	○			○									○				○																																			
196	1983	58	3		○	イタリア人の都市再生	陣内秀信	○													○				○																																			
197	1983	58	3	○		姫路市立美術館	創設計事務所	○							○					○				○		○			○																																
198	1983	58	3	○		六甲パインモール	竹中工務店		○											○				○					○																														
199	1983	58	3	○		如水会館	三菱地所			○										○																																						
200	1983	58	3	○		大龍堂書店	吉村篤一　建築環境研究所	○			○																																																	
201	1983	58	3	○		長野の家	小野建築・環境計画事務所	○		○										○			○	○																																			
202	1983	58	3	○		賀川豊彦記念松澤資料館・松澤幼稚園	阿部勉　アルテック建築研究所											○		○																					○																				
203	1983	58	4	○		加藤近代美術館	富樫耕一			○	○										○				○	○																																			
204	1983	58	4	○		鈴鹿電気通信学園体育館	日本電信電話公社建築部	○							○																																												
205	1983	58	6		○	南部町郵便局の改修工事終了	—				○				○																																												
206	1983	58	8	○		早稲田のゲストルーム	設計組織アモルフ		○		○				○																																												
207	1983	58	12	○		旧たくんち	倉本たつひこ建築計画室			○				○																																													
208	1984	59	1	○		改造/建築家のオフィス	張清嶽	○	○																																																		
209	1984	59	1	○		旧倉敷市庁舎　美術館に　-近代建築も保存の時期	浦辺建築事務所													○						○																	○																			
210	1984	59	2	○		袖ヶ浦町庁舎	榎本建築設計事務所		○																																																			
211	1984	59	2	○		御代田の家	小沢明建築研究室													○				○									○																											
212	1984	59	6	○		東京大学経済学部校舎増改築	香山アトリエ/環境造形研究所	○	○		○			○	○					○					○																																					
213	1984	59	8	○		千石の増築	葛西秀一郎		○																																																			
214	1984	59	11		○	「ガス資料館」新装オープン	—				○							○			○							○																														
215	1984	59	11	○		緑艸舎	宮本忠長建築設計事務所				○				○			○		○	○		○	○						○												○																				
216	1985	60	1	○		京都三井ビルディング	久米建築事務所			○										○	○			○	○				○				○									○																				
217	1985	60	2	○		イメージの継承　千松会館	戸所岩雄・計画工房																		○				○																														
218	1985	60	3		○	ヨーロッパにおけるコンサーベーション	田原幸夫													○				○							○																													
219	1985	60	4		○	「主婦の友社」外壁保存で建て替え	磯崎新アトリエ		○										○												○																												
220	1985	60	5	○		ホテルレヴュー（海外）	鹿島建設													○				○																	○																				
221	1985	60	5	○		コンサートホール　西の洞	Team　Zooアトリエモビル＋小林誠																						○																														
222	1985	60	6	○		バルブショップ	隈研吾＋TLヤマギワ研究所				○																																																	
223	1985	60	6	○		旧・高輪消防署の保存再利用	東京消防庁総務部施設課								○					○	○		○						○																														
224	1985	60	6	○		旧・兵庫県庁舎の現地保存・再利用	兵庫県都市住宅部営繕課・設備課			○					○			○		○	○			○		○				○													○																			
225	1985	60	7	○		コープビレッジ神泉	井上英夫建築設計事務所		○		○																																																	
226	1985	60	8	○		蒲江町立蒲江中学校特別教室棟	青木茂建築工房		○																																																			
227	1985	60	8	○		御堂筋又ービル	竹中工務店													○	○																																							
228	1985	60	10	○		多田善昭の仕事場	多田善昭建築設計事務所														○					○			○																														
229	1985	60	11	○		川崎市立葬祭場	川崎市建築局　神谷・荘司計画設計事務所			○				○																																													
230	1985	60	12	○		鳥羽グランドホテル増築	土岐新建築総合計画事務所		○																																																			
231	1985	60	12	○		すや—改造	白井晟一研究所・白井昱磨	○		○					○												○																																	
232	1985	60	12	○		渋谷東急プラザ	浜野商品研究所	○			○																											○																						
233	1986	61	1	○		東京ガス新宿総合展示場	石山修武＋ダムダン空間工作所			○	○												○																																			
234	1986	61	3	○		イサムノグチアトリエ	イサムノグチ　山本忠司	○		○								○																																									
235	1986	61	4	○		水月園一カ「長生風呂」	羽深隆雄　栴工房設計事務所		○					○																																													
236	1986	61	6	○		赤福本店五十鈴茶屋	竹中工務店		○						○					○	○																					○																				
237	1986	61	10	○		熊本マリスト学園増改築	野中建築事務所		○					○																																													
238	1986	61	10	○		脇町立図書館	神戸大学重村研究室　Team　Zooいるか設計集団	○													○	○			○		○																																	
239	1986	61	12	○		スーパー梱包計画	山本理顕設計工場		○						○																																												
240	1987	62	3	○		大同生命福岡支社旧社屋の移築再生保存	指宿真智雄	○									○	○		○			○	○		○			○			○																												
241	1987	62	4	○		太平エンジニアリングビル新館	船越徹＋ARCOM		○																																																			
242	1987	62	4		○	ニューヨークにおけるアールデコ	青木茂													○				○																																			
243	1987	62	4		○	近代大名の館を再現する	早川正夫							○				○		○		○	○											○							○																				
244	1987	62	5	○		旧東京音楽学校奏楽堂	文化財建造物保存技術協会													○	○								○																														
245	1987	62	5	○		日本火災横浜ビル	日建設計													○												○																												
246	1987	62	7	○		盈進学園東野高校	環境構造センター		○		○																																																	
247	1987	62	8	○		大日本製薬本社ビル増築	竹中工務店		○																																																			
248	1987	62	8	○		VILLA DEL SOL	志水正弘　林公子	○	○									○					○					○																														
249	1987	62	9	○		福岡大同生命ビル	指宿真智雄・建築デザイン											○		○				○	○															○	○																				
250	1987	62	11	○		装冠の建築Ⅴ-DOREMI・fa	アルキービ建築・造形・計画事務所																																					○																		
251	1987	62	12	○		千葉英和高等学校	内井昭蔵建築設計事務所				○			○	○																																												
252	1987	62	12	○		やまさと保育園（改装）	笠嶋建築工房				○																																																	

データ4　既存建築の活用に関する記事と使用言語

253	1987	62	12	○		サッポロビール開拓使麦酒記念館	大成建設				○				○					○																	○																							
254	1988	63	1	○		お茶の水スクエアA館	磯崎新アトリエ														○					○																																		
255	1988	63	2		○	古都倉敷の都市設計を織りなす大切な「横糸」	西和夫	○	○						○					○					○																																			
256	1988	63	6	○		平福記念館	大江宏建築事務所													○				○																																				
257	1988	63	7	○		ベルリン日独センター（海外）	黒川記章建築都市設計事務所＋山口泰治								○					○																																								
258	1988	63	8		○	洋風街並みの保全再生-函館の倉庫群	田村明													○	○			○																						○																
259	1988	63	8	○		JR四国・駅舎改修工事	山本忠司建築総合研究室								○																																															
260	1988	63	9		○	保存の現場から	村松貞次郎													○									○			○																												
261	1988	63	9		○	〈保存と再生〉の新しい視座を求めて	石田繁之介	○			○				○					○				○				○	○			○									○				○		○	○														
262	1988	63	9	○		函館ウォーターフロント（函館ヒストリープラザ）	北海道岡田新一設計事務所								○					○				○		○																																				
263	1988	63	10	○		インテリアランドスケープ3題	早川邦彦建築研究室																																						○																		
264	1988	63	11	○		金陵の郷	大成建設																			○																																				
265	1989	64	2	○		京都府京都文化博物館	京都府土木建築部営繕課等	○		○																																	○																			
266	1989	64	4	○		東京大学御殿下記念館	芦原建築設計研究所								○		○	○		○				○	○				○																																	
267	1989	64	6	○		日本火災横浜ビル	日建設計・東京													○	○			○		○			○												○						○													
268	1989	64	8		○	近代木造住宅の解体・移築・保存	内田祥士		○	○								○		○																																								
269	1989	64	8	○		エスカミューズ	若林広幸建築研究所			○	○																																				○															
270	1989	64	10		○	銀行倶楽部と第一生命館	—													○																																								
271	1989	64	10	○		日本信託銀行本店	坂倉建築研究所東京事務所													○				○																								○													
272	1989	64	10	○		蘇生—塚ロステップナウ今西Ⅲ	木村博昭　KsArchitects		○					○										○			○																																	
273	1989	64	12	○		アドバンテスト・ゲストハウス	佐々木宏建築研究室								○									○																																				
274	1989	64	12	○		セゾン美術館	アーキテクトファイブ　竹中工務店	○			○														○																																			
275	1989	64	12	○		玉川高島屋SC本館20周年リニューアル	彦坂裕　スペースインキュベータ		○		○														○																		○																	
276	1990	65	2	○		伊丹市立工芸センター・美術館増築	伊丹市建設部建築課＋坂倉建築研究所大阪事務所		○								○			○																																								
277	1990	65	2	○		有楽町一丁目ビル	清水建設一級建築士事務所　ケヴィンローチ等													○				○																																				
278	1990	65	3	○		寛明堂写真館	ライブ設計室		○					○			○																																									
279	1990	65	9	○		横浜指路教会	堀江悦男設計事務所								○						○																																					
280	1990	65	9	○		盛田味の館	アートステージ	○																																																			
281	1990	65	11	○		TERRADA　寺田倉庫本社改装	上田徹・玄綜合設計				○																																																
282	1990	65	12	○		文房堂ビル	佐野建築研究所								○					○														○																										
283	1991	66	3		○	建築学会が同志社中・高等学校の保存を要望	—													○																																						
284	1991	66	3	○		孔子廟改修	葉デザイン事務所								○																																											
285	1991	66	4	○		修善寺フォーラム渡月　1990	富永譲＋ファルムシステム研究所		○	○				○	○									○	○														○																			
286	1991	66	7	○		ホテル石松	青木茂建築工房		○		○				○									○																																		
287	1991	66	10	○		日総リッツカールトン-サンフランシスコ	鹿島アソシエーツ			○										○																					○																			
288	1991	66	12	○		やませ蔵美術館	二宮設計事務所								○									○																																		
289	1991	66	12	○		由布院駅舎	磯崎新アトリエ			○																																																
290	1991	66	12	○		山口蓬春記念館	大江匡　プランテック		○											○																							○																	
291	1991	66	12	○		新南座	杉山隆建築設計事務所			○					○					○	○				○																																	
292	1991	66	12	○		キクカワ・テクノ・プラザ（ジョイガーデン・工場改修）	アーキドリーム+鈴木アーキテクツ								○																																											
293	1992	67	1		○	竹中工務店が東京理科大学旧校舎を復元	—			○											○																																					
294	1992	67	1	○		目黒雅叙園	日建設計								○						○				○				○										○							○												
295	1992	67	7	○		竹茂楼	杉山隆建築設計事務所				○										○																																					
296	1992	67	7	○		田川市文化エリア	徳岡昌克建築設計事務所		○						○																																											
297	1992	67	9	○		サッポロビール園ポプラ館	大成建設　久保勝彦																	○	○																																	
298	1993	68	2	○		大樋ギャラリー	大江匡　プランテック		○																																																	
299	1993	68	2	○		川越龜屋	大江匡　プランテック		○	○														○																						○												
300	1993	68	3	○		第四銀行本店	清水建設							○	○									○																	○																			
301	1993	68	11		○	旧法務省本館改修工事行われる	—								○					○	○																																					
302	1993	68	11	○		駒沢オリンピック公園総合運動場・体育館・管制塔（改修）	芦原建築設計研究所				○				○									○																							○											
303	1993	68	11	○		あいく幼稚園ANNEX	岩本秀三設計事務所		○																																																	
304	1994	69	1	○		DNタワー21（第一・農中ビル）	清水建設一級建築士事務所　ケビン・ローチ等		○						○					○				○	○														○							○												
305	1994	69	2		○	栃木県庁舎本館・自由学園明日館の保存要望書	—													○																																						
306	1994	69	2		○	近代主義建築は残せるか	村松貞次郎													○									○																													
307	1994	69	2		○	記憶と創造が出会う場所	中川武													○					○																																	
308	1994	69	3	○		カトリック川越教会	中屋伸茂＋央建築設計事務所													○				○					○																													
309	1994	69	4	○		三越倉敷川館	浦辺設計													○				○															○																			
310	1994	69	4	○		大原美術館本館増築	浦辺設計		○						○					○									○																													
311	1994	69	4	○		宇部市渡辺翁記念会館改修	村野・森建築事務所								○																								○																			
312	1994	69	8	○		日本理容美容専門学校	武市義雄＋REA建築工房		○	○																																																
313	1994	69	9	○		中央合同庁舎第6号館赤レンガ棟	建設大臣官房官庁営繕部								○					○			○																○																			
314	1994	69	9	○		ヤナコーグループ社屋	海老沢宏環境工房											○																							○																			
315	1994	69	11		○	県立音楽堂の改修再生決定	—								○									○																																		
316	1994	69	11		○	近代建築はいかに生き残れるか	馬場璋造								○									○																																		
317	1995	70	2	○		佐倉市立美術館	坂倉建築研究所東京事務所大阪事務所														○								○																													
318	1995	70	4		○	「大分県立図書館」保存問題をめぐって	青木茂													○									○				○																									
319	1995	70	4	○		千葉市美術館・中央区役所	大谷幸夫・大谷研究室													○	○			○							○																											
320	1995	70	4	○		野田市兵衛商店/BRIDGES	ワークショップ		○					○																																												
321	1995	70	5		○	鎌倉市立御成小学校・JR軽井沢駅舎で保存活動展開	—			○								○		○																																						
322	1995	70	5	○		四季彩一力	羽深隆雄・栴工房設計事務所		○					○	○																																											
323	1995	70	7	○		ホテルブレストンコート	東孝光＋東環境・建築研究所/東利恵		○		○			○	○									○				○																														
324	1995	70	8	○		在日アメリカ大使館大使公邸修復	RTKL								○					○				○																																		
325	1995	70	11	○		善光寺外苑-西の門	アトリエ・メタモルフォーゼ　上松祐二研究室　北野建設								○					○				○																																		
326	1995	70	11	○		山梨学院大学大学院棟	高垣建築総合計画								○									○															○																			
327	1995	70	12	○		降星の甍　星田民家改造計画	新田正樹建築空間アトリエ	○													○																																					
328	1996	71	1	○		DNタワー21（第一・農中ビル）	清水建設一級建築士事務所　ケビン・ローチ等								○		○			○	○			○															○							○												
329	1996	71	5	○		酒蔵ホール	若竹・聖設計共同企業体								○									○	○																															
330	1996	71	6	○		東京都新宿区立西戸山小学校（内部改修）	東京都新宿区建築部営繕化課　藤木隆男建築研究所								○						○			○																																		
331	1996	71	7	○		ミュージアムパーク　アルファビア	武田光史建築デザイン事務所																	○																																		
332	1997	72	2	○		蔵史館　金山町街並みづくり資料館	林寛治＋林哲也																	○																																		
333	1997	72	4	○		ホテルブレストンコート（レストラン棟）	東孝光＋東環境・建築研究所/東利恵		○						○									○																																		
334	1997	72	4	○		大阪松竹座	ユー・アソシエイツ								○					○				○							○																											
335	1997	72	5	○		スタジオKAZ	松島健建築設計事務所		○						○																																											
336	1997	72	5	○		金沢市民芸術村	水野一郎＋金沢計画研究所								○					○				○					○									○																						
337	1997	72	5	○		大手町野村ビル	大成建設一級建築士事務所													○	○			○																																		
338	1997	72	5		○	都市の継承	村松貞次郎													○					○		○		○																													
339	1998	73	2	○		熊本県立天草工業高等学校	室伏次郎/スタジオ　アルテック＋SDA建築設計事務所共同体								○										○																					○												
340	1998	73	4	○		旧門司税関	大野秀敏＋アプル総合計画事務所								○					○	○					○																																
341	1998	73	5		○	旧第一銀行熊本支店を保存	石井清喜													○																																						
342	1998	73	6	○		海岸ビル	昭和「飛行機工業　竹中工務店													○	○																																					
343	1998	73	6	○		酒ミュージアム　酒蔵館	大林組本店設計部		○						○					○				○					○												○																			
344	1998	73	6	○		旧神戸居留地十五番館	文化財建造物保存技術協会													○			○						○																													
345	1998	73	7	○		群馬県立近代美術館現代美術棟	磯崎新アトリエ　中森紫光建築工房		○					○																																												
346	1998	73	7	○		アートプラザ　磯崎新記念館	磯崎新アトリエ　山本靖彦建築設計工房								○					○	○			○		○			○																													
347	1998	73	7	○		早稲田大学會津八一記念博物館	早稲田大学古谷誠章研究室				○				○						○																																					
348	1998	73	7	○		国立西洋美術館	建設省関東地方建設局営繕課　前川建築設計事務所								○					○	○			○																																		
349	1999	74	3		○	旧毎日新聞社改修工事顛末記	若林広幸													○																																						
350	1999	74	6	○		神戸税関　本関	建設省近畿地方建設局営繕課　日建設計								○					○				○																																		
351	1999	74	6	○		生き続ける近代建築　東京文化会館の大改修	前川建築設計事務所								○												○														○																	
352	1999	74	7	○		直島・家プロジェクト　南寺	安藤忠雄建築研究所								○					○				○																																		
353	1999	74	8	○		山田洋次邸アトリエ	横河健/横河建築設計事務所				○				○																																											
354	1999	74	8	○		カルティエ銀座ビル	ジャン・ミッシェル・ヴィルモット				○				○																																											
355	1999	74	8	○		宇目町役場庁舎	青木茂建築工房		○					○	○									○											○													○										
356	1999	74	8	○		太田市立休泊小学校	日本建築都市診断協会/田中雅美等	○	○						○												○										○		○			○								○									
357	1999	74	12	○		鎌倉市立御成小学校	久米設計													○				○					○																													
358	2000	75	3		○	リノベーション/コンバージョン/ストック型建築へ	森島清太（KAJIMA　DESIGN）	○							○					○				○															○				○							○	○								
359	2000	75	6		○	新宿三井ビルディングリニューアル	村尾成文/日本設計								○									○																	○																	
360	2000	75	8	○		古い蔵の構造体を残し新しい建築をつくる	吉岡徳二デザイン研究所											○																				○																						
361	2000	75	9	○		FABRICA　ベネトン・アートスクール（海外）	安藤忠雄建築研究所								○					○				○					○																						○							
362	2000	75	9	○		石の美術館	隈研吾建築都市設計事務所								○									○					○																													
363	2000	75	9	○		日本免疫治療学研究会　瀬田クリニック	辰野武山設計事務所								○									○																																		
364	2000	75	10		○	首相はどこに住むか	鈴木博之	○	○		○				○					○				○	○					○							○																					
365	2000	75	10	○		旧イタリア大使館夏季別荘改修	レーモンド設計事務所								○						○																																					
366	2000	75	10	○		日光田母沢御用邸記念公園本邸の改修	栃木県土木部建築課							○				○		○			○			○																																
367	2000	75	10	○		東京大学工学部2号館	東京大学施設部　東京大学工学部建築計画室								○					○				○															○																			
368	2000	75	10	○		上京のデイケアセンター	河井事務所								○																																											
369	2000	75	10	○		みちのく風土館	阿部仁史アトリエ		○		○																																															
370	2000	75	10	○		野津原町多世代交流プラザ	青木茂建築工房		○																																							○										
371	2000	75	10		○	建築のリニューアルは今	清家剛								○					○				○																	○							○									

372	2001	76	1	○		南岳山光明寺	安藤忠雄建築研究所																		○																																						
373	2001	76	2	○		ヴァレオ・ユニシア・トランスミッション	岡部憲明アーキテクチャーネットワーク		○	○	○			○	○									○	○																		○																			
374	2001	76	2	○		津田梅子記念交流館	大成建設設計本部		○						○										○																																					
375	2001	76	2	○		葉山の別荘	建築設計SPEED STUDIO				○																																																				
376	2001	76	3	○		白く塗れ メゾン・マルタン・マルジェラの恵比寿のショップ	青木淳							○	○					○																																											
377	2001	76	3	○		新風館	NTTファシリティーズ＋リチャードロジャースパートナーショップジャパン		○						○																○																															
378	2001	76	4	○		浦安のクリニック	高橋堅建築設計事務所			○																																																			
379	2001	76	5	○		松屋銀座リニューアル1期	大成建設設計本部								○																											○																					
380	2001	76	6		○	歴史的集合住宅の継承と再生	大月敏雄													○				○	○																																					
381	2001	76	7	○		光の学校	渡辺和生/惟建築計画			○																																																			
382	2001	76	7	○		桐蔭学園 メモリアルアカデミウム	栗生明＋栗生総合計画事務所											○		○	○																						○																					
383	2001	76	8	○		山口きらら博 集合館	日本設計九州支社																						○								○																	○						
384	2001	76	8	○		山口きらら博 山口県館	窪田勝文/窪田建築アトリエ																			○																													○						
385	2001	76	9	○		東京大学総合研究博物館小石川分館	東京大学キャンパス計画室＋工学部建築研究室		○						○			○																																												
386	2001	76	9	○		八女市多世代交流館「共生の森」	青木茂建築工房		○															○																										○											
387	2001	76	10	○		直島・家プロジェクト 「ぎんざ」	内藤礼																																																								
388	2001	76	10	○		直島「スタンダート展」旧卓球場	木村優＋アートステーション	○							○																																															
389	2001	76	10	○		衆議院議長公邸	内井昭蔵＋内井昭蔵建築設計事務所	○		○				○																													○																					
390	2001	76	10		○	月評	曽我部昌史	○							○						○				○						○								○			○													○													
391	2001	76	11	○		再生したフランク・ロイド・ライトの空間 「自由学園明日館」	文化財建造物保存技術協会		○						○					○			○	○	○																																							
392	2001	76	12	○		アルマーニ/テアトロ（海外）	安藤忠雄建築研究所								○					○				○		○																																					
393	2001	76	12	○		ウカイ リゾート	森義純建築設計室														○			○																			○																					
394	2002	77	1	○		逆シャッターのギャラリー PAMB	坂茂建築設計								○									○																																							
395	2002	77	1	○		アルテピアッツァ美唄	安田侃																	○																																							
396	2002	77	1	○		fijikawa gallery/next	清水敏男																	○																																							
397	2002	77	1	○		ISSEY MIYAKE FROM 1st	ヤノベケンジ								○									○																																							
398	2002	77	1		○	高齢化するニュータウンに不要になったもの，必要とされるもの	上野淳																	○					○																							○										
399	2002	77	2	○		東京国立近代美術館増改築	国土交通省関東地方整備局営繕課 坂倉建築研究所東京事務所							○	○					○				○																			○																					
400	2002	77	2	○		茨城県立図書館	茨城県土木部営繕課 日建設計								○									○		○																	○																					
401	2002	77	2	○		東京ワンダーサイト	ライフスケープ研究所		○		○				○																													○																					
402	2002	77	3	○		M-premier 大丸心斎橋店	文田明仁デザインオフィス				○																																																				
403	2002	77	4	○		東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス増築	湯澤正信/湯澤建築設計研究所		○																																																						
404	2002	77	5	○		「旧第一銀行神戸支店」の外壁保存	大林組本店設計部																									○																															
405	2002	77	6	○		横浜赤レンガ倉庫1号館・2号館	新居千秋都市建築設計							|○|			|○|																																												
406	2002	77	6	○		立教大学第一食堂	立教大学管財部施設課 坂倉建築研究所東京事務所		○					○	○					○																								○																					
407	2002	77	6	○		エルミタージュ・カレーム	小杉栄次郎＋内海彩/KUS								○									○		○																							○												
408	2002	77	6	○		延岡ホテル増築	小澤丈夫＋小澤エリコ/TEOarchitects		○					○																																																
409	2002	77	6	○		ブリティッシュ・カウンシル東京センター	CDI青山スタジオ			|○|																																																		
410	2002	77	7	○		国立国会図書館 国際子ども図書館	安藤忠雄建築研究所＋日建設計		○	○					○					○				○	○				○																			○												
411	2002	77	7	○		THE GATE	有馬裕之＋Urban Fourth				○													○																			○																					
412	2002	77	11		○	オフィスのコンバージョン 「空」を「宝」にするために	松村秀一								○									○		○											○		○												○	○									
413	2002	77	12	○		大阪市中央公会堂	大阪市住宅局営繕部 坂倉・平田・青山・新日設共同企業体		○						○					○			○	○																																							
414	2003	78	2	○		土佐山田の舎	山本恭弘/聖建築研究所	○						○	○									○																															○						
415	2003	78	2	○		奥備中風土記念館	丹波建築設計事務所								○					○				○					○																																	
416	2003	78	2	○		直島・家プロジェクト 護王神社	杉本博司								○																																														
417	2003	78	3	○		コムデギャルソン大阪店	カワサキタカオオフィス																																			○																					
418	2003	78	3	○		長養館	志水正弘＋林公子/名城大学環境創造学科								○																																													
419	2003	78	3	○		表参道テラスハウス	堀部安嗣建築設計事務所				○				○																											○								○													
420	2003	78	3	○		ピカデリー公園	安藤忠雄建築研究所								○									○	○																							○												
421	2003	78	3		○	アメリカ，リノベーションの文化	小笠原正豊								○					○					○													○																						
422	2003	78	4	○		旧新橋停車場復元駅舎	日本設計・JR東日本建築設計事務所													○	○																																○					
423	2003	78	4	○		目黒区総合庁舎	安井建築設計事務所								○																																													
424	2003	78	5	○		MARUTAKI	丸山洋志/丸山アトリエ 池田昌弘/池田昌弘建築研究所			○	○																																																			
425	2003	78	5	○		コウチマーケット	長尾亜子＋大成優子			|○|																																																		
426	2003	78	5	○		日本工業倶楽部会館・三菱信託銀行本社ビル	三菱地所設計													○				○	○															○																						
427	2003	78	6	○		武蔵工業大学 SAKURA CENTER＃14	岩崎堅一・武蔵工業大学岩崎研究室		○															○	○					○																			○												
428	2003	78	7	○		華鐵	kt一級建築士事務所		|○|																																																			
429	2003	78	9	○		安曇野高橋節郎記念美術館	宮崎浩/プランツアソシエイツ				○													○		○																																				
430	2003	78	9	○		JR渋谷駅改修計画	隈研吾建築都市設計事務所 jr東日本東京支社建築課 jre設計								○																																													
431	2003	78	11	○		玉川高島屋SC新南館	大江匡/プランテック総合計画事務所＋松田平田設計		○						○									○																																							
432	2003	78	11	○		汐留インフィルプロジェクト	小嶋一浩＋赤松佳珠子/C+A																																																							
433	2003	78	11	○		名水市場 湧太郎	青島裕之建築設計室								○									○														○																							
434	2003	78	12		○	再生こそが生	東孝光	○						○										○																																						
435	2003	78	12	○		笹田学園田町校舎	山田幸司建築都市研究所								○									○																											○									
436	2003	78	12	○		cMA-1（元麻布コンバージョンプロジェクト）	池田靖史＋國分昭子/IKDS		○						○									○		○																											○									
437	2003	78	12	○		相田みつを美術館	入江経一＋PowerUnitStudio																																													○									
438	2004	79	1	○		横浜税関本関	香山・アプル設計共同体	○	○	○					○					○	○			○																																						
439	2004	79	1	○		上下町歴史文化資料館	斎藤正＋近畿大学工学部建築学科澤登研究室・轂工房	○												○				○	○	○							○						○									○				○									
440	2004	79	2		○	都市空間をコンバートする	佐藤考一		○						○									○		○				○																							○									
441	2004	79	2	○		ギャラリー門馬アネックス	アカサカシンイチロウアトリエ							○	○																																															
442	2004	79	4	○		京王八王子山川クリニック	藤木隆男建築研究所																	○														○																							
443	2004	79	5		○	いま建築家は何をデザインするのか 「ハコ」から「こと」へ	野城智也																	○																										○	○									
444	2004	79	5	○		横浜アイランドタワー	都市基盤整備公団 槇総合計画事務所								○			○		○	○				○															○																				
445	2004	79	6	○		八女市立福島中学校屋内運動場	青木茂建築工房		○																				○																					○										
446	2004	79	6		○	バージョンアップするリファイン建築	青木茂																	○																									○		○									
447	2004	79	6	○		京都大学百周年時計台記念館	川崎清＋環境・建築研究所 京都大学施設・環境部			○					○					○				○	○																															○			
448	2004	79	6		○	Lattice 青山 評	新堀学								○										○																										○	○								
449	2004	79	8		○	歴史的建築物の保存再生を考える	大田道広							○	○					○				○																										○	○									
450	2004	79	8	○		屋上のランドスケープ	原田真宏＋原田麻魚 mount fuji architects studio								○																								○																						
451	2004	79	9		○	リノベーション・プロジェクトから街の活性化を	森司																					○										○																						
452	2004	79	9	○		セントラルビル	日埜直彦																	○													○		○													○									
453	2004	79	9	○		大和製薬	青木淳建築計画事務所																															○																						
454	2004	79	9	○		植物の家	アトリエ・ワン																	○														○																						
455	2004	79	9		○	保存と都市再生	後藤治								○					○			○	○																																					
456	2004	79	9	○		金刀比羅宮プロジェクト	鈴木了二建築計画事務所								○						○			○																																					
457	2004	79	9	○		ベネッセアートサイト直島オフィス	西沢立衛建築設計事務所	○		○	○																																																			
458	2004	79	9	○		G	青木淳建築計画事務所				○													○														○																						
459	2004	79	9	○		NMNL	青木淳建築計画事務所				○																											○																						
460	2004	79	10	○		明治安田生命ビル	三菱地所設計			○										○	○				○																																					
461	2004	79	11		○	再発見とリデザインから地方都市の再生を	小津誠一								○									○														○																				○		
462	2004	79	11	○		交詢ビルディング	清水建設											○		○	○																											○												
463	2004	79	11	○		早稲田大学本庄ドミトリー改修プロジェクト	山下設計							○																																															
464	2004	79	11	○		帝京大学八王子キャンパス 学生ラウンジ	城戸崎建築研究室		○																																																				
465	2004	79	12		○	再び「ものからの反撃」の時代へ	小林正美													○				○																										○									○	
466	2004	79	12	○		ディオール銀座	乾久美子建築設計事務所								○																																													
467	2004	79	12	○		松屋銀座 耐震外装	大成建設																																			○																					
468	2005	80	1		○	文化財の保存と修理	内田祥哉												|○|																																									
469	2005	80	1	○		ゼンカイハウス	宮本佳明/アトリエ第5建築界																				|○|																																	
470	2005	80	2	○		Y-House	Frank la Riviere,Architect																	○					○										○																						
471	2005	80	2	○		フィズ	SUPER-OS				○				○																																															
472	2005	80	2	○		1227号室	納谷学＋納谷新/納谷建築設計事務所																															○																						
473	2005	80	2	○		404号室	納谷学＋納谷新/納谷建築設計事務所			|○|																																																		
474	2005	80	2		○	renovation style	納谷学＋納谷新																	○														○																						
475	2005	80	3	○		NTT青山ビル改修	隈研吾建築都市設計事務所																															○													○									
476	2005	80	3	○		COCON KARASUMA	隈研吾建築都市設計事務所		○															○																											○									
477	2005	80	3	○		白いおもちゃ箱	今永和利/今永環境計画								○																							○																						
478	2005	80	3	○		香港沙田競技場パレードリング改築計画	松田平田設計		○	○																																																			
479	2005	80	6	○		quaranta1966	竹中工務店＋日本建設																	○																										○	○									
480	2005	80	6	○		IPSE都立大学	青木茂建築工房		○															○					○																					○										
481	2005	80	7	○		萬來舎継承空間	隈研吾建築都市設計事務所											○		○	○				○																																						
482	2005	80	7	○		千葉市立打瀬小学校増築棟	千葉市都市整備公社 小嶋一浩＋赤松佳珠子/Cat		○																																																			

データ4 既存建築の活用に関する記事と使用言語

No.	年	巻	号	作品	言説	建築作品名／言説題目	設計者／著者	改造	増築	改築	改装	復活	ウムパウ	増改築	改修	コンバイン	再使用	移築	保護	保存	復元	再用	復原	再生	継承	転用	蘇生	機種替え	再利用	再活用	コンサーベーション	外壁保存	部分保存	残存	記録保存	再築	リサイクル	記念碑的保存	リノベーション	記憶保存	再現	衣替え	リニューアル	現代的活用	リコンストラクション	リペアリング	新生	再構築	リフレッシュ	リファイン	ストック	コンバージョン	リフォーム	リユース	再々生	外観復元	イメージ復元	リデザイン	減築	増改修
483	2005	80	7	○		大阪証券取引所ビル	三菱地所設計・日建設計　設計監理共同体			○											○	○			○	○				○											○																					
484	2005	80	8	○		r-ST1（松涛リノベーションプロジェクト201／103	長岡勉＋土屋徹／point＋福津宣人								○																										○																					
485	2005	80	8	○		パシフィックレジデンス芝浦	長岡勉＋土屋徹／point＋松井亮／松井亮建築都市設計事務所								○																										○								○												
486	2005	80	9		○	新たなニューヨーク近代美術館(MoMA)へ	谷口吉生								○						○	○				○																																			
487	2005	80	9	○		月影の郷	NASA設計共同体他				○				○						○	○			○					○										○												○									
488	2005	80	10	○		民家再生計画	三分一博志＋土井一秀＋呉高專　富田研究室		○																○														○								○													
489	2005	80	10	○		三重県立美術館	三重県総務局営繕課　坂倉建築研究所		○					○	○																																													
490	2005	80	10	○		小金井カントリー倶楽部クラブハウス	日本設計　山下設計			○				○											○	○																																			
491	2005	80	10	○		旧富士銀行横浜支店　映像文化施設	横浜市まちづくり調整局　槇総合計画事務所		○						○						○																																								
492	2005	80	10	○		「ルネスホール」旧日銀岡山支店改修	佐藤建築事務所／岡山県設計技術センター								○						○					○														○																						
493	2005	80	10	○		金山町街並み交流サロン・ぽすと	林寛治														○					○																				○												
494	2005	80	12	○		ブリラーレ	クラインダイサムアーキテクツ		○						○																																													
495	2005	80	12	○		FURLA青山本店	杉千春＋高橋真奈美／プラネットワークス								○																											○						○												
496	2005	80	12	○		ルシェルブルー神戸	内山敬子＋学				○																																																
497	2005	80	12	○		佐伯市蒲江　海の資料館「時間の船」	青木茂建築工房																							○																					○								
498	2006	81	1	○		ロックフィールド神戸ヘッドオフィス／神戸ファクトリー	安藤忠雄建築研究所	○							○																						○		○																					
499	2006	81	1	○		日本橋三井タワー	シーザー・ペリアンドアソシエーツジャパン														○				○	○																																	
500	2006	81	1	○		ホワイトルーフ	渡部和生／惟建築計画		○																																																			
501	2006	81	2	○		アーバンBLD心斎橋	プランテック総合計画事務所				○				○																																													
502	2006	81	2	○		井の頭の住宅	トラフ建築設計事務所／鈴野浩一＋禿真哉																		○														○																					
503	2006	81	2	○		松原ハウス	菊池安建築設計事務所								○																								○																					
504	2006	81	2		○	設計手法のオルタナティブ	馬場正尊								○										○														○											○	○								
505	2006	81	3	○		cycle－かしのき保育園園庭改修プロジェクト	石原健也＋千葉工業大学石原研究室								○																										○																					
506	2006	81	5	○		明治生命館改修	竹中工務店								○						○																																							
507	2006	81	7	○		武蔵野陽和会病院	渡部和生／惟建築計画＋副島建築設計事務所			○																															○																					
508	2006	81	7	○		東京工業大学緑が丘1号館レトロフィット	東京工業大学安田幸一研究室＋竹内徹研究室								○																																														
509	2006	81	8	○		求同学舎リノベーション	近角建築設計事務所　集工舎建築都市デザイン研究所								○						○				○					○										○																					
510	2006	81	9	○		PALAZZO GRASSI（海外）	安藤忠雄建築研究所	○							○								○	○																																						
511	2006	81	9	○		TEATRINO（海外）	安藤忠雄建築研究所								○										○																				○															
512	2006	81	9	○		リバーリトリート雅楽倶ANNEX	内藤廣建築設計事務所		○																																																				
513	2006	81	9	○		銀山温泉　藤屋	隈研吾建築都市設計事務所		○						○							○																								○															
514	2006	81	9	○		国際文化会館本館保存再生	三菱地所設計		○	○					○						○	○																																							
515	2006	81	9		○	これまでの50年　これからの50年	鰺坂徹　小池秋彦（三菱地所設計）		○						○						○	○								○																															
516	2006	81	10	○		味の素グループ高輪研修センター	久米設計														○	○				○	○																																	
517	2006	81	10	○		南洋堂ルーフラウンジ	プロスペクター（今村創平　南泰裕　山本想太郎）								○																																														
518	2006	81	11	○		ツォルフェライン炭坑跡リノベーション	OMA		○	○				○							○																		○																					
519	2006	81	12	○		YKK50ビル　リノベーション2006	宮崎浩／プランツアソシエイツ				○				○						○				○														○																					
520	2007	82	2		○	建て替えと再生の狭間で	田村誠邦								○						○				○														○											○	○								
521	2007	82	2	○		笹塚の集合住宅	みかんぐみ								○															○																							○							
522	2007	82	4		○	「三菱一号館」が美術館として展開	—														○	○																								○													
523	2007	82	5		○	近代建築遺産は地方都市再生の核となるか	内田文雄														○					○																																		
524	2007	82	5	○		東京大学工学部2号館	東京大学工学部建築計画室（岸田省吾）＋キャンパス計画室・施設部		○						○						○																																								
525	2007	82	6	○		THE NATURAL SHOE STORE オフィス	OpenA								○																																													
526	2007	82	7		○	国際的な交流を生みだす文化遺産の保存活動	入江正之														○					○																																		
527	2007	82	7	○		稲田病院　産婦人科棟	松村デザイン事務所		○																																																				
528	2007	82	8		○	東京中央郵便局の保存・活用を検討	—														○																																								
529	2007	82	8	○		Villa Vista	飯田善彦建築工房		○						○						○					○				○									○												○									
530	2007	82	9		○	「東京中央郵便局」再開発をめぐって	—														○																																								
531	2007	82	9		○	「大阪新歌舞伎座」「新ダイビル」の保存を要請	—														○																																								
532	2007	82	9		○	日本建築学会が建造物の評価と保存活用ガイドライン配布開始	—								○						○																																								
533	2007	82	9	○		太郎吉蔵	中村好文								○										○																																			
534	2007	82	10		○	使いながら保存することの意味	渡邉研司														○					○														○																					
535	2007	82	10	○		食事処「雲の庭」	富永譲＋ファルムシステム研究所		○																																																				
536	2007	82	10	○		大阪芸術大学	坂倉建築研究所							○	○																																													○
537	2007	82	10	○		追手門学院大学　中央棟・6号館　守衛所	三菱地所設計																		○																									○									
538	2007	82	11		○	安藤忠雄氏がウェネチアで現代美術館を手掛ける	—	○							○																																													
539	2007	82	11		○	現代における保存の論理	松葉一清								○						○	○				○	○																																	
540	2007	82	11	○		サントリーホール20周年改修	安井建築設計事務所				○				○																									○																					
541	2007	82	11	○		大隈講堂	佐藤総合計画														○			○	○	○																																	
542	2007	82	11	○		国立科学博物館本館改修	香山壽夫建築研究所	○	○						○						○	○				○																																			
543	2007	82	11	○		妻有田中文夫文庫	山本想太郎アトリエ								○											○																																			
544	2007	82	12	○		YIEN　EAST	隈研吾建築都市設計事務所		○									○		○																																○									
545	2007	82	12	○		ドメイヌ・ドゥ・ミクニ（「旧飯箸邸」の再生）	坂倉アトリエ											○		○					○																																				
546	2007	82	12	○		霞が関コモンゲート・中央合同庁舎第7号館	久米設計・大成建設・新日鉄エンジニアリング設計共同企業体								○			○		○	○		○	○	○							○									○																							
547	2007	82	12		○	霞が関ビルディング低層部改修計画	日本設計								○										○																																				
548	2008	83	2		○	モノが語る20世紀の構想力2　モシェ・サフディのハビタ'67	松村秀一	○			○										○																		○																							
549	2008	83	2		○	ワンルームという不動産ストックの再構築（リノベーション）	田島則行				○				○										○					○									○								○			○										
550	2008	83	3	○		RENGO DMS	中田千彦＋戒居連太／連合建築社市谷建築事務所								○																									○			○					○													
551	2008	83	3	○		箔座ひかり蔵	水野一郎＋金沢計画研究所								○						○				○	○																																			
552	2008	83	4		○	21世紀アジアの循環型都市へ	原田鎮郎											○												○							○																				○				
553	2008	83	5	○		犬島アートプロジェクト「精錬所」	三分一博志建築設計事務所														○									○																															
554	2008	83	5	○		yohji yamamoto New York gansevoort street store	石上純也建築設計事務所				○				○															○																															
555	2008	83	6	○		白の家・移築	白澤宏規　澤田建築研究所											○			○				○																																			
556	2008	83	6	○		東京未来大学	園山伸雄／アーブ建築研究所								○						○	○			○	○				○									○																							
557	2008	83	7	○		名古屋大学豊田講堂改修	槇総合計画事務所		○						○						○	○			○															○																							
558	2008	83	8		○	都市のコンバージョン	馬場正尊	○			○				○										○					○									○												○	○									
559	2008	83	8	○		HUNDRED CIRCUS East Tower	日建設計		○						○										○					○																						○									
560	2008	83	8	○		SAYAMA FLAT	長坂常／スキーマ建築計画								○																								○								○					○									
561	2008	83	8	○		C.U.I.	ナフ・アーキテクト＆デザイン／中伝昭夫＋田中知博								○									○																												○									
562	2008	83	9	○		ハラ　ミュージアム　アーク増築	磯崎新アトリエ＋KAJIMA DESIGN		○																															○																					
563	2008	83	9	○		実験装置／masia 2008	入江正之＋早稲田大学入江正之														○	○			○									○								○										○									
564	2008	83	9	○		TARO NASU	青木淳建築計画事務所				○				○																																														
565	2008	83	9	○		文化学院	坂倉建築研究所														○				○	○																																			
566	2008	83	10	○		VEGA	小泉誠								○																																													
567	2008	83	11	○		マンハッタンのペントハウスⅡ（海外）	安藤忠雄建築研究所								○																																														
568	2008	83	12	○		下鴨泉川亭	山本良介アトリエ		○					○	○										○																																				